

スポーツ施設の使用実態調査 報告書

令和7年3月

広島市

目 次

I 調査の目的及び概要

- 1 調査の目的 P 1
- 2 調査の概要 P 1

II 調査結果

1 施設の設置状況

- (1) 広島市内の施設 P 4
- (2) 広島広域都市圏内の施設 P 5
- (3) 広島県内の施設 P 9
- (4) 政令指定都市の施設 P 11

2 施設の使用状況等

- (1) 広島市内の施設 P 15
- (2) 広島広域都市圏内の施設 P 29
- (3) 広島県内の施設 P 30

3 専用使用調整において調整できなかった大会等及びその後の状況

- (1) 各区スポーツセンター等（屋内施設）において調整できなかった大会等 . . P 31
- (2) 運動広場（屋外施設）において調整できなかった大会等 P 35
- (3) 陸上競技場において調整できなかった大会等 P 36
- (4) 球技場において調整できなかった大会等 P 37

4 競技団体へのヒアリング調査 P 38

III 資料編

- 資料編の目次 P 80

1 各施設の概要

- (1) 広島市内の施設 P 85
- (2) 広島広域都市圏内の施設 P 100
- (3) 広島県内の施設 P 118

2 各施設の使用状況 P 124

I 調査の目的及び概要

1 調査の目的

現在、競技人口が減少している種目については、競技を行うための十分な場所が確保できずに、競技を行う機会すら確保できなくなることなどによって、競技活動や競技力の維持・向上が図られなくなり、競技人口の減少が一層加速するといった事態が発生していると考えられる。

こうした事態を放置すれば、競技種目の多様性を損なうだけでなく、競技文化そのものの喪失をも招くことになり、本市が目指す、新しい「スポーツ王国広島」の実現にとって、大きな障害となるおそれがある。

このため、令和5年度に外部の有識者等を入れた研究会「広島市における競技人口減少種目等への対応に向けた研究会」を開催し、競技人口、指導者、競技場所に係る対応策について議論した。その中で、競技場所については「施設が不足している」との指摘があった。

こうした指摘への対応については、実際に各施設の概要や使用状況などを把握する必要があることから、スポーツ施設の実態調査を行った。

2 調査の概要

(1) 施設の概要及び使用状況等の調査

スポーツ施設は「公の施設」であるため、広島市スポーツセンター条例等を設置根拠とし、設置場所や使用料等が定められている。調査に当たっては、条例に定められた公の施設のうち有料のものを対象とし、施設の設置場所や規模等及び令和5年度の使用状況について調査を実施した。

また、施設の広域的な有効活用の観点から、本市内の施設だけでなく、広島広域都市圏内、広島県内及び政令指定都市の施設についても調査対象とし、他都市の施設については、各施設のホームページ等により設置根拠条例や施設概要について確認した。

使用状況については、各施設から使用申請書や年間スケジュール等を取り寄せて確認するなどした。

ア 広島市内の施設

広島市スポーツセンター条例や広島市運動場条例等の各条例に定められた施設の概要、競技種目ごとの使用状況等を調査した。

＜スポーツ施設の根拠条例＞ ※（ ）内は規定されているスポーツ施設・機能

①広島市スポーツセンター条例（体育室、プール、柔剣道場、トレーニング室等）

②広島市総合屋内プール条例（プール、スケートリンク）

③広島市体育館条例（体育館）

④広島市クアハウス湯の山条例（温水プール）

⑤広島市運動場条例（運動広場、庭球場）

⑥広島市公園条例（野球場、テニスコート、陸上競技場、卓球場、ソフトボール場等）

⑦広島市市民球場条例（市民球場）

⑧広島サッカースタジアム条例（サッカースタジアム）

⑨広島県立総合体育館設置及び管理条例（大・小アリーナ、柔道場・剣道場、弓道場等）

⑩広島県総合グラウンド設置及び管理条例（陸上競技場、野球場等）

I 調査の目的及び概要

施設の使用は、公益財団法人広島市スポーツ協会の加盟団体等が主催する大会等に使用する場合の「専用使用調整」、一般利用者が専用して使用する「一般専用使用」、個人が使用する「一般開放」があるため、それぞれ区分して使用状況等の調査を実施した。

＜施設の使用区分＞

区 分	内 容	備 考
専用使用調整	広島市スポーツ協会の加盟団体等が主催する大会等について、事前調整するもの。	前年度に広島市スポーツ協会が、加盟団体等からの使用希望を受け付けて調整を行っている。
一般専用使用	民間団体等の一般利用者が専用して使用するもの。	原則として使用日の3か月前から先着順で予約可能
一般開放 (個人使用)	体育室等において、バドミントンや卓球などを行うことができる。	使用日に各施設の窓口で手続を行う。

イ 広島広域都市圏内の施設

本市を含めた広域的な施設活用を検討するため、広島広域都市圏内の大会等の開催が可能な一定規模以上の施設について、施設概要や使用状況等を調査した。

※広島広域都市圏は、広島市の都心部からおおむね60kmの圏内にある、広島県、山口県及び島根県の3県にまたがる33市町で構成され、圏域内のまちの活性化や産業・経済の活力増進などを図ることを目的として地域資源を活用した取組を進めている。（令和7年3月1日時点）

広島県の市町	広島市、呉市、竹原市、三原市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町
山口県の市町	岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
島根県の市町	浜田市、出雲市、益田市、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、吉賀町

ウ 広島県内の施設

スポーツ施設に関する県市の役割分担や広域的な施設活用を検討するため、広島県内の大会等の開催が可能な一定規模以上の施設について、施設概要や使用状況等を調査した。

エ 政令指定都市の施設

適正な「競技人口に対する施設数」に係る検討の参考とするため、他の政令指定都市のスポーツ施設の設置状況について調査した。

(2) 専用使用調整において調整できなかった大会等のその後の状況調査

専用使用調整において調整できず、施設使用を断った大会等が、その後、他の施設で開催されたのか中止となったのかなどについて、大会の主催者等にヒアリングを行うなどして調査した。

(3) 競技団体へのヒアリング調査

公益財団法人広島市スポーツ協会の加盟団体のうち、個別種目の団体に対し、競技人口・指導者の状況、練習場所・大会等の開催場所の状況、事務局の運営状況などについてヒアリングを行った。

I 調査の目的及び概要

＜ヒアリング調査を行った広島市スポーツ協会の加盟競技団体（39 団体）＞

1	広島市陸上競技協会	21	広島市アイスホッケー協会
2	広島市水泳連盟	22	広島市バドミントン協会
3	広島市剣道連盟	23	広島市ウエイトリフティング協会
4	広島市弓道連盟	24	広島市ボウリング協会
5	広島市レスリング協会	25	広島市柔道連盟
6	広島市ラグビーフットボール協会	26	広島市アーチェリー協会
7	広島市サッカー協会	27	広島市ゲートボール連合
8	広島市ホッケー協会	28	広島市なぎなた連盟
9	広島市軟式野球連盟	29	広島市空手道連盟
10	広島市ソフトボール協会	30	広島市太極拳協会
11	広島市バレーボール協会	31	広島市ハング・パラグライディング連盟
12	広島市ハンドボール協会	32	広島市ゴルフ協会
13	広島市バスケットボール協会	33	広島市グラウンド・ゴルフ協会
14	広島市テニス協会	34	広島フットベースボール協会
15	広島市ソフトテニス連盟	35	広島ミニテニス協会
16	広島市卓球協会	36	広島市インディアカ協会
17	広島市体操協会	37	広島市バウンドテニス協会
18	広島市ローイング協会	38	広島市ダンススポーツ連盟
19	広島市セーリング連盟	39	広島市ユニカール協会
20	広島市スケート協会		

Ⅱ 調査結果

1 施設の設置状況

(1) 広島市内の施設

市又は県条例に基づき市内に設置されたスポーツ施設（有料施設）は、次のとおり広島市有施設が47施設、広島県有施設が2施設である。各施設の詳細な内容は、Ⅲ資料編の「各施設の概要」のとおり。

＜各条例に基づくスポーツ施設＞

設置根拠条例	施 設
①広島市スポーツセンター条例 【13 施設】	・中区スポーツセンター【コジマホールディングス中区スポーツセンター】（分室）中区スポーツセンター吉島屋内プール ・東区スポーツセンター【マエダハウジング東区スポーツセンター】 ・南区スポーツセンター（分室）南区スポーツセンター東雲屋内プール（分室）南区スポーツセンター出島屋内プール（分室）南区スポーツセンター宇品体育館 ・西区スポーツセンター ・安佐南区スポーツセンター【フローバグループ安佐南区スポーツセンター】 ・安佐北区スポーツセンター【大和興産安佐北区スポーツセンター】 ・安芸区スポーツセンター ・佐伯区スポーツセンター（分室）佐伯区スポーツセンター湯来体育館
②広島市総合屋内プール条例	・総合屋内プール【ひろしんビッグウェーブ】
③広島市体育館条例 【3 施設】	・吉島体育館 ・高陽体育館 ・河内体育館
④広島市クアハウス湯の山条例	・クアハウス湯の山
⑤広島市運動場条例 【20 施設】	【運動広場 10 施設】 戸坂運動広場、南観音運動広場、観音新町運動広場【内外工業いくえい会観音新町運動広場】、祇園運動広場、沼田運動広場、筒瀬運動広場、湯来運動広場、湯来南運動広場、上河内運動広場、下河内運動広場 【庭球場 10 施設】 中央庭球場【広島翔洋テニスコート】、戸坂庭球場、南観音庭球場、沼田庭球場、大町東庭球場、湯来庭球場、湯来南庭球場、上河内庭球場、下河内庭球場、新宮苑庭球場
⑥広島市公園条例 【7 施設】	・広域公園（陸上競技場【ホットスタッフフィールド広島】、補助競技場、第一競技場【サンフレッチェビレッジ広島第一球技場】、第二競技場、テニスコート ・瀬野川公園（野球場、屋内運動場、アーチェリー場、ソフトボール場、テニスコート、卓球場、クロッケー場、ホースシューズ場、パークゴルフ場） ・竜王公園（野球場、テニスコート、エスキーテニス場） ・草津公園（野球場） ・寺迫公園（野球場、テニスコート、エスキーテニス場） ・可部運動公園（野球場、テニスコート、卓球場） ・佐伯運動公園（テニスコート、卓球場）
⑦広島市市民球場条例	・市民球場【MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島】
⑧広島サッカースタジアム条例	・サッカースタジアム【EDION PEACE WING HIROSHIMA】
⑨広島県立総合体育館設置及び管理条例	・広島県立総合体育館（大アリーナ、小アリーナ、柔道場・剣道場、弓道場、プール、トレーニングルーム、健康体力相談室）
⑩広島県総合グランド設置及び管理条例	・広島県総合グランド【Balcom BMW 広島総合グランド】（メインスタジアム（陸上競技場）、野球場、ラグビー場、補助競技場）

Ⅱ 調査結果

ア 8区のスポーツセンター

政令指定都市となった昭和 55 年度から平成 3 年度にかけて各区にスポーツセンターが設置されている。各区スポーツセンターは、それぞれ有する機能が異なっており、その内訳は下表のとおり。また、利便性の観点から、隣り合う区のスポーツセンターの休館日はできるだけ重ならないように設定している。

（水曜日休館：中区、西区、安佐北区、安芸区）

（火曜日休館：東区、南区、安佐南区、佐伯区）

＜各区スポーツセンター（分室を除く。）が有する機能の内訳＞

各区スポーツセンター	大体育室	中体育室	小体育室	運動広場	テニスコート	プール	トレーニング室	柔道場	剣道場	弓道場	会議室
中 区	●		●				●				●
東 区	●		●			●	●				●
南 区		●					●	●	●		●
西 区		●	●	●		●					●
安佐南区	●		●		●	●	●	●		●	●
安佐北区	●		●			●	●				●
安芸区	●		●		●	●	●				●
佐伯区	●		●			●	●				●

※「●」の表記があるものが、施設が有する機能

イ 総合屋内プール【ひろしんビッグウェーブ】

総合屋内プールは、夏季（令和 5 年度は 5 月 25 日～9 月 18 日）は 50m プールとして、夏季以外（令和 5 年度は 4 月 1 日～4 月 17 日、10 月 25 日～3 月 31 日）はスケートリンクとして利用されている。

(2) 広島広域都市圏内の施設

広島広域都市圏内の各市町（本市を除く。）の主な施設は次のとおり。

＜各条例に基づくスポーツ施設＞

市町名	設置根拠条例	施 設
①呉市	呉市スポーツ施設条例	・呉市二河野球場（鶴岡一人記念球場） ・呉市二河公園多目的グラウンド ・呉市二河テニス場 ・呉市体育館【IHIAアリーナ呉】 ・呉市総合体育館（オークアリーナ） ・呉市安浦体育館（アリーナかもめ） ・呉市営プール ・呉市安浦武道館 ・呉市総合スポーツセンター ほか
	呉市総合スポーツセンター条例	・呉市総合スポーツセンター（陸上競技場、野球場、弓道場、テニスコート）

Ⅱ 調査結果

②竹原市	竹原市都市公園設置及び管理条例	・総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド（体育館、多目的グラウンド、テニスコート）
	竹原市運動場等設置及び管理条例	・市営テニスコート ・大井スポーツ広場 ・田万里プール ほか
③三原市	三原市都市公園条例	・三原運動公園（陸上競技場、市民球場、スポーツ広場、テニスコート、多目的広場）
	三原リージョンプラザ設置及び管理条例	・三原リージョンプラザ（体育館、弓道場、温水プール、トレーニング室）
④三次市	三次市都市公園設置及び管理条例	・三次市みよし運動公園（陸上競技場、野球場【電光石火きんさいスタジアム三次】、運動広場、テニスコート、スケートパーク、トライアルパーク）
	三次市体育施設設置及び管理条例	・十日市体育館 ・君田グラウンド ・布野運動公園 ・三良坂運動公園陸上競技場 ・三次市営球場 ・カーター記念球場 ・君田テニスコート ほか
	広島県都市公園条例	・広島県立みよし公園【電光石火みよしパーク】（カルチャーセンター（アリーナ）、パークゴルフ場、テニスコート、プール、トレーニング室）
⑤大竹市	大竹市総合市民会館条例	・大竹市総合体育館（競技場、武道場、卓球室、トレーニング室）
⑥東広島市	東広島市都市公園条例	・東広島運動公園（体育館、陸上競技場、多目的広場、ゲートボール場、グラウンドゴルフ場、フットサルコート、テニスコート、野球場、野球練習場） ・御建公園球場
⑦廿日市市	廿日市市公園条例	・廿日市市スポーツセンター【サンチェリー】（メインアリーナ、サブアリーナトレーニング室、武道場、プール、サウナ） ・佐伯総合スポーツ公園（体育館、陸上競技場、野球場、テニスコート）
	廿日市市サッカー場設置及び管理条例	・廿日市市サッカー場
⑧安芸高田市	安芸高田市吉田運動公園設置及び管理条例	・吉田運動公園（体育館、グラウンド、テニスコート、エアロビクス室、ゲートボールコート）
	安芸高田市サッカー公園設置及び管理条例	・吉田サッカー公園
	安芸高田市温水プール設置及び管理条例	・吉田温水プール
⑨江田島市	江田島市スポーツセンター設置及び管理条例	・江田島市スポーツセンター（体育館、ゲートボール場）
	江田島市立公園設置及び管理条例	・江田島市総合運動公園（多目的広場、テニスコート、ゲートボール場） ほか
	江田島市体育施設設置及び管理条例	・江田島市武道館 ・秋月体育館 ほか
⑩府中町	府中町立体育場の設置及び管理条例	・府中町立体育場（体育館） ・府中町立軽スポーツ広場 ほか
	府中町都市公園条例	・揚倉山健康運動公園（多目的広場、テニスコート）ほか

Ⅱ 調査結果

⑪海田町	海田町公園条例	・海田総合公園（野球場、多目的広場、テニスコート）
	海田町立体育館条例	・海田東体育館
⑫熊野町	熊野町社会体育施設等設置及び管理に関する条例	・熊野町民体育館 ・熊野町民グラウンド ・多目的グラウンド
⑬坂町	坂町B & G海洋センター条例	・坂町B & G海洋センター（体育館、第2体育館）
	坂町立町民体育場設置及び管理条例	・北新地グラウンド ・北新地芝グラウンド
⑭安芸太田町	安芸太田町加計体育館条例	・安芸太田町加計体育館
	安芸太田町筒賀多目的スポーツ広場条例	・安芸太田町筒賀多目的スポーツ広場
⑮北広島町	北広島町豊平総合運動公園設置及び管理条例	・北広島町豊平総合運動公園（総合体育館（とよひらウイング）、野球場（どんぐりスタジアム）、多目的広場、プール（どんぐりプール）、テニスコート、ゲートボール場）
	北広島町千代田運動公園設置及び管理条例	・千代田運動公園（多目的広場、少年サッカー場、総合体育館、野球場、テニスコート、温水プール、弓道場）
	北広島町大朝グラウンド設置及び管理条例	・北広島町大朝グラウンド（人工芝）
⑯大崎上島町	大崎上島町社会体育施設設置条例	・西野屋内運動場 ・西野スポーツ広場 ほか
	大崎上島町東野スポーツ広場条例	・大崎上島町東野スポーツ広場（テニスコート）
⑰世羅町	世羅町スポーツ施設設置条例	・世羅町中央スポーツ広場 ・世羅町甲山テニスコート ・世羅町宇津戸プール ほか
⑱岩国市	岩国市都市公園条例 岩国市運動施設条例	・岩国運動公園（総合体育館（アリーナ、武道館、トレーニングルーム）、テニスコート、アーチェリー、相撲場） ・岩国市市民球場 ・玖珂総合公園（人工芝グラウンド、多目的グラウンド、グラウンド・ゴルフ場） ・岩国市営玖珂温水プール ・本郷柔剣道場 ・愛宕スポーツコンプレックス（野球場、ソフトボール場、陸上競技場、屋外テニスコート、屋外サンドバレーコート、屋外バスケットボールコート）
⑲柳井市	柳井市体育館条例	・柳井市体育館（主競技場、第2競技場）
	柳井市民球場等に関する条例	・柳井市民球場 ・柳井市南浜グラウンド ・柳井市南浜テニスコート ほか
	柳井市武道館等に関する条例	・柳井市武道館 ・柳井市弓道場
⑳周防大島町	周防大島町陸上競技場設置及び管理に関する条例	・周防大島町陸上競技場
	周防大島町総合体育館設置条例	・周防大島町総合体育館（アリーナ、トレーニングルーム）

Ⅱ 調査結果

②①和木町	和木町運動施設条例	- 和木町体育センター（アリーナ） - 和木町民庭球場 - 和木町民水泳プール
②②上関町	—	- 町民グラウンド - 町民テニスコート場 - 町民体育館
②③田布施町	田布施町スポーツセンター条例	田布施町スポーツセンター（体育館、グラウンド、プール、弓道場、テニス場、相撲場、ゲートボール場、カヌー艇庫）
②④平生町	平生町体育施設条例	平生町スポーツセンター（運動広場）
	平生町体育館の設置及び管理運営に関する条例	平生町体育館
	平生町武道館の設置及び管理運営に関する条例	平生町武道館
②⑤浜田市	浜田市都市公園条例 浜田市東公園運動施設条例	浜田市東公園（陸上競技場、野球場、庭球場、室内プール）
	サン・ビレッジ浜田条例	サン・ビレッジ浜田（スポーツ広場（サッカー場、フットサル場）、アイススケート場）
	浜田市金城総合運動公園条例	浜田市金城総合運動公園（総合体育館、多目的コート（テニス）、多目的広場）
	浜田市都市公園条例 浜田市旭公園運動施設条例	浜田市旭公園（陸上競技場、市民球場、市民体育館、多目的広場、テニス場、水泳プール）
	浜田市都市公園条例 浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設条例	浜田市三隅中央公園（陸上競技場、野球場、テニス場、多目的広場、屋内プール・多目的運動場）
	浜田市岡見スポーツセンター条例	浜田市岡見スポーツセンター（アリーナ）
	浜田市今福スポーツ広場施設条例	浜田市今福スポーツ広場（野球場、グラウンド・ゴルフ場、ゲートボール場）
②⑥飯南町	飯南町屋外運動場の設置及び管理に関する条例	- 頓原町民グラウンド - 頓原町民野球場
	飯南町民体育館の設置及び管理に関する条例	- 谷体育館 - 小田体育館
②⑦川本町	川本町体育施設設置及び管理に関する条例	- 川本町民体育館 - 川本西グラウンド
②⑧美郷町	美郷町民体育館及び町民広場条例	- 浜原体育館 - 浜原町民広場 ほか
②⑨邑南町	邑南町立体育館条例	邑南町立中野体育館 ほか
	邑南町グラウンド等施設条例	- 瑞穂球場 - いわみスタジアム - 中野グラウンド - 瑞穂テニスコート - 阿須那ゲートボール場

Ⅱ 調査結果

(3) 広島県内の施設

広島県の各市町（広域都市圏の市町を除く。）の主な施設は次のとおり。

<各条例に基づくスポーツ施設>

市町名	設置根拠条例	施 設
①福山市	福山市総合体育館条例	・福山市総合体育館【エフピコアリーナ】（メインアリーナ、サブアリーナ、柔道場・剣道場、トレーニング室、スタジオ、クライミングウォール）
	福山市緑町公園屋内競技場条例	・福山市緑町公園屋内競技場【ローズアリーナ】（50メートルプール、アリーナ、トレーニングルーム）
	福山市都市公園条例	・竹ヶ端運動公園（野球場、陸上競技場、運動広場（補助競技場）、弓道場、水上スポーツセンター、庭球場） ・手城東公園（サッカー場） ・曙公園（野球場（照明あり）） ・加茂公園（野球場（照明あり）） ・大佐山運動公園（野球場（照明あり）、庭球場（照明あり）） ・松永グリーンパーク（庭球場） ・芦田川緑地かわまち広場（多目的広場） ほか
	福山市運動場条例	・福山市箕沖球場 ・福山市みのしま運動場 ・福山市北本庄庭球場 ・福山市神辺スポーツ広場 ほか
	福山市新市スポーツセンター条例	・福山市新市スポーツセンター（アリーナ、柔道場）
	福山市沼隈体育館条例	・福山市沼隈体育館（アリーナ、多目的ルーム）
	福山市神辺体育館条例	・福山市神辺体育館（アリーナ、弓道場）
	福山市沼隈体育センター条例	・福山市沼隈体育センター（テニスコート、多目的ルーム）
	福山テニスセンター条例	・福山テニスセンター
	福山市グラウンド・ゴルフ場及び地域グラウンド・ゴルフ場条例	・福山市グラウンド・ゴルフ場 ・福山市沼隈グラウンド・ゴルフ場 ほか
②尾道市	尾道市都市公園条例 尾道市向島運動公園条例 尾道市因島運動公園条例	・向島運動公園（向島町 B&G 海洋センター体育館、多目的グラウンド、テニスコート、グラウンド・ゴルフ場、向島町 B&G 海洋センタープール、スケートパーク、ふれあい広場） ・因島運動公園（多目的球技場（野球場）、テニスコート（人工芝 12 面）、多目的競技場（天然芝））
	尾道市東尾道多目的競技場設置及び管理条例	・東尾道多目的競技場（多目的芝広場（人工芝）、グラウンド（土））
	尾道市御調ソフトボール球場設置及び管理条例	・御調ソフトボール球場（5 面）
	尾道市スケートボード場設置及び管理条例	・スケートボード場（無料）
	尾道市市民スポーツ広場設置及び管理条例	・長者原市民スポーツ広場（野球場） ・田熊西市民スポーツ広場（体育館） ほか

Ⅱ 調査結果

	尾道市御調グラウンド・ゴルフ場設置及び管理条例	・ 御調グラウンド・ゴルフ場
	広島県都市公園条例	・ 広島県立びんご運動公園 ⇒陸上競技場【ダッシュこざかなくん陸上競技場】 ⇒球技場【シュートこざかなくん球技場】 ⇒健康スポーツセンター【チャレンジこざかなくんアリーナ】（メインアリーナ、サブアリーナ） ⇒テニスコート【スマッシュこざかなくんテニスコート】（センターコート、インドアコート、一般コート） ⇒プール【スイミーこざかなくんプール】 ⇒野球場【ぶんちゃんしまなみ球場】
③府中市	府中市体育施設設置及び管理に関する条例	・ 府中市立総合体育館【TTC アリーナ】（アリーナ） ・ 府中市上下人工芝第1・2グラウンド ・ 府中市月見ヶ丘公園体育施設（体育館、グラウンド、プール） ・ 府中市B＆G海洋センター（温水プール） ・ 府中市府中公園グラウンド ・ 府中市須中グラウンド（グラウンド、テニスコート） ・ 府中市阿字スポーツグラウンド（体育館、グラウンド） ・ 府中市武道場 ・ 府中市南の丘体育館 ・ 府中市上下野球場 ・ 府中市清岳多目的広場（体育館、グラウンド） ・ 府中市上下ゲートボール場 ・ 府中市上下格技場 ほか
④庄原市	庄原市総合運動公園設置及び管理条例	・ 庄原市西城総合運動公園（道後山高原クロカンパーク）（陸上競技場、多目的広場、体育館（アリーナ、トレーニングジム）、クロスカントリーコース、多目的トレーニングコース、パークゴルフ） ・ 庄原市比和総合運動公園（野球グラウンド、ソフトボールグラウンド、ゲートボール場） ・ 庄原市比和総合運動公園（体育館（アリーナ、トレーニングルーム）、野球場、多目的広場、ゲートボールコース、テニスコート）
	庄原市体育館設置及び管理条例	・ 庄原市総合体育館【さくらアーチ】（アリーナ、武道館、トレーニング室） ・ 庄原市西城体育館 ほか
	庄原市屋内体育施設設置及び管理条例	・ 庄原市口和スポーツセンター
	庄原市屋外体育施設設置及び管理条例	・ 庄原市テニスコート ・ 庄原市多目的広場 ・ 庄原市運動広場 ・ 庄原市スポーツ広場（グラウンド、エスキーテニスコート） ・ 庄原市西城球技場 ・ 庄原市東城ふれあいスポーツ広場（ゲートボール場、グラウンドゴルフ場） ほか
	庄原市水泳プール設置及び管理条例	・ 庄原市水泳プール ・ 庄原市高野水泳プール ほか
	庄原市都市公園条例	・ 東城中央運動公園（陸上競技場、野球場、体育館、テニスコート） ・ 上野総合公園（陸上競技場）

Ⅱ 調査結果

(4) 政令指定都市の施設

政令指定都市（広島市を除く。）の主な施設は次のとおり。

<スポーツ施設の設置根拠条例等>

都市名	設置根拠条例等 ※【 】内はスポーツ施設数、（ ）内は条例等に規定されている施設
①札幌市	・札幌市体育施設条例【29】（体育館、スケート場、プール、カーリング場、庭球場、競技場） ・札幌ドーム条例【1】（札幌ドーム） ・札幌市スポーツ交流施設条例【1】（札幌市スポーツ交流施設） ・札幌市都市公園条例【4】（総合運動場、スケート場、競技場、屋内広場） ・札幌市運動施設等管理規則【71】（陸上競技場、野球場、庭球場、サッカー場、自由広場、パークゴルフ場） ・札幌市都市公園条例【1】（札幌市円山総合運動場）
②仙台市	・仙台市スポーツ施設条例【38】（体育館、武道場、グラウンド、球場、運動場、庭球場、ボルダリング室、アーチェリー場、スケートボードパーク、陸上競技場） ・仙台市都市公園条例【45】（スタジアム、野球場、庭球場、壁打ちコート、運動広場、体育館）
③さいたま市	・さいたま市体育館条例【5】（体育館、総合体育館） ・さいたま市大宮武道館条例【1】（さいたま市大宮武道館） ・さいたま市大宮公園サッカー場条例【1】（大宮公園サッカー場） ・さいたま市都市公園条例【62】（野球場、一般競技場、トレーニング場、テニスコート、競技場、補助競技場、相撲場、屋外プール、アイススケート場、ソフトボール兼少年野球場、サッカー場、ソフトボール場、多目的広場、陸上競技場） ・さいたま市地域プール条例【3】（プール）
④千葉市	・千葉市スポーツ施設設置管理条例【22】（体育館、プール、柔道場、剣道場、弓道場、庭球場、野球場、相撲場、スポーツ室、多目的ホール、グラウンドゴルフ場、多目的グラウンド） ・千葉ポートアリーナ設置管理条例【1】（千葉ポートアリーナ） ・千葉市スポーツ広場設置管理条例【4】（野球場、庭球場、多目的広場） ・千葉市蘇我球技場条例【1】（蘇我球技場） ・千葉マリンスタージアム設置管理条例【1】（千葉マリンスタージアム） ・青葉の森スポーツプラザ管理条例【4】（野球場、陸上競技場、庭球場、弓道場） ・千葉市都市公園条例【33】（水泳プール、体育館、野球場、庭球場、運動場、トレーニング室、弓道場、球技場、多目的広場、多目的グラウンド、スケートパーク）
⑤横浜市	・横浜市スポーツ施設条例【25】（国際プール、体育館（武道館）、スポーツセンター、プール） ・横浜市公園条例【117】（野球場、庭球場、プール、子供用プール、陸上競技場、補助陸上競技場、球技場、馬術練習場、体育館、運動広場、弓道場、総合競技場、補助競技場、投てき練習場、屋内プール） ・横浜市地区センター条例【11】（スポーツ会館）
⑥川崎市	・川崎市とどろきアリーナ条例【1】（川崎市とどろきアリーナ） ・川崎市スポーツセンター条例【5】（スポーツセンター） ・川崎市武道館条例【1】（川崎市石川記念武道館） ・川崎市スポーツ・文化総合センター条例【1】（スポーツ・文化総合センター） ・川崎市都市公園条例【28】（野球場、テニスコート、バレーボール場、相撲場、球技場、水泳プール、陸上競技場、補助競技場、運動広場、サッカー場、ゴルフ場、パークボール場）

Ⅱ 調査結果

⑦相模原市	・相模原市立グラウンド等スポーツ施設に関する条例【20】（スポーツ広場、テニスコート、グラウンド、野球場、プール、ゴルフ場、体育館） ・相模原市体育館に関する条例【1】（相模原市体育館） ・相模原市立総合体育館条例【11】（相模原市立総合体育館（大・中・小体育室、柔道場、剣道場、弓道場）、相模原市立北総合体育館（体育室、多目的室、柔道場、剣道場兼卓球場、弓道場）） ・相模原市立総合水泳場条例【1】（相模原市立総合水泳場） ・相模原市立相模原球場条例【1】（相模原市立相模原球場） ・相模原市都市公園条例【31】（軟式野球場、テニスコート、人工芝グラウンド、スポーツ広場、競技場、動物広場ポニー乗馬場、グラウンド、少年野球・ソフトボール場、アイススケート場、水泳プール、トレーニング室、ニュースポーツ広場、多目的グラウンド、ゲートボール場。屋外水泳プール）
⑧新潟市	・新潟市体育施設条例【96】（体育館、トレーニング室、テニスコート、庭球場、野球場、クライミングルーム、屋内プール、体育室、武道館、陸上競技場、補助陸上競技場、運動広場、アイスアリーナ、屋内多目的運動場、剣道場、体育センター、ふれあいドーム、相撲場、弓道場、屋内ゲートボール場、柔道場、プール、アーチェリー場、グラウンド、屋根付きゲートボール場、多目的グラウンド、サッカー場） ・新潟市都市公園条例【26】（野球場、球技場、馬場、プール、少年野球広場、運動広場、庭球場、多目的広場、多目的コート、屋内ゲートボール場、多目的グラウンド、サブ野球場、ホッケー場、屋内コート、屋外フットサルコート、）
⑨静岡市	・静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド条例【1】（静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド） ・静岡市スポーツ広場条例【5】（スポーツ広場） ・静岡市多目的スポーツグラウンド条例【1】（静岡市中島人工芝多目的スポーツグラウンド） ・静岡市恩田原スポーツ広場条例【1】（静岡市恩田原スポーツ広場） ・静岡市総合運動場条例【2】（総合運動場） ・静岡市城北運動場条例【1】（静岡市城北運動場） ・静岡市有度山総合公園運動施設条例【2】（テニスコート、グラウンドゴルフ場） ・静岡市清水庵原球場条例【1】（静岡市清水庵原球場） ・静岡市体育館条例【7】（体育館） ・静岡市蒲原プール条例【1】（静岡市蒲原プール） ・静岡市テニス広場条例【2】（テニス広場） ・静岡市清水ナショナルトレーニングセンター条例【1】（静岡市清水ナショナルトレーニングセンター） ・静岡市都市公園条例【8】（球技場、庭球場、体育館、室内プール、トレーニング室）
⑩浜松市	・浜松市運動広場条例【17】（運動広場、運動場、スポーツ広場、グラウンド、総合運動場、サッカー場） ・浜松市武道場条例【5】（武道館、弓道場） ・浜松アリーナ条例【1】（浜松アリーナ） ・浜松市B＆G海洋センター条例【2】（プール、アリーナ） ・浜松市総合体育館条例【11】（体育館、総合体育館、総合体育センター） ・浜松市新橋体育センター条例【1】（浜松市新橋体育センター） ・浜松市天竜林業体育館条例【1】（浜松市天竜林業体育館） ・浜松市庭球場条例【2】（庭球場、テニスコート） ・浜松市水泳場条例【4】（水泳場、温水プール、プール） ・浜松市弁天島海浜公園・渚園条例【2】（浜松市弁天島海浜公園、浜松市渚園） ・浜松市公園条例【12】（運動公園、運動場、ソフトボール場、庭球場、グラウンド） ・浜松市都市公園条例【33】（野球場、球技場、陸上競技場、球場、水泳場、アーチェリー場、ビーチコート、弓道場、多目的スポーツ広場、ゲートボール場）

Ⅱ 調査結果

⑪名古屋市	・名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド条例【1】（名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド） ・名古屋市東山公園テニスセンター条例【1】（名古屋市東山公園テニスセンター） ・名古屋市総合体育館条例【1】（名古屋市総合体育館） ・名古屋市スポーツトレーニングセンター条例【2】（スポーツトレーニングセンター、レクリエーションルーム） ・名古屋市体育館条例【14】（体育館、スポーツセンター、） ・名古屋市港サッカー場条例【1】（名古屋市港サッカー場） ・名古屋市志段味スポーツランド条例【1】（名古屋市志段味スポーツランド） ・名古屋市プール条例【12】（プール） ・名古屋市名城庭球場条例【1】（名古屋市名城庭球場） ・名古屋市都市公園条例【91】（テニスコート、野球場、陸上競技場、ゲートボール場、室内広場、球技場、アーチェリー場） ・名古屋市瑞穂公園条例【1】（瑞穂運動場）
⑫京都市	・京都市西京極総合運動公園条例【1】（京都市西京極総合運動公園） ・京都市横大路運動公園条例【1】（京都市横大路運動公園） ・京都市宝が池公園運動施設条例【1】（京都市宝が池公園運動施設） ・京都市京北運動公園条例【1】（京都市京北運動公園） ・京都市体育館条例【1】（京都市体育館） ・京都市地域体育館条例【13】（体育館） ・京都市黒田トレーニングホール条例【1】（京都市黒田トレーニングホール） ・京都市武道センター条例【1】（京都市武道センター） ・京都市市民スポーツ会館条例【1】（京都市市民スポーツ会館） ・京都市都市公園条例【24】（野球場、テニスコート、野球場兼運動場、球技場、球技場及び運動場兼ソフトボール場）
⑬大阪市	・大阪市立体育館条例【28】（体育館、スポーツセンター、レクリエーションセンター） ・大阪市立修道館条例【1】（大阪市立修道館） ・大阪市立プール条例【24】（プール、屋内プール、） ・大阪市公園条例【59】（陸上競技場、球技場、野球場、運動場、庭球場、テニスセンター、プール、弓道場、相撲場、馬場、パークゴルフ場）
⑭堺市	・堺市立体育館条例【4】（体育館、武道場、野球場、テニスコート） ・堺市スポーツ施設条例【6】（テニスコート、スポーツ広場、野球場、テニスコート、運動広場、運動場、テニスコート、自由広場） ・堺市立美原総合スポーツセンター条例【1】（堺市立美原総合スポーツセンター） ・堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター条例【1】（堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター） ・堺市美原B & G海洋センター条例【1】（堺市美原 B & G 海洋センター（体育館、プール）） ・堺市公園条例【18】（体育館、陸上競技場、野球場、テニスコート、プール、スケートボードパーク、相撲場）
⑮神戸市	・神戸市立体育施設条例【9】（体育館、スポーツセンター、球技場） ・神戸市都市公園条例【53】（野球場、球技場、テニスコート、少年野球場、陸上競技場、補助競技場、バレーボールコート、相撲場、プール、アーチェリー場、トレーニング室、スタジオ、体育館、補助体育館）

Ⅱ 調査結果

⑯岡山市	・岡山市浅越スポーツパーク条例【1】（岡山市浅越スポーツパーク（パークゴルフ場、多目的広場）） ・岡山市民プール条例【2】（温水プール、プール） ・岡山市下水道スポーツ広場条例【3】（スポーツ広場） ・岡山市社会体育施設条例【27】（テニスコート、スポーツ広場、武道館、弓道場、剣道練習場、グラウンド・ゴルフ場、総合スポーツセンター、B&G 海洋センター、教養文化体育施設、野球場、体育センター、サッカー場、） ・岡山市公園条例【51】（野球場、補助野球場、相撲場、総合文化体育館、テニスコート、サッカー場、サッカー兼ソフトボール場、競技場、体育館、多目的広場、岡山ドーム、軟式野球場、ソフトボール場、サッカー場・ラグビー場、フットサルコート、多目的グラウンド、BMX コース、レジャープール、パターゴルフコース、ディスクゴルフコース、パークゴルフコース、テニス場、パターゴルフ場、スポーツ広場）
⑰北九州市	・北九州市スポーツ施設条例【40】（体育館、スポーツセンター、プール、競技場、球技場、運動場、球場、庭球場、武道場、柔道場、弓道場） ・北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例【43】（プール、野球場、陸上競技場、運動場、庭球場、弓場、柔剣道場、体育館、）
⑱福岡市	・福岡市総合体育館条例【1】（福岡市総合体育館） ・福岡市民体育館条例【1】（福岡市民体育館） ・福岡市立雁の巣児童体育館条例【1】（福岡市立雁の巣児童体育館） ・福岡市田園スポーツ広場条例【3】（スポーツ広場） ・福岡市立地区体育施設条例【7】（体育館） ・福岡市ももち体育館条例【1】（福岡市ももち体育館） ・福岡市社領スポーツ広場条例【1】（福岡市社領スポーツ広場） ・福岡市立地区体育施設条例【7】（プール） ・福岡市雁の巣レクリエーションセンター条例【1】（福岡市雁の巣レクリエーションセンター（球場、少年野球場、野球場、ソフトボール場、球技場、テニス・バレーボール場、多目的グラウンド）） ・福岡市公園条例【40】（陸上競技場、野球場、テニス場、球技場、補助競技場、テニス競技場、弓道場、体育館）
⑲熊本市	・熊本市体育施設条例【22】（運動施設、コート、武道場、総合スポーツセンター、体育館、グラウンド、B&G 海洋センター、弓道場、屋外運動場） ・熊本市総合体育館・青年会館条例【1】（熊本市総合体育館・青年会館） ・熊本市総合屋内プール条例【1】（熊本市総合屋内プール） ・熊本市都市公園条例【20】（運動施設、弓道場、野球場、運動場、競技場、テニスコート、フットサルコート）

Ⅱ 調査結果

2 施設の使用状況等

(1) 広島市内の施設

各スポーツ施設について、次のとおり機能ごとにグループ分けし、使用方法別及び競技種目別に整理して調査した。

施設機能	対象施設
大・中体育室	8区スポーツセンター
小体育室	南区以外のスポーツセンター
運動広場	戸坂、南観音、祇園、沼田、筒瀬、湯来、湯来南、上河内、下河内の各運動広場、西区スポーツセンター ※観音新町運動広場は令和7年3月供用開始のため令和5年度の実績なし。
50mプール	総合屋内プール（夏季：5月25日～9月18日【令和5年度】）
スケートリンク	総合屋内プール（夏季以外：4月1日～4月17日、10月25日～3月31日【令和5年度】）
プール	8区スポーツセンター（中区スポーツセンターの分室である吉島屋内プール、南区スポーツセンターの分室である東雲屋内プール、出島屋内プールを含む。）
柔道場・剣道場	南区スポーツセンター、安佐南区スポーツセンター
弓道場	安佐南区スポーツセンター
中央庭球場	中央庭球場
庭球場・テニスコート	戸坂、南観音、沼田、大町東、湯来、湯来南、上河内、下河内、新宮苑の各庭球場、安佐南区スポーツセンター、安芸区スポーツセンター、竜王公園、寺迫公園、可部運動公園、瀬野川公園、佐伯運動公園の各テニスコート
広域公園テニスコート	広域公園テニスコート
陸上競技場	広域公園陸上競技場、広島県総合グランド陸上競技場
球技場	広域公園第一球技場・第二球技場
野球場	瀬野川公園、竜王公園、草津公園、寺迫公園、可部運動公園、広島県総合グランド

ア 大・中体育室（8区スポーツセンター）の使用状況

(7) 使用方法別

大・中体育室（8区スポーツセンター）の令和5年度の稼働率は、ほぼ100%（使用時間23,530時間／開館時間23,538時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	4,382 時間(18.6%)	499 件(18.5%)	138,299 人(30.9%)
うち土日祝	3,697 時間(41.5%)	424 件(38.8%)	112,448 人(55.8%)
②一般専用使用	5,558 時間(23.6%)	2,197 件(81.5%)	65,967 人(14.7%)
うち土日祝	1,363 時間(15.3%)	668 件(61.2%)	24,401 人(12.1%)
③一般開放（個人利用）	13,590 時間(57.8%)		243,481 人(54.4%)
うち土日祝	3,856 時間(43.2%)		64,629 人(32.1%)
計	23,530 時間(100%※1)	2,696 件(100%)	447,747 人(100%)
うち土日祝	8,916 時間(100%)	1,092 件(100%)	201,478 人(100%)
④利用者なしの時間数	8 時間(0.0%※2)	※1 99.96%を四捨五入 ※2 0.034%を四捨五入	
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

Ⅱ 調査結果

※各区スポーツセンターでは、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13時）」、「午後（13時～17時）」、「夜間（17時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

(イ) 競技種目別

「専用使用調整」及び「一般専用使用」の競技種目別の使用状況は次のとおり。

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	2,769 時間(27.9%)	1,004 件(37.2%)	37,353 人(18.3%)
②バレーボール	1,167 時間(11.7%)	222 件(8.2%)	30,596 人(15.0%)
③バドミントン	1,151 時間(11.6%)	355 件(13.2%)	13,934 人(6.8%)
④卓球	1,080 時間(10.9%)	186 件(6.9%)	29,107 人(14.2%)
⑤ソフトバレーボール	563 時間(5.7%)	186 件(6.9%)	10,395 人(5.1%)
⑥新体操	469 時間(4.7%)	163 件(6.0%)	4,343 人(2.1%)
⑦剣道	337 時間(3.4%)	73 件(2.7%)	9,864 人(4.8%)
⑧ハンドボール	323 時間(3.2%)	32 件(1.2%)	7,326 人(3.6%)
⑨ミニテニス	221 時間(2.2%)	56 件(2.1%)	1,758 人(0.9%)
⑩柔道	191 時間(1.9%)	26 件(1.0%)	15,070 人(7.4%)
⑪パウンドテニス	152 時間(1.5%)	56 件(2.1%)	1,109 人(0.5%)
⑫空手	140 時間(1.4%)	20 件(0.7%)	5,606 人(2.8%)
⑬フットサル	86 時間(0.9%)	32 件(1.2%)	626 人(0.3%)
⑭なぎなた	86 時間(0.9%)	13 件(0.5%)	1,035 人(0.5%)
⑮ダンス	61 時間(0.6%)	7 件(0.3%)	1,585 人(0.8%)
⑯体操	69 時間(0.7%)	13 件(0.5%)	1,072 人(0.5%)
⑰ミニバスケットボール	48 時間(0.5%)	23 件(0.8%)	569 人(0.3%)
⑱エスキーテニス	42 時間(0.4%)	7 件(0.3%)	1,102 人(0.5%)
⑲相撲	33 時間(0.3%)	3 件(0.1%)	6,900 人(3.4%)
⑳インディアカ	31 時間(0.3%)	4 件(0.1%)	380 人(0.2%)
㉑ドッジボール	19 時間(0.2%)	5 件(0.2%)	856 人(0.4%)
㉒吹矢	18 時間(0.2%)	2 件(0.1%)	231 人(0.1%)
㉓ビーチバレーボール	16 時間(0.2%)	2 件(0.1%)	550 人(0.3%)
㉔その他	868 時間(8.7%)	206 件(7.6%)	22,899 人(11.2%)
計	9,940 時間(100%)	2,696 件(100%)	204,266 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅱ 調査結果

(ウ) 専用使用の状況

大・中体育室（8区スポーツセンター）の「専用使用（専用使用調整及び一般専用使用）がある日」の割合は60.4%（専用使用日数 1,161 日／開館日数 1,922 日）であり、土日祝に限ると85.3%となっている。

区 分	開館日数		専用使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
中 区	77 日	30 日	27 日(35.1%)	21 日(70.0%)
東 区	296 日	113 日	158 日(53.4%)	97 日(85.8%)
南 区	309 日	117 日	309 日(100%)	117 日(100%)
西 区	311 日	117 日	305 日(98.1%)	112 日(95.7%)
安佐南区	149 日	57 日	43 日(28.9%)	36 日(63.2%)
安佐北区	311 日	117 日	128 日(41.2%)	107 日(91.5%)
安芸区	311 日	117 日	147 日(47.3%)	88 日(75.2%)
佐伯区	158 日	60 日	44 日(27.8%)	43 日(71.7%)
合 計	1,922 日	728 日	1,161 日(60.4%)	621 日(85.3%)

※専用使用がない日は、終日一般開放（個人使用）

イ 小体育室（南区以外のスポーツセンター）の使用状況

(ア) 使用方法別

小体育室（南区以外のスポーツセンター）の令和5年度の稼働率は、98.4%（使用時間 19,443 時間／開館時間 19,751 時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	1,618 時間(8.2%)	206 件(5.8%)	60,709 人(31.7%)
うち土日祝	1,317 時間(17.6%)	168 件(17.6%)	50,565 人(48.0%)
②一般専用使用	6,819 時間(34.5%)	3,356 件(94.2%)	75,367 人(39.3%)
うち土日祝	1,906 時間(25.5%)	786 件(82.4%)	20,245 人(19.3%)
③一般開放（個人利用）	11,006 時間(55.7%)		55,494 人(29.0%)
うち土日祝	4,195 時間(56.1%)		34,446 人(32.7%)
計	19,443 時間(98.4%)	3,562 件(100%)	191,570 人(100%)
うち土日祝	7,418 時間(99.1%)	954 件(100%)	105,256 人(100%)
④利用者なしの時間数	308 時間(1.6%)		
うち土日祝	64 時間(0.9%)		

(イ) 競技種目別

「専用使用調整」及び「一般専用使用」の競技種目別の使用状況は次のとおり。

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	2,157 時間(25.6%)	866 件(24.3%)	19,211 人(14.1%)
②卓球	913 時間(10.8%)	495 件(13.9%)	16,361 人(12.0%)
③ダンス	694 時間(8.2%)	340 件(9.6%)	14,459 人(10.6%)
④バレーボール	673 時間(8.0%)	140 件(3.9%)	19,781 人(14.5%)
⑤バウンドテニス	486 時間(5.8%)	266 件(7.5%)	2,490 人(1.8%)

Ⅱ 調査結果

⑥バドミントン	354 時間(4.2%)	120 件(3.4%)	5,835 人(4.3%)
⑦体操	308 時間(3.7%)	126 件(3.5%)	2,848 人(2.1%)
⑧剣道	274 時間(3.3%)	105 件(2.9%)	5,153 人(3.8%)
⑨新体操	225 時間(2.7%)	65 件(1.8%)	2,109 人(1.6%)
⑩ソフトバレーボール	194 時間(2.3%)	113 件(3.2%)	3,781 人(2.8%)
⑪エアロビクス	188 時間(2.2%)	220 件(6.2%)	3,311 人(2.4%)
⑫ハンドボール	185 時間(2.2%)	17 件(0.5%)	4,670 人(3.4%)
⑬空手	184 時間(2.2%)	92 件(2.6%)	2,675 人(2.0%)
⑭ミニテニス	130 時間(1.5%)	44 件(1.2%)	1,005 人(0.7%)
⑮太極拳	80 時間(0.9%)	51 件(1.4%)	754 人(0.6%)
⑯ヨガ	43 時間(0.5%)	42 件(1.2%)	699 人(0.5%)
⑰柔道	42 時間(0.5%)	4 件(0.1%)	4,750 人(3.5%)
⑱ビーチバレーボール	30 時間(0.4%)	18 件(0.5%)	330 人(0.3%)
⑲相撲	29 時間(0.3%)	2 件(0.1%)	6,000 人(4.4%)
⑳フットサル	25 時間(0.3%)	7 件(0.2%)	242 人(0.2%)
㉑ドッジボール	23 時間(0.3%)	4 件(0.1%)	457 人(0.3%)
㉒バレエ	21 時間(0.2%)	25 件(0.7%)	189 人(0.1%)
㉓バトントワリング	19 時間(0.2%)	5 件(0.1%)	202 人(0.2%)
㉔ウエイトリフティング	16 時間(0.2%)	4 件(0.1%)	120 人(0.1%)
㉕ミニバスケットボール	10 時間(0.1%)	4 件(0.1%)	110 人(0.1%)
㉖その他	1,134 時間(13.4%)	387 件(10.9%)	18,534 人(13.6%)
計	8,437 時間(100%)	3,562 件(100%)	136,076 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(ウ) 専用使用の状況

小体育室（南区以外のスポーツセンター）の「専用使用がある日」の割合は、92.4%（専用使用日数 1,490 日／開館日数 1,613 日）であり、土日祝に限ると 82.5%となっている。

区 分	開館日数		専用使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
中 区	77 日	30 日	77 日(100%)	30 日(100%)
東 区	296 日	113 日	282 日(95.3%)	102 日(90.3%)
西 区	311 日	117 日	276 日(88.7%)	84 日(71.8%)
安佐南区	149 日	57 日	121 日(81.2%)	35 日(61.4%)
安佐北区	311 日	117 日	292 日(93.9%)	101 日(86.3%)
安芸区	311 日	117 日	288 日(92.6%)	95 日(81.2%)
佐伯区	158 日	60 日	154 日(97.5%)	57 日(95.0%)
合 計	1,613 日	611 日	1,490 日(92.4%)	504 日(82.5%)

※専用使用がない日は、終日一般開放（個人使用）

Ⅱ 調査結果

ウ 運動広場（戸坂運動広場外 9 か所）の使用状況

(7) 使用方法別

運動広場（戸坂、南観音、祇園、沼田、筒瀬、湯来、湯来南、上河内、下河内の運動広場及び西区スポーツセンター）の令和5年度の稼働率は、29.0%（使用時間 9,523 時間／開場時間 32,819 時間）であり、土日に限ると 52.5%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	1,004 時間(3.0%)	123 件(4.2%)	13,657 人(15.2%)
うち土日祝	996 時間(8.3%)	121 件(8.5%)	13,543 人(24.1%)
②一般専用使用	8,519 時間(26.0%)	2,793 件(95.8%)	76,153 人(84.8%)
うち土日祝	5,331 時間(44.2%)	1,310 件(91.5%)	42,628 人(75.9%)
計	9,523 時間(29.0%)	2,916 件(100%)	89,810 人(100%)
うち土日祝	6,327 時間(52.5%)	1,431 件(100%)	56,171 人(100%)
③利用者なしの時間数	23,296 時間(71.0%)		
うち土日祝	5,722 時間(47.5%)		

(4) 競技種目別

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	3,634 時間(38.2%)	1,363 件(46.7%)	46,439 人(51.7%)
②野球	3,604 時間(37.8%)	693 件(23.7%)	21,528 人(24.0%)
③グラウンド・ゴルフ	1,174 時間(12.3%)	510 件(17.5%)	9,075 人(10.1%)
④ソフトボール	686 時間(7.2%)	148 件(5.1%)	7,479 人(8.4%)
⑤フットサル	82 時間(0.9%)	82 件(2.8%)	1,194 人(1.3%)
⑥陸上	79 時間(0.8%)	43 件(1.5%)	1,083 人(1.2%)
⑦ソフトテニス	70 時間(0.7%)	29 件(1.0%)	278 人(0.3%)
⑧バタック	37 時間(0.4%)	9 件(0.3%)	566 人(0.6%)
⑨アーチェリー	13 時間(0.1%)	2 件(0.1%)	118 人(0.1%)
⑩モルック	5 時間(0.1%)	3 件(0.1%)	75 人(0.1%)
⑪その他	139 時間(1.5%)	34 件(1.2%)	1,974 人(2.2%)
計	9,523 時間(100%)	2,916 件(100%)	89,809 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(5) 使用日数の状況

運動広場（戸坂運動広場外 9 か所）の令和 5 年度の「使用がある日」の割合は、57.0%（使用日数 1,730 日／開場日数 3,036 日）であり、土日祝に限ると 76.8%となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
戸坂運動広場	309 日	117 日	227 日(73.5%)	105 日(89.7%)
南観音運動広場	311 日	117 日	217 日(69.8%)	86 日(73.5%)

Ⅱ 調査結果

祇園運動広場	309 日	117 日	276 日(89.3%)	102 日(87.2%)
沼田運動広場	309 日	117 日	147 日(47.6%)	99 日(84.6%)
筒瀬運動広場	311 日	117 日	120 日(38.6%)	90 日(76.9%)
湯来運動広場	309 日	117 日	184 日(59.5%)	71 日(60.7%)
湯来南運動広場	309 日	117 日	86 日(27.8%)	65 日(55.6%)
上河内運動広場	309 日	117 日	100 日(32.4%)	97 日(82.9%)
下河内運動広場	249 日	94 日	112 日(45.0%)	64 日(68.1%)
西区スポーツセンター	311 日	117 日	261 日(83.9%)	102 日(87.2%)
合 計	3,036 日	1,147 日	1,730 日(57.0%)	881 日(76.8%)

エ 総合屋内プール（50mプール）の使用状況

(7) 使用方法別

総合屋内プール（50mプール）の令和5年度の稼働率は、100%（使用時間 1,281 時間／開館時間 1,281 時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	380 時間(29.7%)	38 件(92.7%)	21,890 人(65.6%)
うち土日祝	276 時間(58.6%)	24 件(100%)	14,660 人(88.7%)
②一般専用使用	18 時間(1.4%)	3 件(7.3%)	830 人(2.5%)
うち土日祝	0 時間(0.0%)	0 件(0.0%)	0 人(0.0%)
③一般開放（個人利用）	883 時間(68.9%)		10,622 人(31.9%)
うち土日祝	195 時間(41.4%)		1,870 人(11.3%)
計	1,281 時間(100%)	41 件(100%)	33,342 人(100%)
うち土日祝	471 時間(100%)	24 件(100%)	16,530 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※総合屋内プールは、夏季（令和5年度は5月25日～9月18日）は50mプールとして、夏季以外（令和5年度は4月1日～4月17日、10月25日～3月31日）はスケートリンクとして利用されている。

※総合屋内プールでは、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13時）」、「午後（13時～17時）」、「夜間（17時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

(イ) 専用使用日数の状況

総合屋内プール（50mプール）の「専用使用がある日」の割合は39.6%（専用使用日数40日／開館日数101日）であり、土日祝に限ると75.7%となっている。

区 分	開館日数		専用使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
総合屋内プール （50mプール）	101 日	37 日	40 日(39.6%)	28 日(75.7%)

Ⅱ 調査結果

オ 総合屋内プール（スケートリンク【メインリンク】）の使用状況

(ア) 使用方法別

総合屋内プールは、夏季以外（令和5年度は4月1日～4月17日、10月25日～3月31日）は、スケートリンクとして活用されており、令和5年度の稼働率は、100%（使用時間 1,812 時間／開館時間 1,812 時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	301 時間(16.6%)	31 件(8.7%)	5,928 人(14.8%)
うち土日祝	239 時間(35.6%)	26 件(24.8%)	5,048 人(24.7%)
②一般専用使用	707 時間(39.0%)	326 件(91.3%)	10,012 人(25.0%)
うち土日祝	195 時間(29.0%)	79 件(75.2%)	3,192 人(15.6%)
③一般開放（個人利用）	804 時間(44.4%)		24,131 人(60.2%)
うち土日祝	238 時間(35.4%)		12,226 人(59.7%)
計	1,812 時間(100%)	357 件(100%)	40,071 人(100%)
うち土日祝	672 時間(100%)	105 件(100%)	20,466 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※総合屋内プールは、夏季（令和5年度は5月25日～9月18日）は50mプールとして、夏季以外（令和5年度は4月1日～4月17日、10月25日～3月31日）はスケートリンクとして利用されている。

(イ) 競技種目別

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①アイスホッケー	499 時間(49.5%)	181 件(50.7%)	9,444 人(59.2%)
②フィギュアスケート	263 時間(26.1%)	118 件(33.0%)	3,803 人(23.9%)
③スピードスケート	80 時間(7.9%)	40 件(11.2%)	517 人(3.2%)
④アイススケート	62 時間(6.1%)	10 件(2.8%)	1,046 人(6.6%)
⑤アイスダンス	61 時間(6.1%)	4 件(1.1%)	800 人(5.0%)
⑥カーリング	19 時間(1.9%)	2 件(0.6%)	160 人(1.0%)
⑦その他	24 時間(2.4%)	2 件(0.6%)	170 人(1.1%)
計	1,008 時間(100%)	357 件(100%)	15,940 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(ウ) 専用使用日数の状況

総合屋内プール（スケートリンク【メインリンク】）の「専用使用がある日」の割合は100%（専用使用日数 151 日／開館日数 151 日）となっている。

区 分	開館日数		専用使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
総合屋内プール （スケートリンク）	151 日	56 日	151 日(100%)	56 日(100%)

Ⅱ 調査結果

カ プール（８区スポーツセンター（分室を含む。））の使用状況

(7) 使用方法別

プール（吉島屋内プール（中区 SC 分室）、東区 SC、東雲屋内プール（南区 SC 分室）、出島屋内プール（南区 SC 分室）、西区 SC、安佐南区 SC、安佐北区 SC、安芸区 SC、佐伯区 SC）の稼働率は 100%（使用時間 31,702 時間／開館時間 31,702 時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	68 時間(0.2%)	20 件(100%)	317 人(0.1%)
うち土日祝	2 時間(0.0%)	2 件(100%)	74 人(0.0%)
②一般使用（個人使用）	31,634 時間(99.8%)		454,651 人(99.9%)
うち土日祝	12,007 時間(100%)		156,545 人(100%)
計	31,702 時間(100%)	20 件(100%)	454,968 人(100%)
うち土日祝	12,009 時間(100%)	2 件(100%)	156,619 人(100%)
③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※各プールにおいては、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13 時）」、「午後（13 時～17 時）」、「夜間（17 時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

キ 柔道場・剣道場（南区・安佐南区スポーツセンター）の使用状況

(7) 使用方法別

南区スポーツセンターの柔道場・剣道場及び安佐南スポーツセンターの柔剣道場の令和 5 年度の稼働率は、90.1%（使用時間 10,241 時間／開館時間 11,361 時間）であり、土日祝に限ると 94.2%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	163 時間(1.4%)	34 件(2.6%)	2,304 人(4.9%)
うち土日祝	148 時間(3.4%)	31 件(7.5%)	1,904 人(11.8%)
②一般専用使用	1,933 時間(17.0%)	1,298 件(97.4%)	26,374 人(56.4%)
うち土日祝	779 時間(18.1%)	384 件(92.5%)	6,406 人(39.5%)
③その他（個人利用等）	8,145 時間(71.7%)		18,083 人(38.7%)
うち土日祝	3,127 時間(72.7%)		7,893 人(48.7%)
計	10,241 時間(90.1%)	1,332 件(100%)	46,761 人(100%)
うち土日祝	4,054 時間(94.2%)	415 件(100%)	16,203 人(100%)
④利用者なしの時間数	1,120 時間(9.9%)		
うち土日祝	248 時間(5.8%)		

(4) 競技種目別

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①空手	580 時間(27.7%)	388 件(29.1%)	12,718 人(44.4%)
②合気道	382 時間(18.2%)	258 件(19.4%)	2,812 人(9.8%)
③剣道	342 時間(16.3%)	255 件(19.1%)	4,338 人(15.1%)

Ⅱ 調査結果

④なぎなた	121 時間(5.8%)	27 件(2.0%)	835 人(2.9%)
⑤居合道	97 時間(4.6%)	63 件(4.7%)	1,148 人(4.0%)
⑥太極拳	88 時間(4.2%)	44 件(3.3%)	866 人(3.0%)
⑦テコンドー	74 時間(3.5%)	37 件(2.8%)	436 人(1.5%)
⑧コアトレーニング	66 時間(3.1%)	44 件(3.3%)	740 人(2.6%)
⑨卓球	57 時間(2.7%)	25 件(1.9%)	322 人(1.1%)
⑩エアロビクス	49 時間(2.4%)	82 件(6.2%)	1,249 人(4.4%)
⑪武道	46 時間(2.2%)	19 件(1.4%)	396 人(1.4%)
⑫柔術	44 時間(2.1%)	44 件(3.3%)	582 人(2.0%)
⑬ダンス	31 時間(1.5%)	6 件(0.5%)	103 人(0.4%)
⑭柔道	28 時間(1.4%)	14 件(1.1%)	164 人(0.6%)
⑮体操	9 時間(0.4%)	6 件(0.5%)	57 人(0.2%)
⑯新体操	4 時間(0.2%)	2 件(0.1%)	40 人(0.1%)
⑰その他	78 時間(3.7%)	18 件(1.3%)	1,872 人(6.5%)
計	2,096 時間(100%)	1,332 件(100%)	28,678 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(ウ) 使用日数の状況

柔道場・剣道場（南区・安佐南区スポーツセンター）の「使用がある日」の割合は、96.2%（使用日数 892 日／開館日数 927 日）であり、土日祝に限ると 100%となっている。

区 分	開館日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
柔道場（南区 SC）	309 日	117 日	307 日(99.4%)	117 日(100%)
剣道場（南区 SC）	309 日	117 日	307 日(99.4%)	117 日(100%)
柔剣道場(安佐南区 SC)	309 日	117 日	278 日(90.0%)	117 日(100%)
合 計	927 日	351 日	892 日(96.2%)	351 日(100%)

ク 弓道場（安佐南区スポーツセンター）の使用状況

(7) 使用方法別

弓道場（安佐南区スポーツセンター）の令和 5 年度の稼働率は、89.5%（使用時間 3,391 時間／開館時間 3,787 時間）であり、土日祝に限ると 84.9%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	8 時間(0.2%)	1 件(100%)	20 人(0.3%)
うち土日祝	8 時間(0.5%)	1 件(100%)	20 人(0.9%)
②一般使用（個人使用等）	3,383 時間(89.3%)		6,954 人(99.7%)
うち土日祝	1,210 時間(84.4%)		2,271 人(99.1%)
計	3,391 時間(89.5%)	1 件(100%)	6,974 人(100%)
うち土日祝	1,218 時間(84.9%)	1 件(100%)	2,291 人(100%)
③利用者なしの時間数	396 時間(10.5%)		
うち土日祝	216 時間(15.1%)		

Ⅱ 調査結果

※弓道場（安佐南区スポーツセンター）では、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13時）」、「午後（13時～17時）」、「夜間（17時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

(イ) 使用日数の状況

弓道場（安佐南区スポーツセンター）の「使用がある日」の割合は、100%（使用日数 309 日／開場日数 309 日）となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
弓道場（南区 SC）	309 日	117 日	309 日(100%)	117 日(100%)

ケ 中央庭球場の使用状況

(ア) 使用方法別

中央庭球場の令和5年度の稼働率は、65.2%（使用時間 2,205 時間／使用可能時間 3,381 時間）であり、土日祝に限ると 83.9%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	751 時間(22.2%)	103 件(82.4%)	22,970 人(29.8%)
うち土日祝	628 時間(41.7%)	86 件(87.8%)	19,009 人(44.0%)
②一般専用使用（大会等）	106 時間(3.1%)	22 件(17.6%)	1,914 人(2.5%)
うち土日祝	64 時間(4.2%)	12 件(12.2%)	737 人(1.7%)
③一般専用使用(個人使用)	1,348 時間(39.9%)		52,297 人(67.7%)
うち土日祝	605 時間(40.2%)		23,472 人(54.3%)
計	2,205 時間(65.2%)	125 件(100%)	77,181 人(100%)
うち土日祝	1,297 時間(86.1%)	98 件(100%)	43,218 人(100%)
④利用者なしの時間数	1,176 時間(34.8%)		
うち土日祝	209 時間(13.9%)		

※中央庭球場はコートが 11 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

(イ) 使用日数の状況

中央庭球場の「使用がある日」の割合は、100%（使用日数 307 日／使用可能日数 307 日）となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
中央庭球場	307 日	117 日	307 日(100%)	117 日(100%)

Ⅱ 調査結果

コ 庭球場・テニスコートの使用状況

(7) 使用方法別

戸坂、南観音、沼田、大町東、湯来、湯来南、上河内、下河内、新宮苑の各庭球場、安佐南区 SC、安芸区 SC のテニスコートの令和5年度の稼働率は、16.8%（使用時間 5,918 時間／開場時間 35,214 時間）であり、土日祝に限ると 29.5%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	69 時間(0.2%)	10 件(0.1%)	735 人(2.0%)
うち土日祝	69 時間(0.5%)	10 件(0.3%)	735 人(3.5%)
②一般専用使用	5,849 時間(16.6%)	6,670 件(99.9%)	36,546 人(98.0%)
うち土日祝	3,855 時間(29.0%)	3,813 件(99.7%)	20,334 人(96.5%)
計	5,918 時間(16.8%)	6,680 件(100%)	37,281 人(100%)
うち土日祝	3,924 時間(29.5%)	3,823 件(100%)	21,069 人(100%)
③利用者なしの時間数	29,296 時間(83.2%)		
うち土日祝	9,389 時間(70.5%)		

※使用時間数は、各庭球場等の「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

(4) 使用日数・使用率の状況

庭球場・テニスコート（戸坂庭球場外 10 か所）の令和 5 年度の「使用がある日」の割合は、51.7%（使用日数 1,727 日／開場日数 3,343 日）であり、土日祝に限ると 65.0%となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
戸坂庭球場【2 面】	309 日	117 日	226 日(73.1%)	96 日(82.1%)
南観音庭球場【4 面】	311 日	117 日	195 日(62.7%)	88 日(75.2%)
沼田庭球場【2 面】	309 日	117 日	23 日(7.4%)	14 日(12.0%)
大町東庭球場【3 面】	309 日	117 日	268 日(86.7%)	104 日(88.9%)
湯来庭球場【2 面】	309 日	117 日	184 日(59.5%)	70 日(59.8%)
湯来南庭球場【2 面】	309 日	117 日	6 日(1.9%)	5 日(4.3%)
上河内庭球場【1 面】	309 日	117 日	102 日(33.0%)	90 日(76.9%)
下河内庭球場【8 面】	249 日	94 日	108 日(43.4%)	76 日(80.9%)
新宮苑庭球場【4 面】	309 日	117 日	288 日(93.2%)	107 日(91.5%)
安佐南区 SC【1 面】	309 日	117 日	97 日(31.4%)	70 日(59.8%)
安芸区 SC【2 面】	311 日	117 日	230 日(74.0%)	101 日(86.3%)
合 計	3,343 日	1,264 日	1,727 日(51.7%)	821 日(65.0%)

本市内の公園のテニスコート（有料施設）の令和 5 年度の稼働率は 42.7%（使用時間数 52,262 時間／使用可能時間数 122,425 時間）となっている。

区 分	使用可能時間数	使用時間数	使用率	使用人数
竜王公園【7 面】	25,345 時間	15,436 時間	60.9%	27,636 人
寺迫公園【6 面】	14,174 時間	7,738 時間	54.6%	14,485 人
可部運動公園【6 面】	11,934 時間	3,527 時間	29.6%	6,482 人
瀬野川公園【12 面】	46,576 時間	11,417 時間	24.5%	20,626 人
佐伯運動公園【7 面】	24,396 時間	14,144 時間	58.0%	24,396 人
合 計	122,425 時間	52,262 時間	42.7%	93,625 人

Ⅱ 調査結果

サ 広域公園テニスコートの使用状況

(7) 使用方法別

広域公園テニスコートの令和5年度の大会等による「専用使用の割合」は、24.5%（専用使用時間 1,050 時間／開場時間 4,284 時間）であり、土日祝に限ると 37.3%（専用使用時間 523 時間／開場時間 1,404 時間）となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	763 時間(17.8%)	359 件(58.1%)	20,735 人(27.8%)
うち土日祝	428 時間(30.5%)	168 件(74.0%)	10,460 人(41.6%)
②一般専用使用(大会等)	287 時間(6.7%)	259 件(41.9%)	6,203 人(8.3%)
うち土日祝	95 時間(6.8%)	59 件(26.0%)	1,834 人(7.3%)
③一般専用使用(個人使用)	—		47,666 人(63.9%)
うち土日祝	—		12,842 人(51.1%)
計	—	618 件(100%)	74,604 人(100%)
うち土日祝	—	227 件(100%)	25,136 人(100%)
④利用者なしの時間数	—		
うち土日祝	—		

※広域公園テニスコートはコートが 20 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

(イ) 使用日数の状況

広域公園テニスコートの「大会等のための専用使用がある日の割合」は、76.5%（専用使用日数 273 日／開場日数 357 日）であり、土日祝に限ると 96.6%となっている。

区 分	開場日数		大会等のための専用使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
広域公園テニスコート	357 日	117 日	273 日(76.5%)	113 日(96.6%)

シ 陸上競技場の使用状況

(7) 使用方法別

陸上競技場（広域公園）の令和5年度の稼働率は、36.5%（使用時間 977 時間／開場時間 2,676 時間）であり、土日祝に限ると 65.8%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	774 時間(28.9%)	78 件(60.5%)	41,290 人(87.2%)
うち土日祝	596 時間(59.8%)	53 件(85.5%)	32,900 人(90.8%)
②一般専用使用	203 時間(7.6%)	51 件(39.5%)	6,077 人(12.8%)
うち土日祝	59 時間(5.9%)	9 件(14.5%)	3,320 人(9.2%)
計	977 時間(36.5%)	129 件(100%)	47,367 人(100%)
うち土日祝	655 時間(65.8%)	62 件(100%)	36,220 人(100%)
③利用者なしの時間数	1,699 時間(63.5%)		
うち土日祝	341 時間(34.2%)		

Ⅱ 調査結果

(イ) 競技種目別

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	442 時間(45.2%)	54 件(41.9%)	9,037 人(19.1%)
うちサンフレ関係	321 時間(32.9%)	39 件(30.2%)	5,280 人(11.2%)
②陸上	414 時間(42.4%)	63 件(48.8%)	30,750 人(65.1%)
③フライングディスク	7 時間(0.7%)	1 件(0.8%)	200 人(0.5%)
④その他	114 時間(11.7%)	11 件(8.5%)	7,230 人(15.3%)
計	977 時間(100%)	129 件(100%)	47,217 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(ウ) 使用日数の状況（広島県総合グランドを含む。）

陸上競技場（広域公園及び広島県総合グランド）の令和5年度の「使用がある日」の割合は、60.3%（使用日数 343 日／開場日数 569 日）であり、土日祝に限ると 89.9%となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
広域公園	223 日	83 日	167 日(74.9%)	65 日(78.3%)
うちサンフレ関係	—	—	40 日(17.9%)	22 日(26.5%)
広島県総合グランド	346 日	115 日	176 日(50.9%)	113 日(98.3%)
合 計	569 日	198 日	343 日(60.3%)	178 日(89.9%)

ス 球技場の使用状況

(ア) 使用方法別

球技場（広域公園第一球技場及び第二球技場）の令和5年度の稼働率は、48.5%（使用時間 2,638 時間／開場時間 5,436 時間）であり、土日祝に限ると 62.0%となっている。

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	1,207 時間(22.1%)	139 件(32.9%)	36,568 人(53.5%)
うち土日祝	984 時間(41.4%)	109 件(59.2%)	31,759 人(76.6%)
②一般専用使用	1,431 時間(26.3%)	283 件(67.1%)	31,847 人(46.5%)
うち土日祝	490 時間(20.6%)	75 件(40.8%)	9,708 人(23.4%)
計	2,638 時間(48.5%)	422 件(100%)	68,415 人(100%)
うち土日祝	1,474 時間(62.0%)	184 件(100%)	41,467 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,798 時間(51.5%)		
うち土日祝	902 時間(38.0%)		

※第一球技場は、天然芝のグラウンド（157m×80.8m ※夜間照明設備あり）

※第二球技場は、ショートパイルの人工芝のグラウンド（140m×69m ※夜間照明設備あり）

(イ) 競技種目別

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	1,684 時間(63.8%)	306 件(72.5%)	41,064 人(60.0%)

Ⅱ 調査結果

②ホッケー	485 時間(18.4%)	59 件(14.0%)	6,440 人(9.4%)
③アメリカンフットボール	107 時間(4.1%)	12 件(2.9%)	1,240 人(1.8%)
④グラウンド・ゴルフ	87 時間(3.3%)	14 件(3.3%)	2,158 人(3.2%)
⑤陸上	47 時間(1.8%)	5 件(1.2%)	1,845 人(2.7%)
⑥フットベースボール	41 時間(1.5%)	4 件(0.9%)	3,000 人(4.4%)
⑦ラクロス	19 時間(0.7%)	2 件(0.5%)	328 人(0.5%)
⑧フットサル	12 時間(0.5%)	4 件(0.9%)	150 人(0.2%)
⑨その他	156 時間(5.9%)	16 件(3.8%)	12,190 人(17.8%)
計	2,638 時間(100%)	422 件(100%)	68,145 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

(㏽) 使用日数の状況

競技場の令和 5 年度の「使用がある日」の割合は、91.8%（使用日数 416 日／開場日数 453 日）であり、土日祝に限ると 91.9%となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
広域公園（第一球技場）	143 日	81 日	120 日(83.9%)	70 日(86.4%)
広域公園（第二球技場）	310 日	117 日	296 日(95.5%)	112 日(95.7%)
合 計	453 日	198 日	416 日(91.8%)	182 日(91.9%)

セ 野球場の使用状況

(㏽) 使用率・使用日数の状況

本市内の公園施設の野球場（有料施設）の令和 5 年度の使用率は 40.9%（使用時間数 6,283 時間／使用可能時間数 15,376 時間）となっている。

区 分	使用可能時間数	使用時間数	使用率	使用人数
竜王公園	3,560 時間	1,645 時間	46.2%	8,937 人
草津公園	3,960 時間	1,661 時間	41.9%	14,276 人
寺迫公園	2,463 時間	1,196 時間	48.6%	8,739 人
可部運動公園	2,383 時間	824 時間	34.6%	6,512 人
瀬野川公園	3,010 時間	957 時間	31.8%	9,313 人
合 計	15,376 時間	6,283 時間	40.9%	47,777 人

広島県総合グラウンドの野球場の令和 5 年度の「使用がある日」の割合は、79.3%（使用日数 242 日／開場日数 305 日）であり、土日祝に限ると 98.2%となっている。

区 分	開場日数		使用がある日	
		うち土日祝		うち土日祝
広島県総合グラウンド	305 日	114 日	242 日(79.3%)	112 日(98.2%)

Ⅱ 調査結果

＜硬式野球の利用が可能な野球場について＞

広島市内において硬式野球の利用が可能な野球場は、広島市民球場【MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島】及び広島県総合グランド野球場【Balcom BMW Baseball Stadium】のみである。

高校野球の夏の地方大会 2024（広島県大会）では、85 試合が、次のとおり、広島県内の8 か所の野球場において開催されている。

球場名	試合数
① みよし運動公園野球場（電光石火きんさいスタジアム三次）【三次市】	21 試合
② 広島県立びんご運動公園野球場（ぶんちゃんしまなみ球場）【尾道市】	18 試合
③ 呉二河球場（鶴岡一人記念球場）【呉市】	17 試合
④ 広島県総合グランド野球場（Balcom BMW Baseball Stadium）【広島市】	13 試合
⑤ 福山市民球場（エブリー福山市民球場）【福山市】	10 試合
⑥ 広島市民球場（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島）【広島市】	2 試合
⑦ 三原市民球場（やまみ三原市民球場）【三原市】	2 試合
⑧ 東広島アクアスタジアム【東広島市】	2 試合
計	85 試合

上記 8 球場のうち、5 球場（①電光石火きんさいスタジアム三次、②ぶんちゃんしまなみ球場、③鶴岡一人記念球場、⑤エブリー福山市民球場、⑥マツダスタジアム）については、広島東洋カープの 2025 年度ウエスタン・リーグの試合が開催される予定である。

なお、廿日市市佐伯総合スポーツ公園野球場においてもウエスタン・リーグの試合は開催されているが、高校野球の試合は開催されていない。

(2) 広島広域都市圏内の施設

広島広域都市圏の市町（本市を除く。）の屋内施設（専用使用調整において調整できなかった場合に代替施設として利用されている施設）について、土日祝の大会等による使用日数を調査した。

施設名	土日祝の開館日数	大会等による使用日数	大会等による使用日率
① 呉市総合体育館【シシンヨーオークアリーナ】	117 日	106 日	90.6%
② 呉市体育館【IH1アリーナ】	117 日	99 日	84.6%
③ 廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）【グローバルリゾート総合スポーツセンター】	119 日	103 日	86.6%
④ 廿日市市佐伯総合スポーツ公園体育館	117 日	49 日	41.9%
⑤ 広島県立みよし公園【電光石火みよしパーク】カルチャーセンター（アリーナ）	117 日	86 日	73.5%
⑥ 大竹市総合体育館	101 日	89 日	88.1%

Ⅱ 調査結果

(3) 広島県内（広島広域都市圏内の市町を除く。）の施設

広島県内（広島広域都市圏内の市町を除く。）の屋内施設（専用使用調整において調整できなかった場合に代替施設として利用されている施設）について、土日祝の大会等による使用日数を調査した。

施設名	土日祝の開館日数	大会等による使用日数	大会等による使用日率
① 福山市総合体育館【エフピコアリーナ】	117 日	112 日	95.7%
② 福山市緑町公園屋内競技場【福山通運ローズアリーナ】 ※夏季は50mプール、夏季以外はアリーナとして使用	77 日	73 日	94.8%
③ 府中市総合体育館【TTC アリーナ】	104 日	98 日	94.2%

Ⅱ 調査結果

3 専用使用調整において調整できなかった大会等及びその後の状況

専用使用調整において調整できず施設使用を断った大会等について、その後、当該大会等が、他の施設で開催されたのか、中止となったのかなど、大会主催者へのヒアリング等により調査した。

(1) 各区スポーツセンター等（屋内施設）において調整できなかった大会等

ア 調整できなかった主な大会等

各区スポーツセンター等において、令和5年度に調整できなかった大会等は248件あった。

区 分	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
中区スポーツセンター	8 件	・広島市中学校新人大会（バスケットボール） ・バドミントンS/Jリーグ2023広島大会 など
東区スポーツセンター	109 件	・全国高等学校バスケットボール選手権大会広島県予選 ・日本ハンドボールリーグ（試合） ・全日本バレーボール高等学校選手権大会広島県予選会 ・広島市バレーボールリーグ春季大会 ・ピースカップ中学生バスケットボール交歓大会 ・広島県高等学校総合体育大会バレーボール種目広島地区予選会 ・国民体育大会広島県代表選手選考会（少年の部） ・広島市中学校選手権大会（卓球） ・広島県高等学校総合体育大会柔道競技 ・広島県U15クラブ春季バスケットボール大会 ・広島地区高等学校バスケットボール1年生大会 など
南区スポーツセンター	1 件	・居合・杖道審査員講習
西区スポーツセンター	3 件	・全日本ジュニアバドミントン選手権大会広島県予選会 ・冬季昇級審査会
安佐南区スポーツセンター	10 件	・広島市バレーボールリーグ秋季大会 ・広島スポーツ体育大会バドミントン競技 ・広島県高等学校バドミントン学年別大会 ・競技別指導者養成講習会 など
安佐北区スポーツセンター	59 件	・全日本ジュニアバドミントン選手権大会広島県予選会 ・広島県高等学校総合体育大会空手道競技 ・広島市バレーボールリーグ春季大会 ・広島県高等学校総合体育大会バドミントン競技学校対抗戦 ・広島市中学校選手権大会（バドミントン） ・広島県ソフトバレーボール全国・中国地区大会予選会 ・広島市中学校選手権大会（剣道） ・広島県U15クラブ春季バスケットボール大会 ・広島県ソフトバレーボール連盟帯同審判員養成講習会 ・バドミントンひろしまオープン ・全日本剣道連盟中国・四国合同稽古会 など
安芸区スポーツセンター	32 件	・広島県社会人バスケットボール総合選手権大会兼天皇杯・皇后杯全日本選手権大会広島県代表決定戦社会人連盟予選会 ・広島市中学校選手権大会（バスケットボール） ・広島県社会人バスケットボールリーグ ・広島市卓球リーグ ・広島市バレーボールリーグ秋季大会 ・3X3 OPEN全日本選手権大会広島県予選会 など

Ⅱ 調査結果

佐伯区スポーツセンター	16 件	・全日本バレーボール高等学校選手権大会広島県予選会 ・中国高等学校バレーボール選手権大会 ・広島県高等学校総合体育大会バドミントン競技広島地区予選会 ・広島県パウンドテニスシングルス選手権大会 ・広島市中学校選手権大会（バスケットボール） ・広島市中学校選手権大会（バレーボール） ・広島市バレーボールリーグ秋季大会 など
湯来体育館	10 件	・広島市バスケットボールリーグ戦 ・剣道のジュニア強化練習会 など
合 計	248 件	

※中区、安佐南区、佐伯区は、それぞれ耐震化工事のため次のとおり休館期間があり、大会等の受入れ期間が短くなっている。

・中区：令和５年４月１日～令和５年１２月２８日（９か月間） ・安佐南区：令和５年４月１日～令和５年１０月４日（約６か月間） ・佐伯区：令和５年１０月２日～令和６年３月３１日（約６か月間）

<曜日別の状況>

曜 日	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
月曜日	3 件	・全日本ジュニアバドミントン選手権大会広島県予選会 ・中国新聞杯広島市バレーボールリーグ春季大会
火曜日	3 件	・全日本ジュニアバドミントン選手権大会広島県予選会 ・中国新聞杯広島市バレーボールリーグ春季大会
水曜日	1 件	・ひろしまオープンレディース卓球大会
木曜日	2 件	・ひろしまオープンレディース卓球大会 ・日本ハンドボールリーグ（女子）準備
金曜日	2 件	・中国高等学校新人バレーボール大会 ・全日本バレーボール高等学校選手権大会広島県予選決勝（前日準備）
土曜日	94 件	・バドミントン S/J リーグ 2023 広島大会 ・広島市中学校選手権大会（卓球） など
日曜日	134 件	・全国高等学校バスケットボール選手権大会広島県予選 ・広島市中学校新人大会（バスケットボール） など
祝 日	9 件	・ピースカップ中学生バスケットボール交歓大会 ・3X3 O P E N 全日本選手権大会広島県予選会 など
合 計	248 件	

<月別の状況>

区 分	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
4 月	12 件	・中国新聞杯広島市バレーボールリーグ春季大会 ・広島県社会人バスケットボール総合選手権大会兼天皇杯・皇后杯全日本選手権大会広島県代表決定戦社会人連盟予選会 など
5 月	25 件	・ひろしまオープンレディース卓球大会 ・ピースカップ中学生バスケットボール 交歓大会 など
6 月	27 件	・広島市中学校選手権大会（卓球） ・広島市中学校選手権大会（バドミントン） など
7 月	29 件	・全日本ジュニアバドミントン選手権大会広島県予選会 ・日本ハンドボールリーグ（男子）試合 など

Ⅱ 調査結果

8月	13件	・天皇杯・皇后杯全日本バスケットボール選手権大会広島県代表決定戦 ・広島市学区親善オープン卓球大会 など
9月	21件	・広島市バスケットボール選手権大会兼県民大会予選 ・広島県高等学校新人バドミントン大会広島地区予選会 など
10月	29件	・全国高等学校バスケットボール選手権大会広島県予選 ・広島県高等学校柔道新人大会広島地区予選会 など
11月	35件	・3X3OPEN全日本選手権大会広島県予選会 ・全日本バレーボール高等学校選手権大会広島県予選決勝(前日準備)
12月	11件	・広島市中学校新人大会(バレーボール) ・広島市中学校新人大会(バドミントン) など
1月	18件	・広島市中学校新人大会(バスケットボール) ・バドミントンS/Jリーグ2023 広島大会 など
2月	23件	・中国高等学校新人バレーボール大会 ・広島市バスケットボールリーグ戦 など
3月	5件	・フレンドリーカップひろしまオープンバレーボール春季大会 ・広島市卓球リーグ 後期 など
合計	248件	

イ 調整できなかった大会等の対応状況

調整できなかった大会等については、他の施設で開催されたものや複数の会場に分散して開催されたものなどがあり、専用使用調整で調整できなかった大会等の件数 248 件のうち、会場が確保できないことを理由に開催を中止となったものは 13 件あった。

なお、各競技団体からは、会場が分散するなどして会場が増えることにより、選手の負担が増えるとともに、役員や審判、スタッフの人数が多くなるため、競技団体の負担も増えるなどの意見があった。

対応状況	大会等の件数
① 他の施設で大会等を開催(大会規模、大会期間等の変更なし)	132件(53.2%)
② 複数の会場に分散して開催(学校施設など小規模な施設に分散)	57件(23.0%)
③ 会場数を減らして開催(複数会場で開催予定の会場数の減少)	19件(7.7%)
④ 大会規模を縮小して開催(試合数を減らすなどして開催)	13件(5.2%)
⑤ 開催日数を減らして開催(予定より大会日数を減らして開催)	6件(2.4%)
⑥ 開催日数を延長して開催(予定より小規模な施設等で日数を増やして開催)	4件(1.6%)
⑦ 会場規模を縮小して開催(予定より小規模な施設で開催)	2件(0.8%)
⑧ 他の大会等と統合して開催(他の大会等の会場の一部を使って開催)	2件(0.8%)
⑨ 他の大会等を中止して開催(他の大会等で確保していた会場で開催)	1件(0.4%)
⑩ その他	17件(6.9%)
⑪ 開催の中止(会場が確保できないことを理由に開催を中止)	13件(5.2%)

※複数の会場に分散しつつ大会日数を延長するなど、複数の対応を行っているものもあるため、大会等の件数は、調整できなかった大会等の件数 248 件を超えている。

Ⅱ 調査結果

ウ 他の施設で開催した際の場所

調整できなかった大会等を他の施設で開催した際の場所は次のとおり。

対応状況		大会等の件数
広島市内	公立学校施設（中学校、高等学校の体育館）	61 件(26.0%)
	県有施設（県立総合体育館）	45 件(19.1%)
	市有スポーツ施設（他のスポーツセンターなど）	38 件(16.2%)
	民間施設（広島経済大学、猫田記念体育館、私立高校など）	8 件(3.4%)
	計	152 件(64.7%)
広島市外	廿日市市（総合スポーツセンターサンチェリー、佐伯総合スポーツ公園など）	23 件(9.8%)
	尾道市（びんご運動公園体育館【こざかなくんアリーナ】）	18 件(7.7%)
	呉市（呉市総合体育館オークアリーナ、呉市体育館【IHI アリーナ呉】など）	14 件(6.0%)
	府中市（府中市立総合体育館【TTCアリーナ】）	14 件(6.0%)
	福山市（福山市総合体育館【エフピコアリーナ】）	8 件(3.4%)
	北広島町（豊平総合運動公園体育館、千代田運動公園総合体育館など）	5 件(2.1%)
	庄原市（庄原市総合体育館）	5 件(2.1%)
	三次市（広島県立みよし公園【電光石火みよしパーク】）	3 件(1.3%)
	山口県	2 件(0.9%)
	東広島市（東広島運動公園）	1 件(0.4%)
	安芸太田町（加計体育館）	1 件(0.4%)
	山口県下松市	1 件(0.4%)
	計	95 件(40.5%)

※市内外で複数の会場に分散して開催されている大会等もあるため、「大会等の件数」は、実際の大会等の件数 235 件（開催中止の 13 件を除いた数字）を超えている。

エ 開催中止となった大会等

開催場所が確保できなかったために開催を中止した大会等は 13 件であり、その理由は次のとおり。

中止となった大会等	開催中止の理由
① 2023 年度広島県ソフトバレーボール連盟帯同審判員養成講習会	代替会場が確保できなかったため中止
② 第 21 回広島市ソフトバレーボール交流会	広島市内の施設が確保できなかったため開催中止。選手・役員の負担になるため、市外での開催は考えていない。
③ 2023 年度広島市高等学校選抜大会（卓球）【広島市卓球協会】	周辺市町も含め会場が確保できなかったため開催中止
④ 県知事争奪・広島県選手権大会（中学生以下の部）（卓球）	周辺市町も含め会場が確保できなかったため開催中止
⑤ 2023 ユースソフトバレーボール大会 in ひろしま【広島市ソフトバレーボール連盟】	広島市内の施設が確保できなかったため開催中止。選手・役員の負担になるため、市外での開催は考えていない。
⑥ 広島市長杯第 36 回全山陽競技ダンス大会【JBDF 広島県ボールルームダンス連盟】	県内の会場が確保できなかったため開催中止

Ⅱ 調査結果

⑦ ふれあい運動会【佐伯区身体障害者福祉協会】	他の行事の都合上、日程変更等ができないため中止
⑧ 広島市長杯第37回全山陽競技ダンス大会【JBDF 広島県ボールルームダンス連盟】	県内の会場が確保できなかったため中止
⑨ 佐伯区学区対抗運動会【佐伯区スポーツ推進委員協議会】	佐伯区スポーツセンターが耐震工事により休館のため開催中止
⑩ 近郊強化練習会【広島県小学生バドミントン連盟】	広島市及び周辺市町の施設が確保できなかったため開催中止
⑪ ジュニアサーキット講習練習会【広島市卓球協会】	他市町の施設も含め会場が確保できなかったため開催中止
⑫ 広島市小学生体育連盟卓球教室【広島市小学生体育連盟】	会場が確保できなかったため開催中止
⑬ 第20回フレンドリーカップひろしまオープンバレーボール春季大会【広島市バレーボール協会】	他市町の施設も含め会場が確保できなかったため開催中止

(2) 運動広場（屋外施設）において調整できなかった大会等

ア 調整できなかった主な大会等

運動広場において、令和5年度に調整できなかった大会等は67件であった。

区 分	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
上河内運動広場	28件	・西日本軟式野球大会広島市予選 ・広島市選手権（B・Cクラス）軟式野球大会 ・小学生春季選手権西部予選会（ソフトボール） など
沼田運動広場	23件	・広島市中学校選手権大会（サッカー） ・広島市中学校総合体育大会サッカーの部 ・広島市スポーツ少年団中学1年生夏季サッカー交歓大会 など
湯来南運動広場	9件	・オータム広島市支部予選 ・広島市スポーツ少年団少年野球親善交歓大会
湯来運動広場	5件	・広島市小学生サッカー大会 ・広島市スポーツ少年団少年野球親善交歓大会
筒瀬運動広場	2件	・広島中央ボーイズ大会

イ 調整できなかった大会等の対応状況

運動広場において調整できなかった大会等67件については、他の施設での開催や複数の会場に分散して開催されるなどしており、会場が確保できないことを理由に開催を中止されたものはなかった。

対応状況	大会等の件数
① 他の施設で大会等を開催（大会規模、大会期間等の変更なし）	11件(16.4%)
② 複数の会場に分散して開催（学校施設など小規模な施設に分散）	20件(29.9%)
③ 会場規模を縮小して開催（予定より小規模な施設で開催）	6件(9.0%)
④ 会場数を減らして開催（複数会場で開催予定の会場数の減少）	1件(1.5%)
⑤ その他（参加チームが少ないため大会中止など）	29件(43.2%)

Ⅱ 調査結果

ウ 他の施設で開催した際の場所

調整できなかった大会等のうち、他の施設等で開催した際の場所は次のとおりであり、全て広島市内で開催されている。

対応状況		大会等の件数
広島市内	公立学校施設（小学校、中学校のグラウンド）	27 件(61.4%)
	市有スポーツ施設（他の運動広場、佐伯運動公園など）	12 件(27.3%)
	県有施設（県立総合グラウンド）	4 件(9.0%)
	公園（千田公園）	1 件(2.3%)
	計	44 件(100%)

※複数の施設で会場を散し開催している大会等もあるため、その後開催された大会等の件数 38 件を超えている。

(3) 陸上競技場において調整できなかった大会等

ア 調整できなかった主な大会等

陸上競技場（広島広域公園）において、令和5年度に調整できなかった大会等は 70 件であった。

区 分	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
陸上関係	22 件	・広島地区高等学校総合体育大会 ・全日本中学校通信陸上競技 広島県大会 ・広島市陸上競技選手権大会 など
サッカー関係	9 件	・高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ・全日本女子サッカー選手権大会（決勝） ・中国少年サッカー大会 など
サンフレ関係	39 件	・Jリーグの試合 ・サンフレッチェ summer カップU-15 ・ジュニアユースセレクション など

イ 調整できなかった大会等の対応状況

陸上競技場（広島広域公園）において調整できなかった大会等 31 件（サンフレ関係を除く。）については、他の施設で開催されるなどしており、会場が確保できないことを理由に開催を中止されたものは 1 件であった。

対応状況	大会等の件数
① 他の施設で大会等を開催（大会規模、大会期間等の変更なし）	22 件(71.0%)
② 開催日数を減らして開催（予定より大会日数を減らして開催）	1 件(3.2%)
③ その他（参加チームが少ないため大会中止など）	3 件(9.7%)
④ 不明（競技団体等の確認が取れなかったもの）	4 件(12.9%)
⑤ 開催の中止（会場が確保できないことを理由に開催を中止）	1 件(3.2%)

※開催を中止した大会等は、広島市陸上競技協会主催のサタデー陸上

ウ 他の施設で開催した際の開催場所

調整できなかった大会等のうち、他の施設で開催した 22 件の実際の場所は次のとおり。

対応状況	大会等の件数
県有施設（県立総合グラウンド）	21 件(95.5%)
県外（ヨドコウ桜スタジアム【大阪府大阪市】）	1 件(4.5%)

Ⅱ 調査結果

(4) 球技場において調整できなかった大会等

ア 調整できなかった主な大会等

球技場（広島広域公園）において、令和5年度に調整できなかった大会等は100件であった。

区 分	大会等の件数	専用使用調整できなかった主な大会等
第一球技場	39 件	・広島市小学生サッカー大会 ・広島県高等学校総合体育大会（サッカー） ・日本社会人アメリカンフットボール Xリーグ戦 など
うちサンフレ関係	14 件	・Jリーグの試合関係 など
第二球技場	61 件	・中四国学生アメリカンフットボール春季交流戦 ・全日本大学アメリカンフットボール選手権 ・国体少年男女強化練習会（ホッケー） など
うちサンフレ関係	6 件	・Jリーグの試合関係 など

イ 調整できなかった大会等の対応状況

球技場（広域公園）において調整できなかった大会等100件のうちサンフレ関係を除く80件については、他の施設で開催されるなどの対応を行っており、会場が確保できないことを理由に開催を中止されたものは31件であった。

対応状況	大会等の件数
① 他の施設で大会等を開催（大会規模、大会期間等の変更なし）	19 件(23.8%)
② その他（参加チームが少ないため大会中止など）	9 件(11.2%)
③ 他の大会等を中止して開催（他の大会等で確保していた会場で開催）	8 件(10.0%)
④ 複数の会場に分散して開催（学校施設など小規模な施設に分散）	5 件(6.2%)
⑤ 開催日数を減らして開催（予定より大会日数を減らして開催）	4 件(5.0%)
⑥ 会場数を減らして開催（複数会場で開催予定の会場数の減少）	3 件(3.8%)
⑦ 不明（競技団体等の確認が取れなかったもの）	1 件(1.3%)
⑧ 開催の中止（会場が確保できないことを理由に開催を中止）	31 件(38.7%)

※開催中止の31件は全てホッケーの強化練習会の開催に係るものである。令和5年度の同強化練習会の開催実績は29件である。

ウ 他の施設で開催した際の開催場所

上記イのうち、他の施設で開催した19件の実際の場所は次のとおり。

	対応状況	大会等の件数
広島市内	市有スポーツ施設（広域公園補助競技場）	2 件(10.5%)
	県有施設（広島県総合グラウンド）	2 件(10.5%)
	他の市有施設（太田川東部浄化センターグラウンド）	1 件(5.3%)
	計	5 件(26.3%)
広島市外	福山市（ツネイシフィールド）	3 件(15.8%)
	県外	11 件(57.9%)
	計	14 件(73.7%)

※県外開催11件のうち10件はアメリカンフットボール関係（日本社会人アメリカンフットボール Xリーグ戦、全日本大学アメリカンフットボール選手権）、その他1件は全日本 U-12 選手権トーナメント決勝（サッカー）

Ⅱ 調査結果

4 競技団体へのヒアリング調査

広島市スポーツ協会に加盟している39の競技団体を対象に、競技人口・指導者の状況、練習場所・大会等の開催場所の状況、競技活動の維持・発展のための取組、事務局機能の状況などについてヒアリング調査を行った。

(1) 競技者（競技人口）について

競技人口については、39団体のうち、4団体が増加、14団体が横ばいであるが、21団体が少子化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより減少していると回答している。

また、競技によっては、小学生が競技をしていたとしても、中学生になったときに、中学校に部活が無い場合、他の競技に移ってしまうとのことである。

こうした状況を受けて、多くの団体が、競技の普及や競技人口増加のため、体験会・初心者教室（22団体）や初心者向けの大会等（13団体）の開催などに取り組んでいる。

（減少の主な理由）

- ・少子化により競技者が減少している。（剣道、ボウリング、フットベースボール、ローイング）
- ・競技人口は減少傾向にあり特に若い世代が減少している。（水泳、テニス、ソフトテニス）
- ・小学生の競技者が中学生になった際、中学校に部活動がないために、他の競技に移ってしまう。（剣道、レスリング、ラグビー、柔道、ハンドボール、バウンドテニス）
- ・昔に比べてゲームなどいろいろな遊びがありスポーツをしなくなっている。（ボウリング）
- ・少子化とコロナの影響で減少している。（ラグビー）
- ・コロナの影響により試合・大会等ができずに、競技者が減少した（バドミントン）
- ・コロナをきっかけに高齢者が競技を辞めてしまった。（弓道、ミニテニス、インディアカ）
- ・競技者の高齢化が進み、高齢者が辞めてしまう一方で若い人が競技をしない。（卓球、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ダンススポーツ）
- ・教員の働き方改革により、部活動の活動が制限されるなどし、部員が減っている。（ソフトテニス、体操、バドミントン）
- ・大学のサークルや高校の部活動が減っている。（ラグビー、セーリング、アーチェリー）
- ・民間の競技施設の閉鎖により、競技人口が減少している。（弓道、スケート）

（増加の主な理由）

- ・オリンピックの影響により、小中高生を中心に競技人口は増えている。（バスケットボール）
- ・小学生以下の人数が増えている。幼児期から体の使い方を学ばせたいと体操をさせる保護者が多い。（体操）
- ・スポーツ少年団を発足させたことが大きい。（ホッケー）
- ・コロナをきっかけに、屋外は安全ということから、屋外競技であるゴルフを始める若い人や女性が増えてきている。（ゴルフ）

(2) 指導者について

指導者については、10団体が「足りている・不足していない」、12団体が「不足している」との回答であった。（他の団体は、把握していない又は充足・不足についての意見等無し。）指導者の高齢化が進んでいる団体も多く、新しい指導者の確保のため、指導者養成の講習会（14団体）や資格取得に係る費用等の支援（2団体）を行っている団体もある。

競技によっては、指導者資格を取得するために東京など県外での講習会を受講する必要があるなど、大きな負担となっている状況も見られる。（レスリング、体操、ローイング、セーリング、ウェイトリフティング、なぎなた、太極拳、ミニテニス、インディアカ）

また、指導者だけでなく、大会等を開催する際に多くの人員（審判・スタッフ）が必要になるが、その人員確保に苦慮しているとの意見もあった。

Ⅱ 調査結果

(3) 競技場所について

競技の練習等については、各区スポーツセンター（23 団体）や小中学校の体育館・グラウンド（15 団体）を活用している団体が多く、大会等の開催については、各区スポーツセンター（28 団体）が多く使われている。

競技場所は、5 団体が「足りている・不足していない」、10 団体が「練習場所が不足している」、13 団体が「大会等の開催場所が不足している」との回答であった。また、6 団体（レスリング、ハンドボール、体操、空手、バウンドテニス、ユニカール）が「競技用具が不足している」と回答している。

大会等については、年間で専用使用調整を行っているが、「申請しても取れないため元々の申請数を減らしている」、「場所が確保できないため大会の計画ができない」、「スポーツセンターの予約は取れているが希望する曜日（日曜日）が取れない」などの意見もあった。（剣道、バスケットボール、卓球、バウンドテニス）

水泳については、「年間を通じて使用できる公認の長水路（50m）プールがないため、年間の大会スケジュールが夏に集中し、毎週のように大会を開催せざるを得なくなり、選手のパフォーマンス等にも影響が出ている。水泳競技の普及び競技力向上のためには、年間を通して使用できる公認の長水路プールが必要」との意見が出ている。

ソフトテニスについては、「国民スポーツ大会を開催するためには同一種類のコートが 20 面必要となるが、政令指定都市の中で開催できないのは広島市のみ」とのこと。

スケートについては、「通年のスケートリンクが無いため、岡山県（倉敷市）のスケートリンクで練習したり、兵庫県や福岡県等で開催される練習会に参加することもある」とのこと。

アイスホッケーについては、「岡山県（倉敷市）で練習する際、利用しやすい時間帯は地元のチーム等が優先されるため、広島チームは夜中の 0 時～2 時に練習（練習後に保護者等が送迎で広島まで車で戻っている。）している状況」とのこと。

柔道については、「県立総合体育館の武道場も使うことはあるが、他の競技での利用が多く入っているため、会場を取ることが難しい。練習場所についてはある程度確保できているが、大会や合同の練習会となると施設は不足している。理想は畳が 4 面常設されている武道館があること。中四国地方でも広島県だけ武道館が無い」とのこと。

(4) 競技団体の運営等について

競技団体の運営について、賃貸により事務所を設けている団体もあるが（9 団体）、資金不足のため役員の自宅等を事務所としている団体がほとんど（30 団体）である。

また、事務員を雇用して常駐している団体もあるが（3 団体）、役員数名が非常勤により無報酬（ボランティア）で事務を行っている団体がほとんどである。

団体の活動財源は、会員の登録料・会費（35 団体）、大会・講習会等の参加費（19 団体）、広島市スポーツ協会等の助成金（22 団体）、企業等協賛金（2 団体）となっている。

競技活動等の広報については、多くの団体がホームページ（24 団体）や SNS（Facebook（2 団体）、インスタグラム（2 団体）、X（1 団体））を活用しているが、ホームページ等を使っていない団体も少なくない（15 団体）。ホームページ等を使わない理由としては、資金不足（2 団体）や人手不足（4 団体）、必要性が無い（2 団体）などとなっている。

Ⅱ 調査結果

＜ヒアリング調査による各競技団体の状況＞

競技団体名		競技人口	指導者	競技場所		事務局体制		HP等の活用
				練習	大会	事務所	人員	
1	陸上競技協会	横ばい	—	—	不足	—	ボランティア	HP
2	水泳連盟	減少	不足	不足	不足	あり	ボランティア	HP
3	剣道連盟	減少	—	—	不足	あり	雇用	HP
4	弓道連盟	減少	—	不足	不足	—	ボランティア	HP
5	レスリング協会	横ばい	不足	不足	—	—	ボランティア	HP
6	ラグビーフットボール協会	減少	—	—	—	—	ボランティア	HP
7	サッカー協会	横ばい	—	—	不足	—	ボランティア	更新せず
8	ホッケー協会	増加	不足	—	—	あり	ボランティア	HP 等
9	軟式野球連盟	減少	—	—	不足	あり	ボランティア	なし
10	ソフトボール協会	横ばい	—	—	—	—	ボランティア	HP
11	バレーボール協会	横ばい	不足	—	—	—	ボランティア	HP
12	ハンドボール協会	横ばい	—	不足	—	—	ボランティア	HP
13	バスケットボール協会	増加	—	不足	不足	—	ボランティア	なし
14	テニス協会	減少	—	—	不足	あり	雇用	HP
15	ソフトテニス連盟	減少	不足	—	不足	—	ボランティア	HP
16	卓球協会	減少	—	不足	不足	あり	手当あり	HP
17	体操協会	増加	不足	用具が不足		—	ボランティア	HP
18	ローイング協会	減少	不足	—	—	—	ボランティア	なし
19	セーリング連盟	減少	不足	—	—	あり	雇用	HP
20	スケート協会	減少	不足	不足	—	—	ボランティア	HP
21	アイスホッケー協会	横ばい	—	不足	—	—	ボランティア	なし
22	バドミントン協会	横ばい	—	不足	不足	—	ボランティア	HP
23	ウエイトリフティング協会	横ばい	—	—	—	—	ボランティア	なし
24	ボウリング協会	減少	—	—	—	—	ボランティア	HP
25	柔道連盟	減少	—	—	不足	あり	ボランティア	HP
26	アーチェリー協会	減少	—	—	—	—	ボランティア	なし
27	ゲートボール連合	減少	—	—	—	—	ボランティア	なし
28	なぎなた連盟	横ばい	—	—	—	—	—	なし
29	空手道連盟	減少	不足	用具が不足		—	—	なし
30	太極拳協会	横ばい	—	—	—	—	ボランティア	なし
31	ハング・パラグライディング連盟	横ばい	不足	—	—	—	ボランティア	HP 等
32	ゴルフ協会	増加	—	—	—	—	ボランティア	なし
33	グラウンド・ゴルフ協会	減少	—	—	—	あり	ボランティア	なし
34	フットベースボール協会	減少	—	—	—	—	ボランティア	HP
35	ミニテニス協会	減少	—	—	—	—	手当あり	HP
36	インディアカ協会	減少	—	—	—	—	ボランティア	インスタ
37	バウンドテニス協会	横ばい	不足	不足	—	—	ボランティア	HP
38	ダンススポーツ連盟	減少	—	—	不足	—	ボランティア	HP 等
39	ユニカール協会	横ばい	—	用具が不足		—	ボランティア	なし

Ⅱ 調査結果

<各競技団体のヒアリング調査個別票>

団体名	① 広島市陸上競技協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：約 1,190 名（中・高・大学生除く） 登録団体数：47 団体（中体連・高体連の指導者数を含む） - 令和 6 年度の登録者数は、社会人が 657 名、小学生は 531 名。中・高・大学生の人数は中体連等各団体で把握しているが、競技会を開催すると、中学生は 600 名～700 名前後、高校生は 100 名～200 名、大学生は 100 名～170 名前後の参加がある。 - 競技人口としては、目に見えて減少しているというわけではないが、参加者数においては、危機感を持っている。そのため、地域やクラブをまたいでの参加を認めるなど、柔軟に対応している。 - 競技の普及のため、年に 1 回広報紙を発行しており、4 年前にはホームページを立ち上げて、競技会、練習会の紹介等を行っている。 20 年以上前から「サタデー陸上」（年 8～10 回開催）という、小学生以上であれば誰でも参加できる練習会を継続して開催しており、毎回 200 名程度が参加してくれている。児童・生徒への指導だけでなく、指導者の力も育成する機会としている。
指導者 について	【基本情報】小・中・高体連の登録者数からみると、合わせて 100 人前後である。 - 指導者（審判従事者も含める）は、陸上の大会を開催する場合、1 大会で 80 人～100 人超の人数を必要としている。競技会では、指導者（審判員）に、長時間の審判従事を強いるため、最近では学生審判員として高校生・大学生にも審判を委託し、お願いしている。なお、指導者（審判員）に対しては食事（弁当）と旅費を支給している。 - 審判資格を取るためには、講習会を受講する必要がある。講習会は年に 5 回程度広島県内で開催される。 - 陸上競技に関する指導者の講習会も、2 年に 1 回の開催を目標として計画している。なお、広島市中体連は、サタデー陸上の中で、毎年、指導者講習会を行っている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：中・高・大学のグラウンド（学生） 大芝水門を含む川土手の周回コース（長距離練習） 広島広域公園補助競技場・広島県総合グラウンド競技場 主な大会会場：広島広域公園陸上競技場・広島県総合グラウンド競技場 - 大会の会場として使用する広島広域公園競技場や広島県総合グラウンド競技場は、日本陸連や県陸協の大会をはじめとして、周辺市町の競技団体が主催する大会でも多くの使用希望があり、市陸協が主催する全ての大会が希望通りの日程で開催できるわけではないが、規模の大きい大会や全国につながる予選会の位置付けにある競技会等が優先されるのは当然の事と考える。 - 市内に陸上競技場が 2 施設もあるのは、恵まれた環境にあると考えるが、より有効に使える手立てを考えていかなければならないと思っている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐南区上安（役員の自宅） 事務局員数：常駐 1 名（理事長が事務を担っている。） 活動資金源：協会への登録料、大会参加費、企業からの協賛金 活用している SNS：ホームページ - 総会を年 2 回、常務理事会を年 10 回程度開催し、事業の運営に当たっている。 - 役員の改選は、2 年に一度行われる。 - 協会の規程で理事長宅を事務局とすることが定められている。 - 事務局の仕事は、理事長が担っており、事務局に対する手当て等の支給は無いが、外に出る用務の場合は、事務局含め全ての役員に旅費が支給される。 - 主な収入源としては登録料（大人 1 名 1,500 円）や大会参加費がある。 - 企業からの協賛を受けることもあり、協賛を受けた場合は、大会プログラムなどに企業名等を掲載させて載っている。 - 広報手段としては、ホームページや広報紙を活用している。
その他	近年、大会の開催計画が、他の大会と重なる状況も多々あり、日程をずらした結果、他の競技会と近い日程で大会を組む事もあり、その事が、指導者や選手の負担となるため、選手が求める時期や期間で会場を確保できることが理想である。

Ⅱ 調査結果

団体名	② 広島市水泳連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：1,866 名（県） 登録団体数：27 団体（市） ・広島県における登録者数は 1,866 名（広島市は不明）で、団体数は広島市に 27 チームある。 ・競技人口は減少傾向にあり。特に若い世代が減少している。中学生の大会でも、1～2 名しか出場しない種目もある。
指導者 について	【基本情報】資格を持つ指導者数：約 350 名（県） ・広島県に登録されている資格を持つ指導者は約 350 名であるが、指導者の数は不足している状況にある。 ・大会だけではなく、練習での指導をする場合においても指導者資格は必要としている。 ・指導者への支援として、指導者講習会を開催している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：各スイミングスクール、各スポーツセンターのプール 主な大会会場：総合屋内プール、高校のプール（高校生の試合の一部のみ） ・練習場所としては、スイミングスクール（約 30 か所）のプールや、各スポーツセンターのプールがある。 ・大会は主に総合屋内プールで開催している。また、高校生の大会であれば、高校のプールを使用することもある。 ・競技場所は、広島市内・県内・周辺市町を見ても不足している。年間を通じて使用できる公認の長水路プールがない。その結果、年間の大会スケジュールが夏に集中するため、毎週のように大会を開催せざるを得なくなり、選手のパフォーマンス等にも影響が出ている。 ・水泳競技の普及及び競技力向上のためには、年間を通じて使用できる公認の長水路プールが必要である。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市西区三篠町（連盟専用の事務局） 事務局員数：非常駐 2 名（ボランティア） 活動資金源：連盟登録料 活用している SNS：ホームページ ・連盟専用の事務局を構えている。 ・連盟の事務は 2 名で行っているが、事務局に常駐しているわけではない。また、手当て等はなく、全てボランティアでやっている。 ・主な収入としては連盟への登録料（個人：3,000 円、団体：5,000 円）がある。 ・広報は連盟のホームページで行っている。そのほかの SNS などは活用していない。

Ⅱ 調査結果

団体名	③ 広島市剣道連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】連盟登録者数：1,364 名 連盟登録団体数：88 団体 - 大人の競技者はそんなに減っていないように感じる。こどもの時に剣道をやっていた人が、社会人になってまた始めるケースが多々ある。自分のこどもが剣道を始めて、保護者が一緒になって剣道を始めることもある。こどもと競い合って、40～50代で4～5段の段位を目指す保護者もいる。 - こどもの競技者は減っている。特に中学校に剣道の指導者がいなかったり、部活がなかったりすると、他の競技に移ってしまう場合が多い。 - 競技人口を増やすため、市と一緒に初心者向けの体験教室を開催しているが、それ以外にはやっていない。各道場が個別に体験会・見学会を実施している。
指導者 について	【基本情報】連盟が指導者としての能力があるとする4段以上の段位取得者：462名 - 剣道に関しては指導者資格というものはない。全日本剣道連盟が定める段位で、おおよそ4段もしくは5段を取った者は指導ができるものという扱いにしている。広島市の場合は、高齢・ベテランの指導者はいるが、こども達は年齢の近い人に教えてもらいたいと思っているため、若手・特に女性に4段もしくは5段の段位を取るよう勧め、指導者を増やしたいと思っている。 - 段位の審査に合格できるよう、講習会を開くなどして支援をしている。 - 剣道を学ぶためには道場に入る・行くことがベターであり、市内には100近くの道場があると把握している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の武道場、スポーツセンターの剣道場など 主な大会会場：広島県立総合体育館武道場 駐車場の広いスポーツセンター - 剣道をやる場としては、主に小学校や中学校の武道場を使用することが多い。安佐南区スポーツセンターの柔剣道場や南区スポーツセンターの剣道場も利用することもある。 - 連盟が主催する練習会では、湯来体育館の剣道場を使うことが多い。 - 大会を開催する場合は、主に広島県立総合体育館の武道場や、駐車場の広いスポーツセンターを使っている。剣道の場合は、防具を持っていかなければならず、公共交通機関での移動が難しいため、駐車場の広い施設でないと大会開催が難しい。 - 体育館でも大会は開催しているが、体育館は床が固く、本音を言えば床の柔らかい剣道場で実施したい。県立総合体育館のように、床が柔らかい武道場があり、大きい駐車場があり、アクセスも良い施設が他にもあると良い。県立総合体育館だけでは足りていない。 - 大会や講習会をするため、市の施設の専用使用調整にエントリーしているが、希望する全ての会場は取れないため、大会の開催を優先し、講習会の開催はあきらめることもある。施設が取れないと分かっているため、初めから講習会等の計画も少なめにしている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市中区千田町（会長経営店舗2階）月6万円の賃料支払 事務局員数：常駐1名（連盟が雇用している。） 活動資金源：連盟への登録料、講習会の受講料、市スポーツ協会助成金 活用しているSNS：ホームページ - 剣道連盟専用の事務局を構えており、スタッフ1名が常駐するようにしている。 - これまでは広島県剣道連盟のホームページで広報等を行っていたが、連盟内で市のホームページも立ち上げるよう声があり、今年度途中から新たにホームページを作成した。しかし、事務局スタッフがホームページの操作に不安があるため、今後の活用には課題がある。そのほかのSNSは活用していない。
その他	- 剣道は、試合に勝つ・相手を打つというだけではなく、礼儀や苦しさがあるのも魅力だと感じている。そのため、ただ単に剣道が面白いというのを伝えるだけではなく、継続してもらうには礼儀・苦しさの面もバランス良く修得できるような取組が必要だと思っている。 - また、指導者の育成に関しても、これまでは経験者を対象とした実技の講習などを行っているが、こどもに対して剣道を教えるときは、技だけではなく、礼についてもきちんと教えていかないといけないと感じており、今後は座学も交えて、指導を行うための基礎を学べるようなことも考えていかないといけないと思っている。

Ⅱ 調査結果

団体名	④ 広島市弓道連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】会員数：170 名 - 平成 28 年(2016 年)には 230 名の会員がいたが、コロナによって令和 4 年(2022 年)には 154 名まで減少し、現在は 170 名まで回復した。 - 会員が減少した要因としては、高齢の競技者がコロナをきっかけに辞めてしまったことと、練習拠点であった民間の弓道場が閉鎖となったことがある。 - 競技の普及に向けて、毎年弓道教室を実施している。初心者コース・経験者コースそれぞれを実施しており、連盟のホームページのみで募集をしているが、初心者コースでは定員 30 名に対して 80 名以上の応募があった。しかし、応募者全員を受け入れることのできる施設が無いことから、定員以上は断らざるを得なかった。 - 弓道をやりたい・続けたいという人がいても、練習場所が無いために、弓道の競技人口は増えていないという現状がある。
指導者 について	【基本情報】日本スポーツ協会の公認指導者資格有資格者：60 名 弓道称号者：43 名 - 弓道には級位・段位・称号があり、称号を取れば指導者という扱いになる。称号者となるためには、中国地方で年 2 回開催される中央審査会に合格する必要がある。 - 指導者は数としては十分にいるものの、高齢化が進んでいるため、若手の育成が必要。 - 指導者資格を取るための費用は全て自己負担であるが、合同練習会を毎週開催して技術を磨いたり、年に 1 回指導者講習会(2 日間)を開催するなどしてサポートをしている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：県立総合体育館弓道場 主な大会会場：県立総合体育館弓道場(近的) 千代田運動公園弓道場(遠的) - 県立総合体育館の弓道場を主な練習会場としている。安佐南区スポーツセンターの弓道場も使うことはあるが、狭いため、あまり練習環境としては良くない。 - 大会については、近的の場合は県立総合体育館の弓道場、遠的の場合は千代田運動公園(北広島町)の弓道場を使用しているが、大学生の大会や中国大会など、規模の大きい大会は当該施設では対応できないため、体育館等に仮設の弓道場を設置して開催することがある。 - ミニ国体という大会を中国地方で開催しているが、広島県だけは当該大会を開催することができない。県立総合体育館の弓道場は近的しかできず、呉にも遠的ができる施設があるが、アクセスが非常に悪く、大きい大会を開催できない。 - 弓道の段級審査を行うための中央審査会も、規定の間隔が取れないことから、県立総合体育館で実施する場合には 5 人立を 4 人立に変更して行っている。 - 広島市は政令指定都市であるにも関わらず、きちんとした弓道場が無いというのは非常に恥ずかしい。理想は鳥取県立武道館のような施設である。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐北区亀山(役員自宅) 事務局員数：常駐 0 名(役員 5 名がボランティアで担っている。) 活動資金源：会費や合同練習会の参加費 活用している SNS：ホームページ - 主な収入源としては、会員からの会費(1 名当たり年間 3,000 円)や合同練習会の参加費がある。 - 広報にはホームページを活用している。また、大会や行事については、プレスリリースを行い、テレビや新聞で取り上げてもらえるようにしている。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑤ 広島市レスリング協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：20 名程度（小・中学生 15～16 名、高校生 1 名、大人若干名） ・コロナ禍には登録者数が減少したが、現在は 20 名程度で横ばいである（コロナ前は小・中学生だけで 20～30 名いた。） ・登録者数減少の要因としては、運動をすることも自体が少なくなっていることと、レスリングは肌が直接触れる競技であるため、避ける人が多くなっていると思われる。 ・小学生でレスリングをやっている子でも、中学に進学するとレスリング部が無いことから、他の競技を始め、レスリングを辞めてしまう子が多い。 ・普及のために、スポーツの日にレスリングの体験イベントを実施したり、広島市が作成する体験教室をまとめたチラシの配布時期に合わせて体験教室を企画したりしている。特に市が全市立小学生に配布するチラシは効果が高く、多くの子が参加してくれるものの、体験会やその後の見学には来て興味を持ってくれても、練習環境が市内に 1 か所しかないことから、遠方のこどもは保護者による送迎が難しく、レスリングをやりたいくてもできないという子もいるのが現状。
指導者 について	【基本情報】レスリングの指導ができる指導者：3 名 ・レスリングの指導ができるのは広島市では 3 名しかいない。 ・指導者資格については、小・中学生の試合に関しては全国少年少女レスリング連盟へ登録することが必要。高校生以上になると、日本スポーツ協会の公認指導者資格や、日本レスリング協会の指導者資格が必要となるが、当該資格を取るには東京まで行って、3 日間の講習会を 2 回受講しなければならないため、ハードルが高い。 ・資格取得のための支援としては、県レスリング協会からの補助金を活用したり、市スポーツ協会の補助事業を活用した指導者養成講習会の開催などを行っている。 ・また、資格を取ったとしても、実際にレスリングの指導を行うには素人からだと相当な時間を要する。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：広島県スポーツ会館多目的室 主な大会会場：広島県スポーツ会館体育室 ・練習は広島県スポーツ会館の多目的室で週に 3 日行っている。以前は、県立総合体育館の武道場にもマットがあるため、同武道場を使用していたが、予約が取れないことに加え、駐車場が有料であることから、県スポーツ会館を練習拠点とした。指導者・保護者のために、駐車場を無料で使えるようにして欲しい。また、区のスポーツセンターにはレスリングマットが備わっていないため使っていない。 ・市内に 2～3 か所レスリングマットが置いてある施設があれば、遠方のため保護者の送迎が難しく、レスリングを始めることを断念したという子も、レスリングを始めることができると思う。 ・大会については、こども向けの大会を年に 1 回広島県スポーツ会館の体育室で開催している。大人の大会は参加者数が集まらないため実施していない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市佐伯区五日市（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで行っている。） 活動資金源：県レスリング協会からの補助金、役員等有志の寄附金 活用している SNS：市スポーツ協会 HP を活用 ・協会の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録しており、事務は事務局長 1 名のみが担っている。 ・主な収入源は県レスリング協会からの補助金であるが、足りない場合が多いため、その際は役員等有志からの寄附で何とか賄っている。 ・ホームページについては事務局が交代してからは更新できておらず、活動内容は市スポーツ協会のホームページ内にある加盟団体の紹介ページで取り上げてもらっている。
その他	・市スポーツ協会が行っている助成制度について、助成対象や助成率を緩和してほしい。 ・市スポーツ協会などが行っているスポーツに関する助成制度等について、そもそもどのようなものがあるか分からないため、活用しやすいように紹介等を行ってほしい。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑥ 広島市ラグビーフットボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：465 名 - 現在の登録者数は 465 名（小学生 110 名、中学生 90 名、高校生 77 名、大学生 36 名、一般 152 名）である。 - コロナと少子化の影響で登録者数は減少している。 - 大学生の数が少なくなってきており、以前は 4 つの大学（広島工業大学、広島修道大学・広島市立大学・広島大学（医学部））にラグビー部があったが、市立大学のラグビー部がなくなり、ラグビー部がある大学についても、部員数は少なくなっている。 - 競技の普及に向けては、小・中学生を対象としたラグビースクール（市内に 8 スクールに力を入れているが、高校になると 4 つの高校にしかラグビー部が無いいため、ラグビーを辞めたり、県外の高校へ行ってしまふことがある。 - 対策として、広島県ラグビーフットボール協会直属の高校生チームを組織し、中学卒業後もラグビーを続けられる環境づくりを行っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：36 名 - 指導者数は 36 名であり、指導者の質のことを考えなければ、ラグビー人口に対する数としては十分である。 - 各チームの指導者に対しては、指導者資格を取ることを義務付けている。 - 指導者資格を取りたいという者がいれば、実際にラグビーを指導している現場・チームを紹介することはあるが、資格取得のための金銭的な援助は行っていない。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：広島県総合グランド（ラグビー場・補助競技場） 主な大会会場：広島県総合グランド（ラグビー場） - 主な練習場所としては、広島県総合グランドのラグビー場や補助競技場を使っている。同グランドの予約は広島県ラグビーフットボール協会が年間ですべて抑えており、それを各チームに割り振っている。ラグビー場はラグビーでの利用しかないので、予約はほとんど取れるものの、芝を守るために 1 日の使用時間が制限されており、補助競技場を使用することが多い。 - 大会や試合も広島県総合グランドを使用している。広島広域公園も使用できなくはないが、準備に時間がかかることに加え、アクセスが悪いことから、使い勝手としては良くない。 - 特に競技施設が不足しているという状況にはない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市中区大手町（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（理事長以下数名がボランティアで行っている。） 活動資金源：登録料。市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：県協会の HP を活用 - 主な収入としては、協会への登録料収入（1 チーム当たり 3,000 円）と市スポーツ協会の助成金がある。協会の活動を行う上では、そこまで費用はかからない。 - 本協会のホームページは無いが、本協会と広島県ラグビーフットボール協会は一緒に活動しており、広島県ラグビーフットボール協会の HP はある。
その他	- 高校にラグビーの受け皿となる部活が無いことが問題。理想は各高校にラグビー部があることで、部活さえあれば、教員がラグビーを教えられなくても、ラグビーの指導者を派遣して教えることができる。しかし、ラグビーはけがが多いスポーツであるため、学校側がラグビー部を作ることを嫌う傾向にある。 - ラグビーは 15 人制と 7 人制があり、15 人制となるとサポートする人を含め 30 名は必要で、中々チームができにくいいため、7 人制ラグビーを普及させるのも手だと思っている。しかし、15 人制とは競技の面白さが異なるため、悩んでいる。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑦ 広島市サッカー協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録チーム数：70 チーム（小学生以下のみ） - 登録チーム数でいえば、ユース（小学生以下）のチームが70 チームで、他は広島県サッカー協会や中体連等で把握しているため不明。 - 女子に関しては、中学・高校・社会人でそれぞれ10 チーム程度があると思う。 - 社会人やシニアについては、30～70 代でそれぞれ10 チームずつある。シニアについては健康のためにサッカーをやっている人が多い。 - 競技人口としてはそんなに変わっていない。
指導者 について	【基本情報】指導者数：140 名（各チームにつき2 名） - 日本サッカー協会のライセンスを持つ指導者は最低でも140 名はいる。特に指導者が不足しているという状況にはない。 2023 年頃から、各チームに2 名はライセンスを持つ指導者がいないと公式戦に出場できないこととなった。そのため、昨年では100 名が資格を取るための講習会を受けた。 - 資格を取るための講習会については、広島県サッカー協会が日本サッカー協会からの委託を受けて、年に1 回2 日間の講習会を行っている。 - チームの指導者にはボランティアでやっている指導者もあり、ライセンスに係る費用をチームが出しているところもある。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小学校のグラウンド、公園、西区スポーツセンター運動広場 主な大会会場：広島広域公園 - 練習場所としては、小学校のグラウンド、公園、社会人でいえば西区スポーツセンターのグラウンドを使用することが多い。 - 小学校のグラウンドについては、学校や校長先生によっては対外試合をしてはいけないという制限があったり、土日には学校行事などがあつたりすることから、使えない・使えなくなることも多い。 - 大会については、広島広域公園でやっているが、市外（福山市・呉市・安芸郡熊野町）や県外（山口県・岡山県）に試合をしに行くことも多い。 - 県外に行くのは、広島では中々人工芝や天然芝でサッカーができる環境が無いため、良い環境でサッカーをするために行っている。今年の3 月には人工芝の観音新町運動広場がオープンするため、少しは状況が変わるかもしれない。 - サッカーグラウンドをもう少し増やしてほしい。今は人工芝のサッカー場が一般的であるため、できれば人工芝のグラウンドを整備して欲しい。 - 市スポーツ施設の専用使用調整で、大会の開催場所を確保するため、数十日程で希望を出しているが、半分程度しか取れていない。会場が確保できなかった場合は、小学校や佐伯運動公園（廿日市市）、東部浄化センター（広島市南区）、千田公園（広島市中区）などを会場として開催している。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区牛田旭（役員の自宅） 事務局員数：常駐0 名（役員がボランティアで行っている。） 活動資金源：登録料、大会参加費、広島県サッカー協会の補助 活用しているSNS：ホームページあり（更新していない） - 専用の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録している。本当は事務所を設けたいと思っているが、資金不足であるため、設けられない。 - 広島県サッカー協会は、公益財団法人であるため、資金を集めやすく、何名か雇用もしている。 - 事務局の仕事は6～7 名の役員で担っており、全てボランティアである。 - 主な収入としては、登録料（1 チーム当たり10,000 円）や大会参加費などがある。 - ホームページは更新していない。大会の詳しい情報はフレンドリースポーツというサイトに載っている。大会の案内などは各チームにLINE で送っている。
その他	本協会は、令和7 年度から法人化し、一般社団法人となるため、これまでできなかったイベントや大会の開催などに力を入れていきたいと考えている。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑧ 一般社団法人広島市ホッケー協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：172名 登録団体数：7団体 - ホッケーの競技人口は、幼児から大人・実業団選手まで含めると200名弱はおり、競技人口としては増えてきている。 - 競技人口増加の要因としては、2005年にスポーツ少年団を発足させたことが大きい(現在は86名が入会)。また、以前は小学生をターゲットに普及活動を行っていたが、小学生はすでに何かしらの競技を始めている子が多く、人口拡大につながらなかったが、ターゲットを小学生以下にし、児童館・公民館・幼稚園向けにホームページで出張体験会を呼びかけたところ、やってほしいという要望が多く、競技人口の増加に結びついている。
指導者 について	【基本情報】公認指導者資格を有する指導者：11名 - 市で日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格を有する指導者は11名いるが、全員が仕事をしており、実際は5名程度しか活動できておらず、十分な活動を行うためには数が足りない。 - ホッケーの指導者に対する報酬等は支払っていない。本当は交通費程度は払いたいと思っているが、資金不足のため払えていない。 - 協会としては指導者向けの講習会などは開いていないが、ホッケーの指導者は自主的にスキルアップを図り、新しい知識の修得や制度変更の情報をキャッチしている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：広島広域公園第二球技場 コカ・コーラレッドスパークス ホッケースタジアム 主な大会会場：実施していない - ホッケーをする場合の主な活動場所としては、広島広域公園の第二球技場やコカ・コーラレッドスパークスのホッケースタジアムが多い。レッドスパークスのホッケースタジアムは、コカ・コーラ社の意向により無料で使用することができる。広島広域公園は良い施設ではあるが、施設使用料が高い点と、こどもだけで会場に行くのが難しいため、保護者の送迎が必須である点が難点。 - 広島で大きい大会をやるとホッケーをしているこども達にとっても良いとは思っているが、資金面の関係で開催できていない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市南区宇品西（民間会社から有料で借りている。） 事務局員数：常駐0名（副会長が事務局事務を担っている。） 活動資金源：日本ホッケー協会からの負担金、県・市スポーツ協会の助成金 賛助会員からの会費収入など 活用しているSNS：HP、Facebook、Instagram、LINE - ホッケー協会の事務局は宇品に構えており、民間会社から区画を借りているため、月に1万円程度の使用料を支払っている。 - 事務局には常駐のスタッフはおらず、固定電話も備えていない。副会長が事務局を担っているという状況。事務局は協会の荷物の保管や郵便物が届く程度の役割しかないが、協会内では事務局が必要との声があるため存続させているが、事務局の賃料が協会の資金不足の要因の一つでもある。 - 協会の活動資金源としては、日本ホッケー協会からの負担金や県及び市スポーツ協会の補助金、賛助会員からの会費収入などがあるが、資金面では苦しい状況にある。
その他	- 令和8年には広島県で初めてホッケーの中学生の中国大会が開催されるが、広島にはホッケー部がなく、中体連にもホッケーの競技部がないため、中体連のように学校や教育委員会からの金銭的補助がないため、どのように運営すればいいか悩んでいる。 - ホッケー協会が競技普及のターゲットとしている小学生以下のこどもの場合、小さいきょうだいがいると、保護者が面倒を見なければならず、練習などにこどもを連れてこれないため、少しの間でもこどもを預けることのできる託児所を整備してほしい。 - ホッケーをやっているこども達に、他の競技も体験してほしいと思っているが、他の競技団体とのつながりががないため難しい。また、他の競技団体がどのような活動をしているのか話を聞いてみたい。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑨ 広島市軟式野球連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：1,412 名 (一般の部：998 名 少年の部：65 名 学童の部：349 名) 登録チーム数：80 チーム (一般の部：49 チーム 少年の部 3 チーム 学童の部：18 チーム) - 近年、少子高齢化社会が到来していることに加え、スポーツ競技の多種多様化により、野球チームの減少及び野球人口の減少が急速に進んでいる。 - 競技の普及に当たって、将来を担うジュニア層（女子も含む）への野球競技の普及及び拡大に取り組んでいる。
指導者 について	【基本情報】－ - 審判員の高齢化が問題となっており、若い審判員の確保・養成を図ることが喫緊の課題となっており、連盟としてその課題に取り組んでいます。 - 審判員については、強化・育成のために次の 4 段階の資格が設定されている。 3 級審判員：各都道府県の初級講習会を受講し、BFJ（一般財団法人全日本野球協会）に登録をした者 2 級審判員：3 級審判員の登録から 2 年が経過し、BFJ が実施する認定試験を受講し、所定の成績を収めた者 1 級審判員：2 級審判員の取得から 2 年が経過し、BFJ が実施する認定試験を受講し、所定の成績を収めた者 国際審判員：1 級審判員有資格者で、BFJ が実施する国際審判員試験に合格した者
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：把握していない 主な大会会場：上河内運動広場、寺迫運動公園、可部運動公園ほか - 当連盟が主催する大会に関しては、一般の大会は年間 14 大会（広島市選手権軟式野球大会ほか）、少年及び学童の大会は年間 11 大会（広島県少年野球「学童」選手権大会ほか）を開催しているが、各大会を実施するに当たっての会場確保に苦慮している。 - 野球競技ができる会場（球場）は多数存在しているが、他団体の利用も含め土日祝日に利用が集中することから、結果として競技場所の不足に繋がっている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市中区西十日市 事務局員数：常駐 0 名（水・土曜日の 10 時～17 時のみ） 活動資金源：連盟加盟金、大会参加料、助成金 活用している SNS：なし - 事務局は広島県軟式野球連盟と共同で構成しており、それに係る賃借料は折半している。ただし、人が常駐はしておらず、水曜日と土曜日の 10 時から 17 時のみ事務局員（役員）がいるようにしている。 - 当連盟の収入源としては、連盟への加盟金や大会参加料、市スポーツ協会からの助成金等がある。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑩ 広島市ソフトボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：約 2,200 名 登録チーム数：約 110 チーム ※いずれも中・高校生は除く - 協会には、大人は約 50 チーム、小学生は約 60 チームが登録しており、1 チームあたりの人数は約 20 名。大人でも体協等で活動しているチームや、中・高校生の数については把握していない。登録者数自体はずっと横ばいである。 - 広島市にはかなりのチームがあり、大会の世話をを行うので手一杯であるため、競技の普及や競技者を増やすための取組は行っていない。
指導者 について	【基本情報】指導者数：市では把握していない - 指導者資格を持っている人数については県への登録となっているため、数は把握していないが、全国大会に出るためには、日本ソフトボール協会の定める指導員資格が必要となるため、試合に出るソフトボールチームの監督・指導者は少なくとも資格を持っている。 - 指導員資格を取るためには、県が年に 1 回行う養成講習会を受ける必要がある。 - 資格を取るための支援等は特に行っておらず、資格取得に係る費用は全て自費となる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校生のグラウンド、民間のグラウンド など 主な大会会場：沼田運動広場 - 練習は各チームが独自に行っているため正確には把握していないが、小・中学生のグラウンドや、民間のグラウンドなどで練習しているチームが多いと思う。 - 大会については、広さが必要となるため、沼田運動広場をメインの会場として使用している。令和 7 年度からは新しくできた観音新町運動広場をメイン会場として使用していきたいと考えている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市内 事務局員数：常駐 0 名（約 20 名の役員全員で事務を担っている。） 活動資金源：協会への登録料、大会参加費 活用している SNS：ホームページ - 事務局としての仕事は約 20 名の役員全員で行っている。報酬ではなく、消耗品費などがわずかに出る程度。 - 協会のホームページはあるが、大会の案内などは登録チームに郵送またはメールで送っている。そのほかの SNS などは人手がなく活用していない。
その他	中体連や高体連のソフトボール部への加入部員数が減少しているため、部員数を増やしていくことが必要。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑪ 広島市バレーボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：1,350 名 登録団体数：90 団体（いずれも大学生以上） - 登録チームは約 90 で、1 チームあたり平均 15 名が所属している。ソフトバレーボールや大学生以下のチームは把握していない。 - 競技人口については、最近横ばいだが、20～30 年前と比べると半減している。 - クラブチーム及び企業のチームが特に減っており、企業が撤退したり、社会人は転勤があるため、人数が少なくなるとチームが組めなくなるということがある。 - 競技の普及のため、令和 5 年度から中体連とタイアップして、中学生の大会を協会で開催するようにした。社会人になってからバレーボールを始める人はいないため、こどものときからバレーボールを始めてもらうことが必要。
指導者 について	【基本情報】指導者数：約 90 名 - バレーボールについては、トップス広島で習うこともできる。・正確な指導者数は不明だが、登録チームには監督が必要であるため、少なくとも 90 名は指導者はいるという認識。 - 指導者資格は、全国につながるような大会に出るためには必要となる。 - バレーボールを教えられる教員がいなかったり、平日・土日に部活を見ることのできる教員がいらないため、バレーボール部ができないという声をよく聞く。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館 主な大会会場：安佐北区・安佐南区・佐伯区・東区スポーツセンター - ほとんどのチームは小・中学校の体育館で練習しており、まれにスポーツセンターで練習をするチームもある。 - 大会については、コート数が必要となるため、広い体育室のある安佐北区・安佐南区・佐伯区・東区スポーツセンターなどでやることが多い。 - 市のスポーツセンターを確保することが難しい場合は、1 会場での試合数を増やしたり、他市町の体育館で開催することがある。ただ、広島市の大会を他市町で開催すると、参加者が嫌がるため、できれば市のスポーツセンターを使用したい。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市西区己斐上（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで行っている。） 活動資金源：登録料・大会参加費・企業からの協賛金 活用している SNS：ホームページ - 協会の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録している。専用の事務局があったとしても、常駐できる人が雇用できないため、必要性がない。 - 事務局としての仕事はほとんど事務局長 1 名が担っており、報酬・手当等はない。 - 広報手段としてはホームページを活用している。ホームページを作成する際は、業者に委託して作成してもらった。現在の更新作業は事務局で行っている。
その他	令和 5 年度、令和 6 年度は女子の中学生の大会を開催したが、今後は男子の大会も開催するなどさらなる普及に取り組んでいきたい。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑫ 広島市ハンドボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：450 名（県では約 1,000 名） 登録団体数：55 団体（県） ・競技人口としては増減していない。一般・小学生は増加、中・高校生は減少している。 ・中・高校生が減少している要因として、当然少子化の影響もあるが、教員の働き方改革によって学校でハンドボールをできる環境が少なくなっているということがある。地域クラブも元々あった数以上には増えていない。 ・小学生までハンドボールをやっているが、中学校に進学すると部活が無いために、ハンドボールを辞めていってしまう。 ・また、全中の大会が 2028 年度から無くなることも減少要因として考えられる。
指導者 について	【基本情報】42 名（県では約 90 名） ・公認指導者資格を持っているのは県で約 90 名、市で 42 名である。 ・日本スポーツ協会と日本ハンドボール協会の方針で、協会に登録するチームの指導者については、資格を取ることを義務付けている。指導者数は徐々に増えてきている。 ・資格を取るためには、JSPO 公認指導者講習会（開催は広島県ハンドボール協会等）を受講する必要がある。資格を取るための費用は自費であるが、講習会開催に係る会場費用及び講師の招へい費用等は全て県の協会が負担しており、資格を取りやすい環境を整えている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：決まった練習場所はなく、場所を探して転々としている 主な大会会場：スポーツセンター、大学体育館 ・ジュニアの場合、イズミメイプルレッズジュニアなどは東浄小学校で練習をしているが、その他のチームは決まった場所では練習できておらず、学校施設など場所を転々としている。トップリーグの大会がある際には、試合前にその会場で練習をさせてもらうことがある。 ・ハンドボールの場合、20m×40mの広さのコートが必要（小学生は 20m×36m）であるが、広島の学校体育館の場合は、私立高校の一部を除いて規格が足りないため、試合・大会と同じ環境で練習することができない。 ・社会人の場合はより深刻で、時々私立の高校などを使わせてもらっている程度。社会人の競技者が増えない理由の一つでもある。 ・大会についてはスポーツセンターや、専用使用調整で取れない場合には広島経済大学の体育館を使うこともある。 ・大会開催場所よりも、練習場所がかなり不足している状況にある。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島経済大学（役員勤務先） 事務局員数：非常駐 1 名（ボランティア） 活動資金源：トップリーグ運営事務局の負担金、市スポーツ協会の助成金など活用している SNS：ホームページ（県の協会の HP を共用） ・理事長が広島経済大学で勤務しているため、同大学を事務局として登録している。 ・事務局の仕事は理事長 1 名で担っている。事務局は県と市で兼ねており、市の協会からは手当てはない。 ・主な収入としては、トップリーグの試合を運営する実行委員会からの負担金及び市スポーツ協会の助成金などがある。 ・広報は県の協会のホームページで行っている。 ・卓球やバドミントン、バスケットボールなどは個人使用が可能であるが、ハンドボールについては専用使用のみでの利用しかできないため、個人利用ができるように検討してもらいたい。
その他	・競技の普及のためには、ハンドボールをすることのできる環境づくり（ソフト・ハードとも）が一番大切で、指導者数が増えていても、その指導者が活躍できる・教えられる場がないと普及につながらない。今後部活動が地域スポーツクラブ化されるにあたって、小・中学校の教員が地域で活躍できる・地域に出やすい環境を作ることが必要である。一般の社会人は仕事があるため、指導に携わるのは難しいと思われる。 ・ボランティアというわけにはいかないが、トップで活躍していた選手やアスリートが、引退後にセカンドキャリアとして指導に携われる環境づくりなども必要である。 ・スポーツセンターの中には照明が LED 化されていないところもあり、会場が暗いと競技をするのに危ないため、改修をお願いしたい。また、トイレの洋式化も要望したい。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑬ 広島市バスケットボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：7,800 名 登録団体数：417 団体 ・オリンピックの影響で、バスケットボールをやりたいという子が増えており、小・中・高校生の競技人口は増えている。社会人の競技者も徐々に増えてきている。 ・一方で大学生の競技者数は減少しており、試合を開催しても大学生チームはあまり出てこない。大学生は、バスケットボールよりも遊びやアルバイトを優先する者が多い。学連のスタッフの数も足りないと聞いている。 ・競技者数が増えてきているため、特に競技の普及に力を入れているわけではないが、U-15 や U-12 の大会を増やしてバスケットボール界が盛り上がるようにしている。 ・また、3×3 人制のバスケも盛り上げていきたい。1 チーム当たりの人数が少ないため、チームが作りやすい。イベントを開催してもかなりの人数が参加すると聞いている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：67 名 ・指導者資格としては、JBA のコーチライセンスがあり、広島県バスケットボール協会が管轄している。 ・ライセンスを持っている指導者が登録していなければ大会等に出場できないため、チームの監督は基本的にはライセンスを取得している。 ・最近では部活動ではなくクラブ化が進んでおり、学校の部活動ではなくクラブに所属する子が増えている。しかし、好きなクラブに入れるというわけではなく、住所地によって所属できるクラブが決まるため、学区外にクラブがある場合は、引っ越しや祖父母の家に住所変更したりする子もいる。 ・市スポーツ施設の専用使用調整で施設を取ることができたら、指導者や審判員の講習会を開催している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館、スポーツセンター 主な大会会場：安芸区スポーツセンター、湯来体育館、小・中学校の体育館 ・練習場所については、慢性的に足りていない状況である。社会人はスポーツセンター、こどもは学校の体育館を使うことが多いが、学校の体育館にはエアコンが付いていないことから、暑い時期はこども達もスポーツセンターを利用する。そうすると社会人が練習できる場所がどんどんなくなってしまう。 ・大会については、安芸区スポーツセンターや湯来体育館を使用することが多い。バスケットボールの場合は、体育館であればどこでもできるが、施設によってはバスケットボールのラインが引かれていないため、できれば引かれている施設を取りたい。 ・ラインが引かれていない施設でも取ればありがたいが、準備に時間がかかるため、その場合はできれば連続した 2 日間で大会をやらせてもらいたい。 ・大会を開催したくても、市の施設が取れないことが分かっているため、専用使用調整に申し込む際に、元々の件数自体を少なくしている。競技者にとってはかわいそうなことである。 ・JBA から、社会人のリーグ戦をしっかりとやるよう指示が出ているため、スポーツセンター等の施設は優先的に社会人の大会会場として充てて、こどもの大会は学校の体育館で開催するようにしている。ただ、学校部活動のクラブ化によって、クラブだけの大会数も増えるため、ますます厳しい状況になる。 ・広島市の施設や十分な施設数を確保できなかった場合は、他市町の施設（廿日市市・尾道市など）で大会を開催したり、試合時間数を少なくすることで対応している。県レベルの大会をやる場合でも、出場チームの 3 分の 2 以上が広島市のチームであるため、広島市外の施設が会場となる場合、出場チーム数が少なくなることもある。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区戸坂（役員の勤務先） 事務局員数：常駐 0 名（役員 3 名がボランティアで行っている。） 活動資金源：登録料、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし ・現在ホームページは活用しておらず、大会等の案内は約 400 団体に対して LINE もしくは電話で連絡している。ホームページを使いたいと思うが、お金がかかることであるため、作っていない。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑭ 広島市テニス協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：1,818 名 登録団体数：111 団体 - 登録者数は毎年約 5% ずつの割合で減少してきている。特に高校卒業後にテニスが続けるケースが少なくなり、その年代の登録者が減ってきている。 - 昔は、高校までテニスをやっていたら、大学生・社会人になっても続ける者が多かったが、最近は大学生・社会人になると辞めるケースが多い。 - テニスの普及に当たっては、毎年 10 月に開催されるスポーツ・レクリエーションフェスティバルにおいて、テニスのブースを設けて、多くの人にテニスを体験してもらっている。昨年は 500 名程度の参加があった。 - また、毎年 9 月 23 日のテニスの日に親子で体験できるイベントも実施しており、昨年は 166 名の参加があった。
指導者 について	【基本情報】指導者数：把握していない - 指導者数については把握していないものの、かなりの数がいると思う。 - テニスを指導することに関しては、必ずしも資格は必要なく、民間のテニスクラブでも資格を持っていない指導者はいる。 - 指導者資格を取る、または資格を継続するための支援として、県テニス協会と共同でお金を出し合い、中央からコーチを招聘して、広島で受講できるようにしている。受講者にとっては県外に行く必要がないため、資格を取りやすい環境にはある。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：広島広域公園・市内の庭球場 主な大会会場：広島広域公園・中央庭球場・瀬野川公園・海田総合公園 - テニスの場合は、男女別・年齢別で大会を開催するため、1 大会をやる場合でも 2～3 会場が必要となる。コート数がかかなり逼迫しているため、新たに大会をやろうと思ってもできない現状がある。 - テニスの人口に対して、広島市にはテニスコートが少ない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区光町（賃貸） 事務局員数：2 名（協会がパートタイムで雇用） 活動資金源：登録料・大会参加費 活用している SNS：ホームページ - 中国テニス協会及び広島県テニス協会と共用の事務所があり、賃借料は 3 団体で支払っている。 - 事務局には 2 名が勤務しており、協会が雇用するパートタイマーである。中国テニス協会・広島県テニス協会もそれぞれ事務局員を雇用している。 - 主な収入としては協会への登録料がある。令和 6 年度の登録料は、団体は年間 10,000 円（ただし、団体に所属する人数に応じて増額）、個人が年間 1,000 円であるが、登録者数の減少により資金的に厳しいことから、令和 7 年度からは個人の登録料を年間 1,500 円にする予定である。 - 広報手段としては協会のホームページを活用している。雨天により大会が中止・遅延する場合は、役員の Facebook で情報を発信することがある。
その他	競技の普及に関しては、学校での部活動が重要だと考えている。これまで、レギュラーになれない生徒を対象とした大会を教員が開催・運営していたが、教員の働き方改革や部活動の地域クラブ化によりその大会が維持できなくなり、協会が引き継いでくれないかと要望を受け、高校生のテニス大会を担うようになった。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑮ 広島市ソフトテニス連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：1,058 名（県内大学生以上） 登録団体数：84 団体（同左） - 広島県ソフトテニス連盟の登録者数は 1,058 名、登録団体数は 84 団体で、登録していない愛好者を含めると 4,000～5,000 名になる。高校生以下については詳しく把握していない。登録者数全体としては横ばいである。 - 中体連に確認したところ、ピーク時は 2,000 名だったものの、現在は 1,500 名であり、中学生の競技人口は減少傾向にある。その要因としては、当然コロナや少子化の影響もあるが、教員の働き方改革によって、部活動数や活動日数が少なくなり、ソフトテニス部員が減っているということがある。 - ソフトテニスの場合は、中学でソフトテニスをやっていたという人が、高校・大学で一旦競技を離れたとしても社会人になってまた始めるという人が多いため、初級者向けのオープン大会を開催して、競技者の掘り起こしや競技人口の底上げを図っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：90 名 - 日本スポーツ協会の公認指導者資格を持っている人数は 90 名である。広島市内にある各ソフトテニスクラブの中心的人材は大体が資格を持っている。 - ソフトテニスの経験者であれば、技術的な指導をするのは問題ないと思うが、今後、部活動の地域移行で地域が受け皿となる場合には、資格を持っている人を指導者とした方が良い。 - 市内全ての中学校に男女それぞれソフトテニス部があり、それを地域に任せるとなると、指導者の数としては全然足りない。 - 地域の指導者ができるのはあくまでも、競技の指導であり、生徒の心のケアや教育的意義などはできないと思った方が良い。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：広島市中央庭球場・広島広域公園など 主な大会会場：広島市中央庭球場 - 政令指定都市の中で、ソフトテニスの国民スポーツ大会を開催できないのは広島市のみ。非常に恥ずかしい。大会を開催するには同一種類のコートが 20 面必要となるが、広島市ではそれを確保することができない。 - 広島広域公園にあるテニスコートはハードコートで、雨の影響を受けてけがをしやすい。 - また、高校生の県大会も広島市の施設では開催できない。以前は、中央庭球場に 15 面のコートがあったため、県の大会を男女同一会場で開催できたが、現在は 11 面しかないので、男女別会場になったり、尾道市や福山市など県内他都市で開催している。 - 高校の大会で男女別会場になると、教員が 2 回も引率する必要があったり、同日会場の場合はそもそも引率教員がいないということにもなる。 - 全国大会を広島でできないかという話もあるが、施設が無いために断っている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市佐伯区八幡（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（役員数名で担っている。） 活動資金源：登録料、大会参加費 活用している SNS：ホームページ - 事務局としての仕事は役員数名で行っている。 - 大会役員を行う場合、これまではボランティアであったが、令和 5 年度からは実費相当分が支給されるようになった。
その他	広島市中央庭球場は、広島戦後の復興の象徴になっている施設であるため、例えば利用者の少ない平日の日中に外国人旅行者受けの体験イベントをやれば、他の市町でもやっていない新たな取組となる。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑩ 広島市卓球協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：約 2,000 名 登録チーム数：約 200 チーム - 登録者数は徐々に減少している。 - 広島市の卓球競技者の平均は 70 歳くらいで、高齢になってくると試合会場への移動が困難になり、アクセスの悪い会場で大会を開催することが多いと辞めていってしまう。 - 競技の普及に向けては、月に 5 回の初級者向け練習会と月に 4 回のゲーム練習会を開催しているが、土日は会場が取れず平日での開催となるため、参加者は高齢者が多く、若者は集まらない。 - こども向けにはジュニアサーキットという大会を年に数回開催している。
指導者 について	【基本情報】日本スポーツ協会の公認指導者資格有資格者：約 100 名 - 公認指導者資格を取るためには、講習会を受ける必要があり、以前は毎年広島県で講習会が開催されていたが、コロナをきっかけに毎年は広島県で開催されなくなった。指導者資格を持つ人の数が今後どうなるかは分からないが、少なくとも資格を取れる機会は減っている。 - 卓球協会として特に指導者資格を取るための支援などは行っていない。 - 卓球を学ぶ場としては、こどもに関しては、個人に教えてもらうか、クラブチームや卓球ショップに併設しているスクールがある。大人の場合は、クラブチームよりは個人でつながったり、公民館の練習に参加するぐらい。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：スポーツセンター、小・中学校の体育館 主な大会会場：安芸区・安佐南区スポーツセンター - 施設数は全く足りておらず、以前できていた大会も、施設が取れないことが分かっているから計画すらできていない。大会時期は他の競技と重ならないよう考慮しているつもりだが、会場を確保することができない。以前よりも施設が確保できなくなってきている。令和 5・6 年度は耐震工事に伴う施設の休館があったため、施設が取れないだけかと思ったら、令和 7 年度もあまり取ることができていない。 - 市の大会を開催するにあたり、市内の会場が確保できない場合、やむを得ない場合は他市町での開催も検討するが、使用料の減免がないため、他市町での開催は避けたい。 - 希望を言えば、卓球専用の施設がほしい。 - 大会の会場として必要な要件は、アクセスしやすいこと。高齢者のことを考えると車でなければ行けない施設や最寄り駅やバス停から遠い施設はダメ。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区牛田本町（専用事務所。賃貸で借りている。） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長及び事務員の計 2 名が来られるときに事務をしている。交通費程度は支給あり） 活動資金源：協会への登録料、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ - 大会の案内などの広報はホームページで行っているが、高齢の人が多いため、年に 3 回は各チームに郵送で案内を送っている。申込みも F A X で行っている。郵送料がかなり必要になるが、インターネット等を使えない年代が多いため、やり方を変えることができない。 - 運営要員はボランティア等で何とかなっている。
その他	大会で市の後援を受ける場合、報告書を郵送しなければならないが、経費節減のため、電子での対応を可能にしてほしい。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑪ 広島市体操協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：500 名程度 クラブ数：約 30 クラブ - 登録者数は 500 名程度で、内訳は大人が 70 名で 430 名が高校生以下である。 - 登録者数全体では増えており、小学生以下の人数が増えている。幼児期から体の使い方を学ばせたいということで、体操を始めさせる保護者が多い。 - また、体操クラブが細かく細分化され、数自体が増え（現在は約 30 クラブ）、より身近な場所で体操を学べるようになったことも競技者増加の要因の一つと考えられる。 - それに対して、中学生の数は減ってきており、その要因としては部活動が制限されるようになったことが大きいと考えている。 - 競技の普及に向けてというわけではないが、強化練習会や初心者向けの大会を毎年開催している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：40～60 名程度（クラブ数×2～3 名） - 指導者数について正確には把握していないが、各クラブには 2～3 名の指導者がいる。 - 指導者は常に不足しており、体操をやりたいくてもクラブに指導者が足りないことから、やむなく受入れを断っているクラブが多い。 - 指導者資格については、国民スポーツ大会に出場するためには必要となる。資格は広島では取ることができず、東京まで講習会を受けに行かなければならない。 - 市スポーツ協会の助成事業を活用し、資格を取りたいという人を対象として、年に 1 回指導者養成講習会を実施している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：各体操スクール 主な大会会場：広島県立総合体育館 - 体操をする場所としては、個人事業主が経営している体操スクールが多い。 - スポーツセンターも練習で使用することはあるが、器具が揃っていないため、十分な練習を行うことはできない。体操器具が揃っている高校にも練習に行くことがある。 - 広島市小学生体育連盟の事業で、週に 2 回小学校を会場として練習を行っている。 - 大会については広島県立総合体育館で行うことが多い。 - 体操器具を置いている施設が不足していることから、スポーツセンターや小・中学校の体育館に少しでも器具があるとありがたい。 - 体操器具は高額であり、器具を保管するための倉庫も必要となるため、中々購入することができない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区牛田本町（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで行っている。） 活動資金源：登録料、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ - 主な収入としては、登録料収入（1 名当たり年間数千円）と市スポーツ協会からの助成がある。 - 資金的な余裕はない。 - 大会等の案内には HP を活用している。HP の更新作業は事務局長が行っている。そのほかの SNS は活用していない。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑩ 広島市ローイング協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：約 70 名 チーム数：6 チーム - 選手登録者数は約 80 名（社会人約 10 名、大学生約 40 名、高校生 25 名程度、中学生 5 名程度）で、チーム数は 6 チームである。 - 競技人口としては少子化の影響もあって減少しており、チームを組めないところも出てきている。 - 競技の普及のため、広島県ローイング協会が、ボートに興味のある人であれば誰でも参加できる「広島市民レガッタ」という大会を開催している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：5 名程度 - 指導者数は 5 名程度で、人数としてはもう少し必要である。 - 国民スポーツ大会やインターハイに出場するためにはライセンスが必要であるが、ライセンスを取るための講習会は全国で数か所しか開催されていない。そのため、指導者資格を取得したくてもハードルが高い状況にある。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：太田川放水路 主な大会会場：芦田川漕艇場（福山市） 太田川放水路 - 大きい大会は芦田川漕艇場で開催しており、インターハイなども同施設で開催されることがある。 「広島市民レガッタ」は太田川放水路で開催している。 - ボート競技を行う場合は、波の無い直線のコースが必要であり、これを取れる所はあまりない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市内（役員宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで行っている。） 活動資金源：市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし - 専用の事務局（所）は無く、本協会の規約で役員の自宅を事務局とすることとなっている。 - 本協会の事務は事務局長 1 名が担っており、全てボランティアである。 - 収入源としては、市スポーツ協会の助成金のみであり、自転車操業状態である。 - 役員が講習会等で謝礼金を受け取った場合は、本協会に寄附してもらったりもしている。 - ホームページ等は人手不足のため活用していない。各チームがInstagramで発信していることはある。
その他	こども達がボートに触れられる機会を作ったり、エルゴメーター（ボートを漕ぐ動作をトレーニングするマシン）を使った模擬レースなども開催してみたいが、本協会は同マシンを持っておらず、人手や資金も不足していることから、実現できていない。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑬ 広島市セーリング連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技者数：100 名以上（日本セーリング連盟に登録の競技者） - 日本セーリング連盟に登録のある広島市在住の競技者数は 100 名を超えている。 - 競技者数については減少しており、中高生の場合は、25 年前と比べると 6 割程度まで減少している。 - セーリング部も昔は 8 つの高校にあったが、現在は国泰寺高校のみになっている。セーリングは費用がかかることと、安全面のことから、学校長の方針で部活動を作らせていない(部活動の顧問が定年を迎えると、新たな顧問を充てず、部を自然消滅させている。) - 社会人の競技者も減っている。ヨットはかなり高額で、3 年もすれば劣化してしまうため、個人でやるのはかなり大変であるが、企業がスポーツから撤退したことで競技を続けられなくなった社会人が多い。 - 競技の普及に関しては、小・中学生を対象とした体験会を年に 3 回開催したり、模擬レースをやったりしている。 - 広島市の作成するチラシに、セーリング体験会の情報を掲載してもらったところ、想定をはるかに上回る申込みがあった。しかし、ヨットの数が少ないことから、どのように対応していくか検討している。
指導者 について	【基本情報】日本スポーツ協会の公認指導者資格を持つ指導者数：1 名（県では 11 名） - セーリングの場合は、指導者の他に、海に落ちた場合の緊急時の対応スタッフなど、サポートする人が必要となり、人手が足りないため、活動は保護者の手伝いがある程度成り立っている。指導者・サポートする人両方が不足している状況にある。若手も少ない。 - 初心者进行を教える場合は特に注意が必要で、例えば 10 名のこどもに教える場合は、同じ 10 名が必要となる。人数はかなり必要である。 - 日本スポーツ協会の指導者資格については、4 年に 1 回更新が必要となるが、その間にスキルアップ講習を受ける必要もあり、会社員などは会社を休んで取りに行かなければならないため、中々ハードルが高い。 - 広島県セーリング連盟が、資格を取るための講習会を受けに行く交通費の一部を補助しているが、ほとんどは自己負担である。 - 何年かに 1 回は広島で講習会が開催できるようにしていきたい。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：観音マリーナ 主な大会会場：観音マリーナ - セーリングができる場所は広島県では観音マリーナの 1 か所のみである。 - 単に海があれば良いというわけではなく、緊急時に対応するためのレスキューボートを備えておく必要があり、その維持管理費・メンテナンス費用がかなりかかるため、セーリングができる環境は中々難しい。 - 大会は観音マリーナで開催しており、同会場は利便性も良く、国際大会もできるような環境である。外国人は、ロケーションの良さに感動することもある。 - 特に競技場所が不足しているという状況にはない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：観音マリーナ（広島市西区観音新町） 事務局員数：非常駐 1 名（県の連盟が雇用している。） 活動資金源：日本セーリング連盟の還付金、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ - 事務局は観音マリーナディングーヤード内に構えており、県セーリング連盟が雇用するスタッフ（パートタイマー）が 1 名いる（常駐ではない）。本連盟のことも同スタッフが兼務してくれている。 - 主な収入としては、（公財）日本セーリング連盟の還付金（R6 は 8 万円）や市スポーツ協会の助成金がある。これらがないとやっていけない。
その他	- チームレース（4 艇対 4 艇）を増やしていきたいが、審判が少ないため、中々増やすことができない。審判の資格は取るのが中々難しい。 - ヨットの購入費用が高額であるため、スポンサー収入があればありがたいが、セーリングは風の影響をかなり受けるスポーツで、大会等をテレビで中継するとしても、開催時間のずれや開催中止になることが多く、マスコミ・メディア向きではない。

Ⅱ 調査結果

団体名	⑳ 広島市スケート協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：35 名（県。競技者のみ抽出） - 現在の登録者数は、スピードスケートが 13 名、フィギュアスケートが 22 名である、その他、普及・指導に関する役員 34 名も広島県フィギュアスケート連盟に登録している。 - 役員含む連盟登録者数は、総合屋内プールが開場した 1991 年（平成 3 年）がピーク（174 名）で、1994 年（平成 6 年）にヒロシマアリーナ（通年リンク）が営業を終了してからは、各大学のクラブが無くなるなど、登録者数は激減している。 - 広島に通年リンクが無いことから、より良い環境を求めて高校卒業後から他県に移ってしまう競技者も多く、広島のスケートの競技人口が減っている要因となっている。通年リンクがあれば、スケート人口・競技人口は増え、競技レベルも上がっていく。
指導者 について	【基本情報】指導者数：43 名（県） - 広島県における指導者数は 43 名であるが、多くは初心者に対しての指導が行えるもので、フィギュアスケートに関しては専門性が高いため、プロ選手でインストラクターである者（広島県には 3 名のみ）が指導を行っている。しかし、通年リンクが無いことから、通年リンクのある他県に移っていくものが多い。 - スピードスケートとスケートの基礎的な指導を行う指導員に関して、高齢化が進んで辞めていく者も多く、若手指導者を育成することが急務となっている。 - 指導者・講師数の減少により、スケート教室の対応も難しくなっている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：総合屋内プール（冬期） 他県（岡山県、兵庫県、福岡県等）のスケートリンク（夏期） 主な大会会場：総合屋内プール - 広島には通年で練習できるリンクが無いことから、夏期は練習場所を求めて、岡山県のスケートリンクを連盟が借りて練習に行ったり、兵庫県や福岡県等で開催される練習会にも参加している。しかしながら、遠征費用等がかなりの負担となるため、続けられないという選手も出ている状況である。 - 大会会場としては、総合屋内プールは十分な環境で、全国規模の大会も開催可能な施設である。しかし、開場から 30 年以上が経過しており、用具も老朽化しているため、大規模大会開催時は、他県から機材のレンタルを行って対応している。 - 通年で練習することができるリンクがあれば、競技人口の増加・競技力の向上につながり、広島の大学にも再びスケート部や同好会が戻ってくる。 - 必要なリンクの規模としては、総合屋内プールのような規模でなくとも良いが、観客席は必要（保護者等の練習見学用）。一番良いのは、総合屋内プールが通年リンクとして使えることであるが、水泳の 50m プールも同施設しか無いと聞いているため、双方の競技にとって良い形になると良い。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区矢賀（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（理事がボランティアで行っている。） 活動資金源：補助金、登録費、大会参加費など 活用している SNS：ホームページ - 事務局の仕事については、1 名の理事が全て行っており、消耗品代等は受け取っているが、報酬等はない。事務局の仕事を継いでくれる後継者を探さないといけないと思っているが、中々見つからない。 - 専用の事務所も無いため、協会の書類は全て理事宅に保管している。 - 主な収入源としては、登録料収入や大会収入等に加え、日本スケート連盟からの補助金、広島市スポーツ協会の助成金（国スポ・ジュニア選手強化費等）がある。 - 広報手段としてはホームページを活用している。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊴ 広島市アイスホッケー協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：150名 チーム数：11チーム - 登録者数は150名で、そのうち3分の2が大学生及び社会人である。登録者数の推移で言えば横ばいである。 - チーム数については、全11チームである。 - 競技の普及に向けて、年に1回総合屋内プールのリンクでアイスホッケー教室を行っている。
指導者 について	【基本情報】公認指導者数：6名 - 公認の指導員資格を持つ指導者数は6名いるが、実際にこども達にアイスホッケーを教える場合は、資格を持っていない指導員2～3名も一緒に教えている。 - 大きい大会に出場するためには、指導員資格が必要となる。 - 資格を取るためには4日間の講習会を受ける必要があるが、冬期はアイスホッケー・スケートの大会等で日程が取れないことから、講習会は夏に開催することになるが、広島には夏に開場しているリンクが無いことから、他県で講習会を受けなければならないという状況にある。 - 資格を取るための費用については全額本協会が補助をしている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：総合屋内プールスケートリンク（冬期） 他県のスケートリンク・インライン場（夏期） 主な大会会場：総合屋内プールスケートリンク - 総合屋内プールのスケートリンクが開場している時期（11月～4月）は同施設で練習をしているが、それ以外の時期は、広島県が所有するインラインホッケー場で練習をしている。同ホッケー場は本協会が広島県から借り受けており、アイスホッケーの練習ができるように環境を整えている。 - また、氷上練習については他県（倉敷市）のスケートリンクに行くこともあるが、他県のリンクの場合、利用しやすい時間は地元のチーム等が優先して使用しているため、広島のチームが利用する場合、夜中の0時から2時の時間帯で練習しており、練習が終わってから保護者等の送迎で広島まで車で戻っている状況である、いつ事故が起きてもおかしくない。 - 広島では氷上練習が通年でできないため、当然競技レベルも落ち、アイスホッケーをやりたい高校生・大学生は通年のリンクがある県外へ行ってしまふ。 - ただ通年で利用できるスケートリンクが良いのではなく、中途半端な規模の施設ではダメ。島根県浜田市には小さいスケート場があるが、利用者が少なく、ランニングコストもかなりかかることから、施設ができてから20数年で廃止されることとなった。小さい施設の方が初期費用等は少なく済むかもしれないが、スケート場は氷を張るのにかなりの費用が掛かるため、中途半端な施設では成り立たない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：－ 事務局員数：－ 活動資金源：－ 活用しているSNS：－

Ⅱ 調査結果

団体名	㊹ 広島市バドミントン協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技人口：1 万人程度 - バドミントンの競技人口は約 1 万人で、小学生が 400 名、中学生が 2,000 名（うち 7 割は女子）、高校生は 3,000 名（男子の方が多い）である。 - コロナで 3 年間はまともに試合ができなかったことから、社会人の人数は一気に半減してしまった。 - 競技の普及に関しては、ランクを分けた小学生の大会を開催したり、大会開催後に強化練習会をしたりしている。 - また、HP の問合せにバドミントンを教えてほしいと学校やこどもから依頼があるため、無償で指導しに行く活動もやっている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：正確には把握していない - 中学校の部活動の地域移行に向けて、本協会が独自に各区に 2 名プラス α ずつ指導者を擁立している。 - バドミントンの指導者の大半は学校の教員である。小学校の教員でもバドミントンを指導している教員も結構いる。 - バドミントンをまともに教えられるようになるには 10 年の指導経験がいると思う。 - 指導者講習会をやりたいが、指導者をやりたいという人が少ないことと、受講料をわざわざ負担してもらうがどうかと思っている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館 主な大会会場：スポーツセンター（中区・安佐南区・安佐北区） - 練習は小・中学校の体育館が多い。スポーツセンターでもやっているが数としては学校施設の方が多。スポーツセンターでは土日になると 2 時間以上も待つことがあるため、公民館や福祉センターでもやることがあるが、コート数が少ないのと、住民でないと使えないという制限がある。 - 大会については、中区・安佐南区・安佐北区のスポーツセンターでやることが多い。 - 練習場所・大会場所ともに全く足りていない。市スポーツ施設の専用使用調整においても会場が取れないことがある。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区福田（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名 活動資金源：会費、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ - 専用の事務局（所）は、必要性和費用面から設けていない。 - 主な収入源としては、会費（一般：1,000 円、高校生以下：500 円）や大会参加費がある。
その他	- スポーツハラスメントの窓口を市に設けてほしい。中体連や高体連がどこに相談したら良いかわからず、本協会に相談してくる。 - 広島市として、競技人口を増やすための講習会や、宣伝・広報の仕方に関する講座を開催してほしい。 - 広島でバドミントンをやった子が広島に戻ってこないシステムが問題。選手に対して、合宿や遠征に係る費用を行政などが支援していないため、広島から県外に選手が出てしまい、広島にはお世話になっていないことから、また広島に戻ってきてバドミントンに携わろうという気持ちにもならない。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊸ 広島市ウエイトリフティング協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：約 30 名 - ウエイトリフティング競技は日本ではマイナーな競技と言える。幼少期から触れることはほとんどなく、また指導者も少ないのが現状である。競技人口は約 30 名で、最盛期よりかは減少しているものの、おおむね横ばいという状況である。 - 当協会ではウエイトリフティングの普及のため、見学や試技をしたいという希望があれば事前調整の上、指導者がいる上でウエイトリフティングを体験できるという体制を取っている。 - 毎年秋に佐伯区スポーツセンターにて開催する大会を誰でも観戦でき、ウエイトリフティングを少しでも認知してもらえるよう努力している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：8 名程度 - 日本スポーツ協会の公認指導者資格の指導者資格を持っている者は 8 名程度いる。 - 指導者資格を取得・更新するためには、講習を受講する必要があるが、東京で開催される 3 泊 4 日の講習会を受けなければならないため、かなりの負担となっている。会場については、近くで受講できるように見直す動きもある。 - ウエイトリフティングは危険が伴う競技でもあり、誰でも教えられるというわけではなく、きちんと競技を経験したものでなければ指導は難しい。 - 高校の場合、ウエイトリフティングを指導できる教員が少ないため、指導できる教員が転勤すれば、部活動は無くなるという事態が生じている。 - 指導者のための研修会なども開催したいと思っているが、コーチの招へいや会場費など資金面から開催できていないという状況である。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：株式会社ニッポー練習場（協会会長の会社内） 佐伯区スポーツセンタートレーニング室 主な大会会場：佐伯区スポーツセンター小体育室 - 練習場所としては協会会長の会社の練習場や、佐伯区スポーツセンターのトレーニング室がある。 - 大会は、当協会としては年に 1 回秋に佐伯区スポーツセンターの小体育室で開催している。ウエイトリフティング競技を行う場合は、床が補強されている必要があり、市内にあるスポーツ施設では、アジア競技大会のウエイトリフティング会場となった、佐伯区スポーツセンターのみがウエイトリフティング競技をすることができる会場である。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市南区霞（役員の経営する店舗の一部） 事務局員数：常駐 0 名（役員が担っている。） 活動資金源：理事会費（協会役員の負担金） 活用している SNS：なし - 役員構成は、会長・顧問・理事長・副理事長・理事・監査となっている。 - 協会のホームページは無く、市スポーツ協会が加盟団体を紹介するホームページで、活動内容を紹介している。 （ウエイトリフティングに興味のある方が、広島市スポーツ協会加盟団体のホームページを見て、当事務局に電話をかけてくる場合が多々ある。）
その他	20 年以上前に区スポーツセンターにおいて、市スポーツ協会とタイアップしウエイトリフティング体験教室を開催した。参加者の一人はその後ウエイトリフターとなり、マスターズウエイトリフティング選手権大会の世界チャンピオンにもなった者もいる。現況体験教室を行うには、一定期間毎週のように講師を手配しなければならず、指導できる者はみんな仕事をしているため、ここ 20 年は実施できていない。 - ウエイトリフティングを普及させていくための一番の課題は、指導者とジュニア選手の確保である。

Ⅱ 調査結果

団体名	④ 広島市ボウリング協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技人口：把握していない ・広島市の競技人口については把握していない。「レジャー白書 2024」では日本全国のボウリング参加人口は 560 万人とされている。 ・ボウリングをやる人（特に若い人）の数は年々減少していると認識している。 ・減少要因としては、少子化の影響や、昔に比べて色々な遊び（ゲームなど）ができるようになりボウリングをしなくなったこと、物価の高騰等で生活が苦しくなりボウリングにお金をかける余裕がなくなったことが考えられる。 ・昨年、広島市の「初心者向けスポーツ体験教室」のチラシにボウリングの体験会を掲載してもらったことで、計 12 家族が参加し、非常に好評だったため、今後も体験会を継続してボウリングの普及に努めたい。 ・ボウリング場の中には、ジュニア層にボウリングに親しんでもらうため、平日日中の中高生の利用料金を安くし、放課後に中高生がボウリング場に来るようになったところもある。しかし、収益性の点から、それができないボウリング場も多くある。
指導者 について	【基本情報】プロボウラー：11 名（県内） インストラクター免許所持者：20～30 名程度（市内） ・広島市内にはインストラクター免許を持つ者が 20～30 名程度おり、公益社団法人日本ボウリング場協会に加盟する各ボウリング場（市内 4 か所）には 1 名以上免許所持者がいるため、特にボウリングを教える人が不足しているという状況にはない。 ・プロボウラーもボウリングの指導は教えることができるが、プロボウラーになるメリットが無いため、そもそもなりたいという人が少ない。 ・広島市スポーツ協会の助成事業を活用し、年に 1 回指導者養成講習会を開催しており、40～50 名の参加者がいる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：県内 16 か所の各ボウリング場 主な大会会場：公益社団法人日本ボウリング場協会に加盟する県内 8 か所の各ボウリング場 ・広島県内には計 16 か所のボウリング場があり、ボウリングをすることができる。 ・大会については、公益社団法人日本ボウリング場協会に加盟する県内 8 か所のボウリング場のいずれかで実施している。 ・全国的にボウリング場が減少している。ボウリング場は、昭和 40 年代後半（1970 年代前半）のボウリングブーム時には最大約 3,700 か所あったが、令和 6 年（2024 年）時点では 629 か所まで減少している。 ・ボウリング場の減少要因としては、ボウリング競技人口の減少により収益が確保できないことから、やむを得ずボウリング場を閉鎖せざるを得ないということや、施設の老朽化に伴う建て替え費用等を捻出できず閉鎖するということ、また、より収益性の高いスーパーなどに転用するといったことでボウリング場が減少している。 ・ボウリング場の競技人口は、ボウリング場と密接に関わっており、ボウリング場が増えなければ競技人口は増えにくい。また、シニア層の中にはボウリングが生活の一部にもなっている人がおり、普段通っているボウリング場が閉鎖したりすると、シニア層の健康への影響や、競技人口が一気に減少することにつながる。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島パークレーン（広島市中区八丁堀） 事務局員数：常勤 0 名（役員 1 名がボランティアで事務を行っている。） 活動資金源：広島市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：HP ・本協会の事務局は広島パークレーン（ボウリング場）に置いている。 ・収入源としては、広島市スポーツ協会の助成金のみ。会員登録制ではないため、会費収入等はない。 ・広報手段としては、広島パークレーンの HP を活用している。協会専用の HP は資金面の関係から立ち上げていない。また、SNS については、役員に若手がいなかったことから、活用できていない。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊤ 広島市柔道連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技人口：把握していない（県や地区の柔道連盟で把握） ・競技人口については確実に減少してきている。 ・小学校で柔道をやる子はかなり多いが、中学生になると圧倒的に減る。 要因としては、中学に進学すると部活が無いことや、地域クラブがあっても部活と違って週に2～3日しか練習できず、毎日練習するような私立の学校に勝てないことから、柔道を辞めてしまう子が多い。 ・反対に、厳しい柔道の練習しかないクラブばかりになると、楽しみながら柔道をした いという子は柔道をしないため、学校部活動のように教育の一環として競技・スポーツ をやる環境が少なくなっていることが人口減少の要因としては大きい。 ・また、地域クラブの場合、遠方の大会に出場する際には、学校部活動と違って費用を全 て選手・指導者が負担する必要があることや、平日の大会及び平日の移動を伴う大会の 場合、教員であれば出張扱いになるが、会社員などは有給休暇を取得しなければならない ため、それらが障害となり、柔道をやる人・教える人・クラブの減少につながっている。 ・競技の普及に向けては、市から委託を受けて開催する柔道教室や、2か月に1度各道場 が集まる交流会を開催している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：50～60名 ・柔道の指導者資格を持つ者は50～60名おり、全体数からすると不足している状況には ないが、道場によっては10名のこどもを1名の指導者が見ており、偏りがある。 ・柔道の場合、けがや事故のリスク、暴力的な指導などの問題があることから、全日本柔 道連盟が、柔道の指導者は必ず資格を取るように定めている。 ・資格は年に1回開催される講習会（3日間。広島で開催）を受ける必要がある。 ・資格を取るための支援は特に行っていない。技術については各道場で他の指導者から教 えてもらっている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：中学校・高等学校、スポーツセンター、警察署の柔道場 主な大会会場：東区スポーツセンター大体育室 ・柔道の大会は、県大会では4面、県外からも参加する月次試合では6面、全国規模の大 会では8面が必要となり、東区スポーツセンターでは最大8面確保できるため、基本的 には同施設を会場としている。ただし、畳が常設ではないことから、大会の際は高校生 に日当を払うなどして会場設営を行っている。同施設が確保できない場合には、参加人 数・規模を縮小して広島刑務所の武道場（最大3面）で開催することもある。 ・県立総合体育館の武道場も使うことはあるが、他の競技での利用が多く入っており、会 場を取る 것이 難しい。 ・練習場所についてはある程度確保できているが、大会や合同の練習会となると施設は不 足している。理想は畳が4面常設されている武道館があること。中四国地方でも広島県 だけ武道館が無い。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市東区牛田南（賃貸） 事務局員数：－ 活動資金源：登録料、大会参加費 活用しているSNS：ホームページ ・これまでホームページは立ち上げていなかったが、連盟内でホームページを立ち上げる べきとの声があり、令和6年度に新たに立ち上げた。
その他	・柔道の普及のためには、日常的に柔道を練習できる環境が必要である。武道館があれば、 その施設に武道を指導する職員等が常駐することで、毎日武道を学ぶことができる。 ・試行段階ではあるが、令和7年度に国民スポーツ大会の強化指定選手が、広島刑務所の 武道場で行われている練習に参加できるように調整を行っている。 ・オリンピックに出たことのある選手を広島に呼んで大規模な柔道教室を開催したいが、 資金面が不足するため実現が難しい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊼ 広島市アーチェリー協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：150 名 - 現在の登録者数は 150 名で、どんどん減少している。最も多い時の登録者数は 300 名であった。 - 登録者数が減少している主な要因としては、広島の場合は大学生が多くアーチェリーをやっており、各大学に部活やサークルがあったが、コロナの影響で部活やサークルが無くなったことが要因としては大きい。現在では広島大学ぐらいでしかアーチェリーをやっていない。 - 競技の普及に当たっては、市の選手権大会への初心者参加を募ったり、安佐南区スポーツセンターが主催するアーチェリー教室に講師を派遣している。その結果、小・中学生でアーチェリーをやる子は増えている。 - アーチェリー教室に講師を派遣した場合、講師 1 名分の謝金をもらっているが、実際には 10 名の生徒を 1 名の講師では見ることはできず、他にボランティアで講師補助をお願いしている。できれば謝金を増額してもらいたい。
指導者 について	【基本情報】指導者数：11 名 - アーチェリーの指導者資格を有する指導者は広島市内で 11 名いる。 - 資格としては、日本スポーツ協会の指導者資格があり、年に 1 回広島県で講習会を開催しているため、それを受けると資格を取ることができる。 - 指導者資格取得のため、広島県アーチェリー協会から費用の一部補助を受けることができる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：安佐南区スポーツセンター、瀬野川公園 主な大会会場：土師ダム、広島サンプラザ、広島県立工業高等学校、南観音運動広場 - 主な練習は、安佐南区スポーツセンターや瀬野川公園で行っている。そのほか、週に 2 回一般にも開放される広島県立工業高等学校のアーチェリー場、本協会の会員限定であるが安佐南区八木にある広島県アーチェリー場も活動場所としている。一部では県立総合体育館の弓道場も使用しているが、当該施設は弓道での利用がかなり多く、また的までの距離が短いため、あまり使い勝手は良くない。 - 大会については主に土師ダム、広島サンプラザ、広島県立工業高等学校で開催している。南観音運動広場を使用することもある。 - 広島にはアーチェリーができる場所が少ないため、新たにアーチェリークラブもできない状況にある。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐北区亀山南（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長他 2 名がボランティアで行っている。） 活動資金源：会員登録料、大会参加費 活用している SNS：なし - 本協会の事務は、事務局長を含む 3 名が主に担っており、全てボランティアである。 - 主な収入源としては、会費（一般：2,000 円、大学生：500 円、高校生以下：200 円）や大会の参加費がある。 - 特にホームページは活用しておらず、大会等の案内は、アーチェリーができる施設に置いてもらっている。
その他	市スポーツ協会の助成事業を活用しているが、当該事業を受けるための条件や用途が限定的であるため、例えばアーチェリーの用具代にも充てて良いなど、もう少し緩和してもらえるとありがたい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㉗ 広島市ゲートボール連合
競技者 (競技人口) について	【基本情報】会員数：170 名 ・競技人口は、全国的に減少傾向であり、広島市においても減少している。2021 年度で 249 名いた会員が、2024 年度では 170 名まで減少している。 ・ゲートボールは、従来から高齢者の競技とのイメージが浸透しており、若年層の競技人口が著しく少なかった。定年後から競技を始めた人の高齢化が進み、体力的に競技を継続することができなくなってきたことで、競技人口が減少しているという実態がある。 ・競技の普及のためには、若年層を中心とした普及活動が重要であると考えており、未経験者や初心者でも気軽に参加できる大会や、小学校でのゲートボール教室等を開催している。その成果として、佐伯区で 10 代～30 代を中心としてクラブもできている。これを他の地域にも波及させることが課題と考えている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：9 名 ・スポーツ指導者は 9 名いる。 ・審判員制度もあり、本連合としては審判員の資格試験を開催している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：近隣の公園等 主な大会会場：比治山下公園グラウンド、石内流通第一公園グラウンド ・各区にクラブがあり、それぞれの近隣公園等で日常の練習を行っている。 ・本連合が主催する大会は、南区の比治山下公園グラウンドや佐伯区の石内流通第一グラウンドで開催している。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市佐伯区藤の木（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（役員がボランティアで事務を行っている。） 活動資金源：登録料 活用している SNS：なし ・専用の事務局は無く、役員の自宅を事務局として活用している。 ・事務の仕事は会長が担っており、会計担当者のみ別に設けている。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊸ 広島市なぎなた連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：59 名 クラブ数：5 団体 - 連盟の登録者数は 59 名で、以前から同じような人数で推移している。 - 広島市内で活動しているクラブは 5 クラブある（学校部活動を除く）。 - 競技の普及に関しては、体験教室を 1 年に 1 回開催している。また、月に 1 回合同練習会を開催しており、クラブ間の交流等を図っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：11 名 - 連盟の登録者数は 11 名であるが、指導者が教えるというのではなく、各クラブでみんなが教え合いながら技術の向上を図っている。 - 特に指導者が足りないという状況ではない。 - なぎなたの資格を取るためには、講習会を受講する必要があるが、講習会は他県で開催されることが多いため、資格取得のための費用がかなりかかる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館、公民館、南区スポーツセンター剣道場 主な大会会場：南区スポーツセンター（剣道場・中体育室） - 練習は、各クラブが小・中学校の体育館、公民館、南区スポーツセンターの剣道場で行っており、練習場所はいつも同じ会場を確保できているため、不足しているという状況にはない。 - 大会は南区スポーツセンターの剣道場や中体育室で年に 1 回開催している。必ず希望通りの会場が確保できているわけではないが、いずれかの会場で開催することはできている。 - 年に 1 回開催している初心者向けのなぎなた教室については、アクセスの良い中区や東区で開催したいが、施設が取れず、結局のところ南区で開催している
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：－ 事務局員数：常駐 0 名 活動資金源：連盟登録料、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし - 専用の事務局はなく、役員の自宅を事務局として登録している。特に事務局を構えるということは考えていない。 - 連盟の事務は広島県なぎなた連盟と連携を取りながら、会長・副会長・理事長・常務理事・理事・管理・事務局長（兼会計）が運営している。 - 主な収入としては連盟への加盟登録料（大人 2,000 円、こども 1,000 円）や、大会・練習会の参加費、市スポーツ協会の助成金がある。 - 連盟内に SNS に詳しい人がいないため、連盟としてホームページなどは立ち上げていないが、各なぎなたクラブが SNS で発信をしている。会員の募集や練習会の開催などはチラシ作成して、スポーツセンターに掲示して行っている。
その他	- なぎなたをもっと知ってもらうため、中学校の武道授業でなぎなたを覚えてもらうことが必要。平成 30 年度から、各学校へ連盟から授業協力者を派遣し、なぎなたの授業を行ったり、体育教員がなぎなたを教えられるよう指導している。 - なぎなたを含む武道を教えられる体育教員がまだまだ少ないため、教育委員会が武道授業の研修会を開催したり、研修会に参加しやすいように支援するなどしてもらいたい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊸ 広島市空手道連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録団体数：31 団体 競技者数：約 450 名 ・現在 31 団体が登録しているが、来年度は 27 団体に減ると聞いている。指導者の健康状態が悪く道場を統合せざるを得ないということや、生徒数の減少によって団体としての登録をしない・道場を閉鎖するということがある。 ・コロナ前は 35 前後で団体数が推移していたが、団体数が 30 を下回るのは過去初めてである。 ・競技の普及に関しては、各道場がInstagramを活用し、試合や遠征の様子を発信するということを行っている。ある道場ではInstagramをきっかけとして、1 年で 9 名が新規に加入した。 ・市スポーツ協会の助成を受け、競技力の向上に関する事業も行っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：約 30 名 ・指導者の数としては 30 名程度であるが、そのうち資格を持っているのは 3 分の 1 程度である。 ・最も多い道場では、30 名の生徒を 1 名の指導者が教えており、指導者の数としては不足しているという状況にある。中には高校生や大学生が指導の補助をしている道場もある。 ・指導資格は、各流派からなる会派・全日本空手道連盟・日本スポーツ協会の資格があり、指導を行う上では取得する必要はないが、スキルアップや子ども達のために取得している指導者もいる。 ・資格によっては他県まで試験を受けに行くこともある。 ・指導者への支援として、市スポーツ協会の助成を受け、指導者講習会を年に 1 回開催している。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館 主な大会会場：安佐北区スポーツセンター ・安全のため、空手用のマットを敷いて練習することがベターとなっているが、マットを置いていない小・中学校がほとんどであるため、多くは床で空手道の練習をしている。マットを一式揃えようと思うと 100 万円程度が必要になるため、各道場で購入するのは難しい。 ・大会については、連盟が購入したマットを置いている安佐北区スポーツセンターで開催している。 ・大会は年に 1 回の開催であり、安佐北区スポーツセンターを確保できてはいるが、希望の曜日（日曜日）では確保することができていない。 大会開催に当たっては、前日にマットを敷く必要があるが、土曜日開催の場合、金曜日の夜に準備をしなければならず、人手が集まらない。また、大会当日の運営を保護者にもお願いしているが、土曜日は仕事をしている保護者が多く、大会運営に苦慮している状況がある。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：－ 事務局員数：常駐 0 名（事務局長が行っている。） 活動資金源：連盟への団体登録料 活用している SNS：なし ・協会の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録しており、事務は事務局長 1 名のみが担っている。 ・主な収入源は団体の登録料であるが、団体数が減少しているため、登録料を引き上げることを検討している。 ・連盟のホームページなどを立ち上げたいと思っはいるが、連盟内からは、ホームページの閲覧や操作が上手くできないという理由から、立ち上げに反発の声がある。
その他	・他県では、全国大会でベスト 4 以上の成績を残すと、市長表敬ができ、自治体の広報紙でも取り上げてもらえるが、広島市では優勝者のみが対象となっており、市の広報紙でも取り上げられないため、是非できるようにしてほしい。子ども達の励みにもなる。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊼ 広島市太極拳協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】会員数：480 名 太極拳教室数：49 教室 - 令和元年（2019 年）には 600 名ほど会員がいたが、コロナと会員の高齢化で 100 名近く減少し、ここ 3 年ぐらいは会員数が 500 名程度で横ばいである。会員を辞める人数と新たに会員になる人数が大体同じであるため、あまり増減はしない。 - 競技の普及に関しては、協会として取り組んでいることは特にないが、太極拳の各教室（49 教室）で体験を受け付けている。 - 年に 1 回、公民館の主催として太極拳の無料体験会をしてもらっており、体験会参加者が会員になってくれることもある。
指導者 について	【基本情報】指導者数：把握していない - 太極拳の指導者資格としては、（公社）日本武術太極拳連盟の公認指導員資格があるが、広島市で何名が取得しているかは把握していない。指導者数が不足している状況にはない。 - 市スポーツ協会の助成を受けて、指導者のスキルアップを図るための指導者養成講習会を開催しており、当該講習会を受けるためには指導者資格を持っていることを条件としている。 - 指導者資格の中でも、最も下のランクの資格だけは広島県で取ることができるが、それ以上の資格については他県に行かなければならない。 - 資格を取るための費用は全て自己負担である。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：公民館 主な大会会場：中区スポーツセンター（大体育室） - 太極拳をする場所（教室）としては公民館が最も多く、中区や南区のスポーツセンター、民間のスポーツクラブ、広島カルチャーセンターなどでも太極拳の教室等を行っている。 - 毎年、広島市の選手権大会を中区スポーツセンター（大体育室）で開催しており、400 名程度が参加する。コロナ前は観客を入れていたが、コロナ後からは無観客開催を続けている。 - 中区スポーツセンターが耐震工事で休館していた時期は、安佐南区と佐伯区スポーツセンターで大会を開催したが、大会の参加者は高齢者が多く、当該施設は高齢者にとってアクセスが悪いため、中区スポーツセンターで開催したときよりも参加者数が少なかった。 - 普段の活動をする上では場所は足りているが、検定や講習会を行いたいと思っても、県立総合体育館や市スポーツセンターを確保できないことがあり、過去には呉市で検定等を実施したこともある。市の施設がもう少し取りやすかったら良い。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：安芸郡府中町浜田（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで事務を行っている。） 活動資金源：会員からの年会費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし - 協会の事務については基本的に事務局長 1 名がボランティアで行っている。 - 主な収入源としては、会員からの年会費（1 年目：2,500 円、2 年目以降：2,000 円）や市スポーツ協会の助成金がある。 - 本協会のホームページは無いが、広島県武術太極拳連盟のホームページに連絡先を掲載してもらっており、そこから問合せがあれば太極拳ができる教室等を紹介している。 - 大会については会員が対象になるため、各教室の指導者から会員に案内してもらっている。
その他	指導者や会員が年々高齢化しているため危機感を持っている。若手に入ってきてほしい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊦ 広島市ハング・パラグライディング連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：70～80 名程度 ・連盟への登録者数は 70～80 名程度で、ここ 10 年間は横ばいである。 ・10 年以上前は 100 名以上の登録者がおり、また最盛期には 200 名程度いたため、そのときと比べるとかなり減少している。 ・ハング・パラグライディングは、1990 年代にブームが到来したことで一気に登録者数が増えたが、バブルが崩壊してから、徐々に現在の人数に落ち着いたという状況である。 ・競技の普及に向けては、フライトエリアがある地元で開催される催し物で展示を行ったり、定期的なフライトの安全講習会、初心者でも体験できる競技会を年に数回開催したりしている。 ・昔は競技志向の人が多かったが、今は競技志向の人が少なくなっている。ハング・パラグライディングを始めるきっかけは、単に空を飛んでみたいという場合が多いため、競技をする中で段階的に競技志向になっていったと思う。
指導者 について	【基本情報】指導者数：5 名程度 ・指導者数は 5 名しかおらず、指導者の数が少ないことは課題である。 ・資格としては、（公社）日本ハング・パラグライディング連盟のインストラクター資格があるが、これを取るためには他県まで検定を受けに行く必要があるなど、かなり負担が大きい。基本的には商売としてやるような人でなければ取ることではない。 ・資格取得のハードルが高いため、今後資格取得に係る費用を補助することができないか検討している。 ・広島にはハング・パラグライディングを学ぶための本格的なスクールは無く、ハング・パラグライディングを始める・習うには、個人や数人が集まって構成するチーム（計 12 か所）と一緒にやるような形になる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：神の倉山（広島市安佐北区）、可部運動公園 テージャスランチ（安芸高田市） 主な大会会場：神の倉山、荒谷山（広島市安佐北区） ・練習は主に神の倉山で行っている。可部運動公園でも少しフライト練習をすることはできるが、条件的にあまり良くなく、十分な練習はできない。広島市外では、安芸高田市のテージャスランチでも練習を行っている。 ・良いフライト場所の条件としては、斜面があり、斜面に向かって風が吹いており、周りに障害物の無いことである。 ・可部運動公園の場合は、斜面に対して横から風が吹くことに加え、斜面と平面（着陸面）の角度が急であり転倒しやすいため、特に初心者には向いていない。 ・大会については神の倉山や荒谷山で行っているが、世界レベルの大会を開催できるような場所ではない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市西区高須台（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（理事がボランティアで行っている。） 活動資金源：年会費、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ、Facebook ・連盟の事務は 6 名の理事で担っており、全てボランティアである。 ・主な収入としては、登録会員からの年会費（1 名当たり 20,000 円）、大会参加費、市スポーツ協会の助成金がある。 ・広報手段として、ホームページと Facebook を活用しており、それを見て問合せが来ることもあるため、競技を始める上での大事なきっかけとなっている。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊫ 広島市ゴルフ協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技人口：把握していない ・競技人口について、正確には把握していないが、コロナをきっかけに、屋外は安全ということから、屋外競技であるゴルフを始める若い人や女性が増えてきている。 ・競技普及のため、春と秋に市民ゴルフ大会を開催しており、また、各地区（支部）でも町民大会を開催している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：把握していない ・本協会には指導者（プロゴルファー・レッスンプロ）は所属していないが、県ゴルフ協会にはプロゴルファーがおり、依頼があれば派遣することも可能である。 ・ゴルフのレッスンをを行うに当たっては、レッスンプロなどの資格を取得する必要がある。 ・資格取得のための支援等は特に行っていない。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：瀬野川 CC、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コース 太田川ゴルフ場など 主な大会会場：瀬野川 CC など ・広島市内には瀬野川 CC（カンツリー倶楽部）、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コース、太田川ゴルフ場などのコースがあり、そこでゴルフをすることができる。広島市の周辺市町にもいくつかゴルフコースがあるため、そこでゴルフをする人もいる。 ・打ちっぱなしができる場所ということではかなりの数の場所がある。 ・本協会が主催する年に2回の市民ゴルフ大会は、瀬野川 CC で開催している。そのほか市内外のゴルフ場でもゴルフの大会が開催されている。 ・ゴルフをするのが土日集中するため、人が多いということはあるものの、特にゴルフ場が不足しているという声や認識はない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：瀬野川 CC（安芸区畑賀町）（役員の勤務先） 事務局員数：常勤0名（役員がボランティアで行っている。） 活動資金源：県ゴルフ協会や市スポーツ協会の助成金 登録料、募金 活用しているSNS：なし ・本協会の役員（事務局長）が瀬野川 CC に勤務しているため、そこを事務局として登録している。 ・本協会の事務は全て事務局で行っており、ボランティアである。 ・主な収入源としては、県ゴルフ協会や市スポーツ協会の助成金があり、そのほか登録料や瀬野川 CC に設置している「広島市ゴルフ振興募金」の収入も活動資金に充てている。 ・広報手段としては、特に必要性が無いため、HP や SNS は活用していない。大会等の案内については、ゴルフ場にチラシを置いたり、郵送で送ったりしている。しかし、近年郵送料が高騰していることから、本協会の財源が減少している。
その他	・女性の競技者が増えてきているため、更なる普及のためにも、女性向けの大会を開催したいと思っているが、既存のゴルフ場には女性用のロッカー等が少ないことから、中々大会の開催には至っていない。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊸ 広島市グラウンド・ゴルフ協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録会員数：351 名 登録団体数：50 団体 - 現在の会員数は 351 名であるが、最盛期（約 15 年前）から比べると半減している。 - 減少している主な要因としては、グラウンド・ゴルフの競技者は高齢者が多いため、大会があっても会場まで車を運転していくことなどが難しくなり、競技を辞めていってしまう。また、辞めていく人はいても新たな加入する人がいないため、減っていくばかりである。 - 身近に参加できる大会があれば競技者が増えると思い、各区で大会を行うようにしているが、中々会場が確保できず、大会を開催できないこともある。
指導者 について	【基本情報】指導者数：約 100 名 （公社）日本グラウンド・ゴルフ協会の定める普及指導員の資格を持つ指導者は、広島市では 100 名程度いる。 - 資格を取るためには、日本グラウンド・ゴルフ協会の委託を受けて県が実施する養成講習会のテストに合格する必要がある なお、テストを受けるためには本協会の推薦が必要となる。 - 資金面が厳しいため、資格取得のための金銭的な支援はできていないが、技術面に関しては、各団体から要請があれば本協会から指導者を派遣して講習を行っている。 - また、市スポーツ協会の助成を受け、年に 1 回、広島広域公園で指導者養成講習会を開催しており、これから資格を取ろうとする者が参加したり、すでに資格を持っている者でもスキルアップのために参加したりしている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：公園等 主な大会会場：広島広域公園第一・第二球技場 - 練習については、各団体が公園などで行っている。 - 市の大会は主に広島広域公園の第一・第二球技場で開催しているが、同施設は駐車場から競技場までに階段や坂道が多く、高齢の参加者にとって負担となっている。しかし、他に大会を開催できる施設が無いため、やむを得ず同施設で開催している状況である。 - 同施設の競技場の近くに広場（ひょうたん広場）があるため、そこに車を停めさせてもらえないか頼んでいるが、施設からは難しいと言われている。 - また、各区で身近な大会を開催したいと思っても、中々会場が見つからない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐南区伴東（賃貸） 事務局員数：常駐 0 名（事務は会長がボランティアで行っている。） 活動資金源：協会への登録料、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし - 広島県グラウンド・ゴルフ協会と共用で事務所を借りており、そこを事務局として登録している。しかし、会員数の減少により収入が少なくなっているため、事務局を存続できるか不安がある。 - 事務局には常駐している者はおらず、週に 3 回ほど会長が顔を出す程度。事務局には固定電話も設置しているが、不在時には会長に転送されるように設定しており、電話はいつでも出られるようにしている。 - 事務局長もいるが、仕事をしているため、協会の事務などは全て会長がボランティアで担っている状況。 - 収入源としては、会費（1 名あたり年間 800 円）や大会参加費（1 大会につき 1,500 円）、市スポーツ協会の助成金がある。 - 大会の案内などは全て各団体に郵送している。高齢者が多いためメールでのやり取りが難しい。また、以前は県協会のホームページがあったが、維持管理費の捻出が難しいことから、現在ホームページは使っていない。
その他	- 正直なところ、どうすれば競技が普及するのかが分からない。教えてほしい。 - 数は少ないが会員にならなくても出場できるオープン大会があり、高齢者はそこまで大会参加に積極的ではないため、オープン大会の参加のみする人が多く、会員が増えない状況にある。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊼ 広島フットベースボール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録チーム数：約 60 チーム（小学生・中学生・レディース高校生以上） - 現在の登録チームは約 60 チーム（小学生）で、昔は各学区に 4～5 チームあったことを考えるとかなり減少している。中学生のチーム数は把握していないが、大会を開催すると中学生の部・レディースの部で 15～20 チーム程度が参加する。 - チーム数が少なくなっている主な要因としては、少子化や、スポーツをする子自体の数が少なくなっていることがあると考えている。また、フットベースボールの場合はこども会の加入者数と大きく関わりがあり、こども会への加入者数が減っているため、フットベースボールをやる子も少なくなっている。 - また、保護者が練習や大会にこどもを連れて行ったり、大会の役員をすることが負担と感じ、こどもにスポーツをさせない保護者が増えているということもある。 - 競技の普及に当たっては、本協会の主催で年に数回（小学生の部 4 回・中学生の部 2 回・レディースの部 1 回）大会を開催している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：約 600 名 - フットベースボールの指導者は、基本的にこどもの保護者であり、現在は約 600 名の保護者が関わっている。そのため、自分のこどもが卒業すると指導者から離れる保護者が多いが、中には引き続き関わってくれる保護者もいる。 - 指導者の資格は必要ではないが、大会を開催する際には審判が必要であるため、公認審判員資格は取るようお願いしている。公認審判員資格は、資格取得時に 10,000 円、資格更新時に 1,000 円が必要となる。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小学校のグラウンド 主な大会会場：広島広域公園第二球技場 - 主な練習は各チームが小学校のグラウンドで行っている。公園で練習をしているチームもある。 - 大会は主に広島広域公園第二球技場で開催しており、広島サンブラザに隣接する公園等でも開催することがある。 - 特に競技場所が不足しているという状況にはない。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐北区亀山（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長がボランティアで行っている。） 活動資金源：協会への登録料、市スポーツ協会の助成金、審判員登録料 大会参加費 活用している SNS：ホームページ - 本協会の主な事務は事務局長 1 名が担っており、全てボランティアである。 - 主な収入としては、本協会への登録料（1 チーム当たり 2,000 円）と市スポーツ協会の助成金、審判員登録料、大会参加費がある。 - 広島フットベースボール協会のホームページがあるため、年間の大会についての案内はそこで行い、各大会等の案内は各チームにメールや郵送で送っている。その他 SNS は活用していない。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊤ 広島ミニテニス協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録者数：275 名（愛好者数：約 600 名） 登録団体数：44 団体 ・協会の登録者数は 275 名、登録チームは 44 団体（うち広島市で活動しているチームは 36 チーム）であり、愛好者を含む競技人口になると約 600 名になる。 ・コロナ前の令和 2 年度には 343 名の登録者数がいたが、コロナ後からは 270 名前後で推移しており、競技人口は減少している。 ・ミニテニスの競技者は 70 代が最も多く、全体の 4 割になる。コロナをきっかけに競技を辞めた人や、高齢のために競技を辞めたというのが競技者減少の主な要因である。 ・競技の普及に向けて、年に 2 回の技術講習会を行っている。 ・競技者を増やすためにはファミリー向けの体験会を実施することが必要だと考えるが、資金面や会場が確保できないことから、協会が主催することが難しいため、市スポーツ協会がミニテニスの事業を主催してほしい。 なお、県立総合体育館ではスポーツの日に県大会（団体戦）を行っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：44 名 ・日本ミニテニス協会の定める公認指導者資格を有する指導者は 44 名いるが、資格を持っていれば技術を指導する能力があるとは限らない。 ・資格を取るためには、広島県ミニテニス協会の推薦を受け、年に 1 回東京で開催される試験を受ける必要がある。広島で試験を受ける人が多くないため、広島に派遣してもらうことは難しい。 ・資格取得のための金銭的な援助はしていないが、技術的な講習を行うなどしてサポートしている。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：公民館、小・中学校の体育館、スポーツセンター 主な大会会場：安佐南区・佐伯区・中区スポーツセンター ・練習は公民館等で行っている。バドミントンと同じ支柱やネットを使用するため、競技を行う用具はたいていの施設に揃っている。 ・大会については、規定の広さが取れ、駐車場が広い施設（安佐南区スポーツセンターなど）で開催している。令和 5・6 年度は複数のスポーツセンターが耐震工事をしており、会場をほとんど取ることができなかったため、市外の施設（廿日市市）で大会を開催した。できれば市の施設を使用して大会をしたいと思っている。 ・県立総合体育館では、スポーツの日に県大会（団体戦）を行っている。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市西区己斐上（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（5 名の役員が担っている。手当てあり） 活動資金源：協会登録料、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ ・協会の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録している。 ・事務局の仕事は理事長・副理事長と他 3 名の計 5 名の役員が担っており、役員には「役員行動費」として定額が支給されるようになっている。 ・主な収入源として、協会への加盟登録料（1 チームあたり年間 2,000 円、個人は年間 1,000 円）と大会参加費、市スポーツ協会の助成金がある。 ・広報手段としてはホームページを活用しているが、大会の案内などは未だに郵送しているため、通信運搬費がかなりかかっている。今後順次電子化していく予定。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊼ 広島市インディアカ協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】競技者数：約 70 名 団体数：約 7 団体 ・広島市には 70 名弱の競技者がおり、6～7 クラブが活動している。 ・競技者の数は最も多い時期から半減近く減っている。その要因としては年齢による体力の限界、子育てに注力するためなど様々であるが、辞める人数が新たに始める人数を上回る状況が続いている。 ・競技普及のため、毎年春と秋に交流会を開催したり、10 月のスポーツ・レクリエーションフェスティバルで体験ブースを設けるなどして PR を行っている。
指導者 について	【基本情報】指導者数：3 名 ・日本インディアカ協会の定める公認統括指導士の有資格者は広島市に 3 名いる。 ・資格を取得するためには、中四国地方で開催される講習会への参加が必要。 ・資格取得のための支援として、資格取得後の更新費用（3 年更新）は協会が負担するようにしている（資格取得時は全て自費）。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小・中学校の体育館 主な大会会場：各区スポーツセンター大体育室 ・インディアカの場合、階級によってコートに分けなければならないため、大会を開催する場合には 4～5 コートが取れる広さの会場（大体育室のあるスポーツセンター）が必要となる。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市佐伯区五日市（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長 1 名がボランティアで行っている。） 活動資金源：市スポーツ協会の助成金、県インディアカ協会の助成金 登録会員からの会費、大会参加費 活用している SNS：Instagram ・協会専用の事務局はなく、役員の自宅を事務局として登録している。 ・事務局の仕事は基本 1 名が担当している。全て事務局長 1 名が担っており、用紙代等は支給されるが基本的にはボランティアである。 ・主な収入源としては、市スポーツ協会の助成金や県インディアカ協会からの助成金、登録会員からの会費（年間 1,500 円）、大会参加費がある。 ・昨年から Instagram を開設し広報を行っている。ホームページについては管理・更新の手間がかかるため立ち上げていない。市スポーツ協会の加盟団体の紹介ページにおいて、活動内容を紹介している。
その他	・インディアカの普及に関しては、認知度を上げることが重要だと考えている。 ・廿日市市では、学校行事のレクリエーションにインディアカを取り入れていたことがあるために認知度が高く、競技者もそれなりにいる。広島市においても学校行事に取り入れてほしい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊴ 広島市バウンドテニス協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】市の競技者：161 名（県は約 290 名） 市内チーム数：16 団体 ・競技人口については減ってはいないが、60～70 代の割合が多く、平均年齢はあがってきている。バウンドテニスは競技志向でやる人よりも、健康のためにやっている人が多いイメージ。近年は、親子体験会を開催する機会を増やしたためか、ジュニア会員数もこれまでで最も多い 22 名となっている。今後もジュニア会員及び 3 世代に渡って会員数を増やしていく努力をしていきたい。普及のためには体験会の開催が一番である。 ・協会の主催で年に何度か開催しているのに加え、スポーツセンターの無料開放日（スポーツの日やスポーツセンターまつり）でイベント的に体験してもらっている。 ・ジュニア層の競技者を増やすために、ジュニアチーム（市内に 3 チーム）を立ち上げているが、小学生までは続けても、中学校に進学すると部活がないため、辞めてしまう子が多い。部活を作ることが必要だと思っている。
指導者 について	【基本情報】公認指導者有資格者数：11 名 ・広島市には、（公財）日本バウンドテニス協会の認定資格である「公認指導員資格」を持つ指導者が 11 名いるが、指導者の数としては少ない。 ・資格を取るためには、年に 1 回県の協会が実施している認定試験を受け、合格する必要がある。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：小学校体育館、公民館、スポーツセンター小体育室 主な大会会場：佐伯区スポーツセンター ・市内のバウンドテニスチームは、主に小学校の体育館や公民館などで活動を行っている。スポーツセンターの小体育室で練習をしているチームもあるが、こども達が練習できる土日に会場が取れないのがネックである。 ・大会については、市の協会としては年に 2 回大会を開催しており、主に佐伯区スポーツセンターを使用している。県大会や県レベルの大会では、ほとんどが廿日市市の「まるくる大野」が会場となっている。同施設は令和 5 年にできた施設で、予約も取りやすい。 ・市スポーツ施設の専用使用調整でもスポーツセンターの会場は取れてはいるものの、希望する曜日（日曜日）では取れないため、運営要員の確保が難しいことから、まるくる大野を使うことも考えている。しかし、市の大会についてはできるだけ市の施設を使いたいというのは思っているところである。 ・バウンドテニスをする時の道具を備えている施設は佐伯区や東区など限られているため、どの施設でも良いというわけではない。協会としても道具は持っているが、会場に持ち運ぶ手間のことや、倉庫の使用料なども考えると、全てのスポーツセンターに道具が備わっていると、より使いやすくなる。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市中区南千田東町（理事長自宅） 事務局員数：常駐 0 名（理事長及び 2 名の副理事長がボランティアで運営） 活動資金源：協会への登録料、スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ ・活動資金としては、協会への登録料や、スポーツ協会からの助成金 14 万円で賄っているが、苦しい状況ではある。 ・市協会への登録料は大人 1 名につき年間 1,500 円、ジュニアは 1 名につき年間 300 円だが、県の協会へ大人 1 名につき 1,000 円、ジュニアは全額を納めているため、実際には大人の登録者数×500 円しか市の協会には入っていない。
その他	・他の競技団体と合同で体験会をやってみるのかもしれない。すでに別の競技をやっている子も、バウンドテニス面白いと感じて、始めてくれるかもしれない。 ・各区スポーツセンターの無料開放日で、東区・安芸区・安佐北区ではバウンドテニス体験をさせてもらっているが、他の区では実施できていないため、全区で体験会をやらせてもらいたい。（東区スポーツセンターの主任に聞いたところ、各区にこれの競技をやりたいという思いや、区の体育団体の意向などもあるため、全区での実施は難しいのではないかという意見があった。） ・バウンドテニスをするための道具を備えている施設が限られているため、全区のスポーツセンターに道具を備えてもらいたい。 ・令和 6 年（2024 年）の国民スポーツ大会（佐賀大会）から公開競技種目となり、県から男女計 16 名が参加した。令和 7 年には男女各 1 チーム（計 10 名）が参加する。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊸ 広島市ダンススポーツ連盟
競技者 (競技人口) について	【基本情報】会員数：約 190 名（11 のダンスサークルで構成） - 現在の会員数は約 190 名で、近年では毎年約 7% ずつ会員数が減少している（高齢の会員が辞める）。 - 一方で、会員にはなっていないものの、地域には社交ダンスを楽しむ多くの愛好者が存在しており、潜在的な競技者ははまだ十分に見込めと考えている。 - 会員は 70～80 代が最も多いが、30～50 代の会員も増えてきている。 - 普及活動として、SNS の活用や、初心者向けの体験教室を実施しているが、状況は厳しい。 - ジュニア世代の競技者も増やしていきたいが、体験会に来てくれても、異性と一緒に踊るのが恥ずかしいと感じる子もあり、中々ダンスを始めるに至らない。 - 社交ダンスを始めるきっかけとしては、こどもの場合は祖父母がやっているからというものが多く、社会人は漫画や映画、メディアで目にしたことからやってみたいと始める場合が多いように思う。 - 令和 10 年（2028 年）から、ダンススポーツが国民スポーツ大会の公開競技になるため、ダンススポーツが認知・普及されることを期待している。
指導者 について	【基本情報】指導者数：11 名 - 指導者としては 11 名いるが、半数以上が 70 歳以上で、若手の指導者が不足している状況で、次世代指導者の育成が急務である。 - 指導資格としては、日本ダンススポーツ連盟の資格制度があり、これまでは資格取得希望者が集まらなかったが、今年は 7 名ほど新規で資格を取りたいという人がいるため、10 年以上ぶりに広島で講習会を開催する予定である。 - ダンススポーツを学べる場所としては、スポーツセンターや公民館、ダンス教室などがある。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：スポーツセンター（小体育室）、福祉センター 公民館、民間のダンススタジオ等 主な大会会場：スポーツセンター（大体育室） - 日常的な練習場所としては、スポーツセンターや福祉センター、公民館、民間のダンススタジオ等を利用している。 - 大会については、各区のスポーツセンターを使用している。 - いずれは国際大会やビッグタイトル戦を広島で開催したいと思っており、その規模の大会となると広島県立総合体育館が理想的な会場となる。 - 市スポーツ施設の専用使用調整において、大会の会場が確保できなかった大会については、翌年に開催を延期した。他の競技団体等も希望日に会場を確保することができておらず、関係各所とも何度も調整している状況にある。スポーツの発展の為に新施設が必要である。スポーツをすること、そして見ることは、市民が喜びや幸福感、感動を得られ、それが健康にも豊かな心にも繋がるものである。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市安佐南区相田（理事宅） 事務局員数：常駐 0 名（理事 11 名が担っている。） 活動資金源：会費、大会参加費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：ホームページ、X 等 - 事務局の運営は 11 名の理事が担っており、ボランティアである。 - 広報手段としては、広島県ダンススポーツ連盟のホームページ、公式 LINE グループを活用している。また、X も活用している。 - ホームページ等の活用に加え、ポスターやチラシの配布も行っている。
その他	- あらゆる手段で競技者を増やしていきたいと思っている。 - 学校部活動や地域移行でも、ダンススポーツができるようにしていきたい。 - スポーツに関して活用できる制度・助成金について、どのようなものがあり、どのようなことに使えるかなどが分からないため、それらが分かりやすいようにしてもらいたい。

Ⅱ 調査結果

団体名	㊼ 広島市ユニカール協会
競技者 (競技人口) について	【基本情報】登録会員数：約 150 名 ・現在は約 150 名の会員がいるが、その中には大会等には参加せず、ユニカールの普及活動のみを行うという人も含まれている。会員数としては特に減っている状況にはない。 ・年に 3 回（7 月・11 月・1 月）大会を開催しているが、毎回 100 名程度の参加者がある。 ・競技を普及させるための活動には非常に力を入れており、大会を開催する場合には、こども会や町内会、総合型地域スポーツクラブ、学区体育連合会など様々な団体・場所へ周知をしている。 ・区民スポーツ大会やスポーツ・レクリエーションフェスティバルにもユニカールの種目を加えてもらっている。 ・また、児童館等からの依頼を受け、協会から理事を派遣して体験会を開催することもある。
指導者 について	【基本情報】指導者数：約 80 名 ・日本ユニカール協会の認定資格である「指導員認定資格」を取っている者は、広島市ユニカール協会では約 80 名いる。本協会の理事 20 名は全員が資格を取得しており、中区のスポーツ推進委員もほとんどが資格を取得している。 ・ユニカールの普及活動（体験会・指導者派遣など）は 20 名の理事で対応しているが、区民スポーツ大会など規模の大きい大会になると、資格を取得している会員や、スポーツ推進委員などに手伝ってもらっている。指導者の数としては十分にいます。 ・資格を取得するためには、試験を受ける必要がある。試験は日本ユニカール協会から認定を受けた認定者（広島県では 5 名）が 1 名いれば、試験を実施することができる。広島市ユニカール協会にも認定者が 1 名いるため、資格を取りたいという希望があれば、できる限り試験を実施できる体制にはある。 ・資格の認定をもらうための費用等は全て自己負担である。
競技場所 について	【基本情報】主な練習場所：吉島体育館・中区スポーツセンター 主な大会会場：吉島体育館 ・主な練習場所としては、吉島体育館や中区スポーツセンターがある。ユニカールを行う場合には用具が無いとできないため、用具の無いスポーツセンターではユニカールをすることができない。 ・大会は主に吉島体育館で開催している。ユニカールのストーンにはワックスを塗るため、シートを敷く必要があり、本協会が購入したビニールシートを吉島体育館に置いているため、同施設で大会を開催している。 ・ユニカールの更なる普及のためには、少なくとも各区スポーツセンターにユニカールの用具が一式ずつ備わっていることが必要である。各区のスポーツ推進委員からもユニカールの用具を揃えてほしいという声があがっている。 ・ユニカールの用具を一式揃えようとすると、約 40 万円必要となるため、各チームが用意することは難しいため、市が用具を購入して、スポーツセンターに置くようにしてほしい。
運営体制等 について	【基本情報】事務局所在地：広島市中区吉島西（役員の自宅） 事務局員数：常駐 0 名（事務局長らがボランティアで事務を担っている。） 活動資金源：会費、市スポーツ協会の助成金 活用している SNS：なし ・協会の事務局（所）は無く、役員の自宅を事務局として登録しており、事務は事務局長を中心に 5 名で行っている。 ・主な収入としては、会費（1 名当たり年間 1,000 円）や市スポーツ協会の助成金がある。 ・協会のホームページ等はなく、市スポーツ協会の加盟団体を紹介するホームページで、協会の連絡先を掲載してもらっている。

スポーツ施設の使用実態調査 資料編

1 各施設の概要

(1) 広島市内の施設

①「広島市スポーツセンター条例」を設置根拠とする施設

- ・中区スポーツセンター【コジマホールディングス中区スポーツセンター】・・・P85
- ・（分室）中区スポーツセンター吉島屋内プール・・・・・・・・・・P85
- ・東区スポーツセンター【マエダハウジング東区スポーツセンター】・・・P85
- ・南区スポーツセンター・・・・・・・・・・P86
- ・（分室）南区スポーツセンター東雲屋内プール・・・・・・・・・・P86
- ・（分室）南区スポーツセンター出島屋内プール・・・・・・・・・・P86
- ・（分室）南区スポーツセンター宇品体育館・・・・・・・・・・P87
- ・西区スポーツセンター・・・・・・・・・・P87
- ・安佐南区スポーツセンター【プローバグループ安佐南区スポーツセンター】・P87
- ・安佐北区スポーツセンター【大和興産安佐北区スポーツセンター】・・・P88
- ・安芸区スポーツセンター・・・・・・・・・・P88
- ・佐伯区スポーツセンター・・・・・・・・・・P89
- ・（分室）佐伯区スポーツセンター湯来体育館・・・・・・・・・・P89

②「総合屋内プール条例」を設置根拠とする施設

- ・総合屋内プール【ひろしんビッグウェーブ】・・・・・・・・・・P89

③「広島市体育館条例」を設置根拠とする施設

- ・吉島体育館・・・・・・・・・・P90
- ・高陽体育館・・・・・・・・・・P90
- ・河内体育館・・・・・・・・・・P90

④「広島市クアハウス湯の山条例」を設置根拠とする施設

- ・クアハウス湯の山・・・・・・・・・・P91

⑤「広島市運動場条例」を設置根拠とする施設

- ・戸坂庭球場・戸坂運動広場・・・・・・・・・・P91
- ・南観音庭球場・南観音運動広場・・・・・・・・・・P91
- ・沼田庭球場・沼田運動広場・・・・・・・・・・P91
- ・祇園運動広場・・・・・・・・・・P92
- ・大町東庭球場・・・・・・・・・・P92
- ・筒瀬運動広場・・・・・・・・・・P92
- ・上河内庭球場・上河内運動広場・・・・・・・・・・P92
- ・下河内庭球場・下河内運動広場・・・・・・・・・・P93
- ・新宮苑庭球場・・・・・・・・・・P93
- ・湯来庭球場・湯来運動広場・・・・・・・・・・P93
- ・湯来南庭球場・湯来南運動広場・・・・・・・・・・P94

⑥「広島市公園条例」を設置根拠とする施設

- ・広島広域公園・・・・・・・・・・P94
- ・瀬野川公園・・・・・・・・・・P95
- ・竜王公園・・・・・・・・・・P95
- ・草津公園・・・・・・・・・・P96

- ・寺迫公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 96
- ・可部運動公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 96
- ・佐伯運動公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 97
- ⑦「広島市市民球場条例」を設置根拠とする施設**
- ・広島市市民球場【MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島】・・・・・・P 97
- ⑧「広島サッカースタジアム条例」を設置根拠とする施設**
- ・広島サッカースタジアム【EDION PEACE WING HIROSHIMA】・・・・P 97
- ⑨「広島県立総合体育館設置及び管理条例」を設置根拠とする施設**
- ・広島県立総合体育館・・・・・・・・・・・・・・P 98
- ⑩「広島県総合グランド設置及び管理条例」を設置根拠とする施設**
- ・広島県総合グランド【Balcom BMW 広島総合グラウンド】・・・・P 99

- 2) 広島広域都市圏内の主な施設 ※本市内の施設を除く。**
- ① 呉市**
- ・呉市総合体育館【シシンヨーオークアリーナ】・・・・・・・・・P 100
- ・呉市総合スポーツセンター・・・・・・・・・・・・・・P 100
- ・呉市体育館【IHI アリーナ呉】・・・・・・・・・・・・・・P 101
- ・呉市二河野球場（鶴岡一人記念球場）・・・・・・・・・・・・P 101
- ② 竹原市**
- ・総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド【ピースリーホーム バンブー総合公園】 ・ P 102
- ③ 三原市**
- ・三原運動公園【やまみ三原運動公園】・・・・・・・・・P 102
- ・三原リジョンプラザ・・・・・・・・・・・・・・・・・P 103
- ④ 三次市**
- ・三次すみよし運動公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 103
- ・広島県立すみよし公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 104
- ⑤ 大竹市**
- ・大竹市総合体育館・・・・・・・・・・・・・・・・・P 104
- ⑥ 東広島市**
- ・東広島運動公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 105
- ⑦ 廿日市市**
- ・廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）【グローバルリゾート総合ス
ポーツセンター】・・・・・・・・・・・・・・・・・P 106
- ・佐伯総合スポーツ公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 107
- ・廿日市市サッカー場【三共ディスプレイグリーンフィールド】・・・・P 107
- ⑧ 安芸高田市**
- ・吉田運動公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 107
- ・安芸高田市サッカー公園・・・・・・・・・・・・・・P 108
- ⑨ 江田島市**
- ・江田島市スポーツセンター・・・・・・・・・・・・・・P 108
- ⑩ 府中町**
- ・揚倉山健康運動公園【WACTORY パーク揚倉山】・・・・・・・・・P 108
- ⑪ 海田町**
- ・海田総合公園・・・・・・・・・・・・・・・・・P 109

- ⑫ 熊野町
 - ・熊野町民体育館・・・・・・・・・・・・・・・・・・P109
- ⑬ 坂町
 - ・坂町B＆G海洋センター・・・・・・・・・・P109
- ⑭ 安芸太田町
 - ・安芸太田町加計体育館・・・・・・・・・・P110
- ⑮ 北広島町
 - ・北広島町豊平総合運動公園（どんぐり村）・・・・・・・・P110
 - ・千代田運動公園・・・・・・・・・・P111
 - ・北広島町大朝グラウンド・・・・・・・・・・P111
- ⑯ 大崎上島町
 - ・西野屋内運動場・・・・・・・・・・P111
- ⑰ 世羅町
 - ・世羅町中央スポーツ広場・・・・・・・・・・P112
- ⑱ 岩国市
 - ・岩国運動公園・・・・・・・・・・P112
 - ・玖珂総合公園・・・・・・・・・・P112
 - ・愛宕スポーツコンプレックス・・・・・・・・・・P113
- ⑲ 柳井市
 - ・柳井市体育館・・・・・・・・・・P113
- ⑳ 周防大島町
 - ・周防大島町総合体育館・・・・・・・・・・P113
- ㉑ 和木町
 - ・和木町体育センター・・・・・・・・・・P114
- ㉒ 上関町
 - ・町民体育館・・・・・・・・・・P114
- ㉓ 田布施町
 - ・田布施町スポーツセンター【TAKOスポーツセンター田布施】・・・・P114
- ㉔ 平生町
 - ・平生町体育館・・・・・・・・・・P114
- ㉕ 浜田市
 - ・浜田市東公園・・・・・・・・・・P115
 - ・サン・ビレッジ浜田・・・・・・・・・・P115
 - ・浜田市金城総合運動公園（ふれあいジム・かなぎ）・・・・P115
 - ・浜田市三隅中央公園・・・・・・・・・・P116
- ㉖ 飯南町
 - ・頓原町民野球場・・・・・・・・・・P116
- ㉗ 川本町
 - ・川本町民体育館・・・・・・・・・・P116
- ㉘ 美郷町
 - ・浜原体育館・・・・・・・・・・P117
- ㉙ 邑南町
 - ・いわみスタジアム・・・・・・・・・・P117

(3) 広島県内の施設 ※広島広域都市圏の市町を除く。

① 福山市

- ・福山市総合体育館【エフピコアリーナ】・・・・・・・・・・P118
- ・福山市緑町公園屋内競技場【福山通運ローズアリーナ】・・・・・・・・P118
- ・竹ヶ端運動公園・・・・・・・・・・P119

② 尾道市

- ・向島運動公園・・・・・・・・・・P120
- ・東尾道多目的競技場・・・・・・・・・・P120
- ・広島県立びんご運動公園【こさかなくんスポーツパークびんご】・・・・P121

③ 府中市

- ・府中市立総合体育館【TTCアリーナ】・・・・・・・・・・P122
- ・府中市上下人工芝第1・2グラウンド・・・・・・・・・・P122

④ 庄原市

- ・庄原市西城総合運動公園・・・・・・・・・・P122
- ・庄原市総合体育館【さくらアーチ】・・・・・・・・・・P123

2 各施設の使用状況

- ・大体育室（中区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P124
- ・大体育室（東区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P125
- ・中体育室（南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P126
- ・中体育室（西区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P127
- ・大体育室（安佐南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P128
- ・大体育室（安佐北区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P129
- ・大体育室（安芸区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P130
- ・大体育室（佐伯区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P131

- ・小体育室（中区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P132
- ・小体育室（東区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P133
- ・小体育室（西区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P134
- ・小体育室（安佐南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P135
- ・小体育室（安佐北区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P136
- ・小体育室（安芸区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P137
- ・小体育室（佐伯区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P138

- ・運動広場（戸坂運動広場）・・・・・・・・・・P139
- ・運動広場（南観音運動広場）・・・・・・・・・・P139
- ・運動広場（祇園運動広場）・・・・・・・・・・P140
- ・運動広場（沼田運動広場）・・・・・・・・・・P140
- ・運動広場（筒瀬運動広場）・・・・・・・・・・P141
- ・運動広場（湯来運動広場）・・・・・・・・・・P142
- ・運動広場（湯来南運動広場）・・・・・・・・・・P142
- ・運動広場（上河内運動広場）・・・・・・・・・・P143
- ・運動広場（下河内運動広場）・・・・・・・・・・P144
- ・運動広場（西区スポーツセンター）・・・・・・・・・・P144
- ・プール（吉島屋内プール（中区スポーツセンター分室））・・・・P145

Ⅲ 資料編

- ・プール（東区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 145
- ・プール（東雲屋内プール（南区スポーツセンター分室））・・・・・・・・・・P 145
- ・プール（出島屋内プール（南区スポーツセンター分室））・・・・・・・・・・P 146
- ・プール（西区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 146
- ・プール（安佐南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 146
- ・プール（安佐北区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 147
- ・プール（安芸区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 147
- ・プール（佐伯区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 147

- ・柔道場（南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 147
- ・剣道場（南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 148
- ・柔剣道場（安佐南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 149

- ・庭球場（戸坂庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 150
- ・庭球場（南観音庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 150
- ・庭球場（沼田庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 151
- ・庭球場（大町東庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 151
- ・庭球場（湯来庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 151
- ・庭球場（湯来南庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 152
- ・庭球場（上河内庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 152
- ・庭球場（下河内庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 152
- ・庭球場（新宮苑庭球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 153
- ・テニスコート（安佐南区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 153
- ・テニスコート（安芸区スポーツセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 153

- ・球技場（広域公園第一球技場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 154
- ・球技場（広域公園第二球技場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 154

Ⅲ 資料編

1 各施設の概要

(1) 広島市内の施設

①「広島市スポーツセンター条例」を設置根拠とする施設

施設名	中区スポーツセンター【コジマホールディングス中区スポーツセンター】
所在地	広島市中区千田町三丁目 8 番 12 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造） 地上 4 階（一部 5 階）建
面 積	敷地面積：7,065 平方メートル、延床面積：8,284 平方メートル
施設概要	1 階 トレーニング室、会議室 12m×6m（72 m ² ・2 室）、駐車場（屋内 46 台、屋外 17 台）、更衣室等 2 階 大体育室 45m×33m（収納式観覧席約 740 席）、小体育室 32m×20m、ラウンジ、事務室、保健室、更衣室等 3 階 大体育室上、大スタンド 31m×5m（収納式観覧席約 350 席）、小スタンド 16m×6m（収納式観覧席約 240 席）、小体育室上、ランニングコース（1 周 100m）
駐車場	76 台
開設日	昭和 63 年 5 月 8 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	（分室）中区スポーツセンター吉島屋内プール
所在地	広島市中区南吉島一丁目 3 番 55 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造）、地上 2 階建
面 積	敷地面積：2,051 平方メートル、延床面積：1,580 平方メートル
施設概要	25m プール：（25m×8.4m、4 コース、水深 0m～1.4m可動床） 多目的プール(大)：16m×7m（ウォーキングコース含む、水深 0m～1.2m 可動床） 多目的プール(小)：8m×4m（幼児用プール※2、水深 0m～0.6m可動床） 多目的室：2 室 観覧席：あり その他：保健室・更衣室・シャワー室
駐車場	あり
開設日	令和 5 年 9 月 30 日（建替前の旧吉島屋内プール昭和 52 年 9 月 3 日）
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	東区スポーツセンター【マエダハウジング東区スポーツセンター】
所在地	広島市東区牛田新町一丁目 8 番 3 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）
面 積	敷地面積：12,000 平方メートル、延床面積：10,459 平方メートル
施設概要	地下 1 階 トレーニング室・更衣室・シャワー室等 1 階 体育室：大体育室 47m×35m、小体育室 32m×20m プール：25m プール（25m×6 コース、水深 0.8m～1.4m）、小プール（4 m×9m、水深 0.6m） その他：事務室・保健室・更衣室・シャワー室・売店等 2 階 観覧席：1,002 席（大体育室）、48 席（プール） その他：会議室・来賓控室・喫茶・小体育室用ギャラリー
駐車場	129 台（総合屋内プールと兼用）

Ⅲ 資料編

開設日	平成元年 5 月 7 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	南区スポーツセンター
所在地	広島市南区楠那町 7 番 31 号
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下 1 階、地上 2 階建
面 積	敷地面積：5,810 平方メートル 延床面積：4,330 平方メートル
施設概要	1 階 トレーニング室・体力測定室・会議室・談話室・保健室・相談室・シャワー室・更衣室・事務室等 2 階 体育室：中体育室 37.7m×29.65m 3 階 観覧席：288 席（固定式） 別館 1 階 柔道場：18.1m×18.9m 128 畳、その他：更衣室・シャワー室等 別館 2 階 会議室
駐車場	市営正面有料駐車場 129 台（総合屋内プールと兼用）
開設日	47 台
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	（分室）南区スポーツセンター東雲屋内プール
所在地	広島市南区東雲三丁目 16 番 3 号
構 造	鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 3 階建
面 積	敷地面積：2,284 平方メートル、延床面積：2,077 平方メートル
施設概要	1 階 駐車場 2 階 プール：25m プール（25m×6 コース、水深 1.2m～1.4m）、小プール（37.47 平方メートル、水深 0.6m） その他：事務室・保健室・更衣室・シャワー室等 3 階 観覧席：88 席 その他：会議室
駐車場	38 台
開設日	昭和 63 年 6 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	（分室）南区スポーツセンター出島屋内プール
所在地	広島市南区出島一丁目 32 番 92 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地下 1 階地上 2 階建
面 積	敷地面積：2,467 平方メートル、延床面積：1,865 平方メートル
施設概要	1 階 プール：25m プール（25m×5 コース、可動床であり水深 0m～2m 変更可能）、歩行用プール（1 周 30m 水深 1m） トレーニング室：筋力トレーニングマシン、有酸素運動マシン、リラクゼーションマシン その他：事務室（受付）、医務室、玄関ホール、談話コーナー、更衣・シャワー室、便所 2 階 観覧席：28 席

Ⅲ 資料編

駐車場	19 台（身障者用 1 台含む）
開設日	平成 20 年 9 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	（分室）南区スポーツセンター宇品体育館
所在地	広島市南区宇品海岸三丁目 6 番 54 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 2 階建（一部 3 階建）
面 積	敷地面積：2,339 平方メートル、延床面積：2,364 平方メートル
施設概要	体育室／17m×16m（1F）、28.8m×18m（2F） 観覧席／327 席（3F） 諸施設／保健室・会議室・更衣室・シャワー室・放送室・ミーティングルーム
駐車場	20 台
開設日	昭和 58 年 5 月 8 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	西区スポーツセンター
所在地	広島市西区庚午南二丁目 41 番 1 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 2 階建（一部 3 階建）
面 積	敷地面積：12,112 平方メートル、延床面積：3,703 平方メートル
施設概要	1 階 プール：25m プール 25m×6 コース（水深 0.9m×2 コース、1.15m～1.25m×4 コース） 体育室：小体育室 16m×14m その他：事務室・保健室・更衣室・シャワー室・会議室 2 階 体育室：中体育室 32m×28m 観覧席：48 席（プール） 3 階 観覧席：252 席（中体育室） 屋外 運動広場 6,070 平方メートル 夜間照明設置 7 基
駐車場	75 台
開設日	昭和 56 年 6 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	安佐南区スポーツセンター【プロバグループ安佐南区スポーツセンター】
所在地	広島市安佐南区伴東三丁目 13 番 16 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地下 1 階建地上 3 階建
面 積	敷地面積：30,907 平方メートル、延床面積：8,010 平方メートル

Ⅲ 資料編

施設概要	1 階 プール：25mプール（25m×6 コース、水深 1.2m～1.4m）、小プール（10m×4.5m、水深 0.6m） 体育室：大体育室 45m×33m、小体育室 32m×20m 弓道場：遠的 60m、近的 28m その他：トレーニング室・保健室・更衣室・シャワー室・放送室・会議室等 2 階 柔剣道場：29m×15m 観覧席：359 席（大体育室）、85 席（柔剣道場）、112 席（プール） その他：放送室・更衣室・シャワー室・売店等 屋外 テニスコート（クレイ系コート） 1 面
駐車場	140 台
開設日	昭和 60 年 4 月 20 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	安佐北区スポーツセンター【大和興産安佐北区スポーツセンター】
所在地	広島市安佐北区深川二丁目 50 番 1 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上 2 階建
面 積	敷地面積：19,019 平方メートル、延床面積：9,393 平方メートル
施設概要	1 階 プール：25m プール（25m×6 コース、水深 1.2m～1.35m）、小プール（8.5m×4.0m、水深 0.6m） 体育室：大体育室 48m×38m、小体育室 32m×20m その他：事務室・保健室・更衣室・シャワー室・売店・エントランスホール等 2 階 観覧席：1,796 席（大体育室）、72 席（プール） その他：トレーニング室・体力測定室・エントランスホール・ランニングコース（1 周 200m）・会議室・来賓控室等
駐車場	140 台
開設日	昭和 60 年 4 月 20 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	安芸区スポーツセンター
所在地	広島市安芸区中野東二丁目 3 番 1 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地下 1 階地上 3 階建
面 積	敷地面積：10,775 平方メートル、延床面積：6,607 平方メートル
施設概要	地下 1 階 体育室：小体育室 32m×20m 1 階 プール：25mプール（25m×6 コース 水深 0.9m×2 コース、1.15m～1.25m×4 コース）、小プール（10m×4m 水深 0.6m） その他：事務室・保健室・トレーニング室・売店・更衣室・シャワー室・会議室等 2 階 体育室：大体育室 46m×34m 観覧席：504 席（大体育室・収納式）、90 席（プール） 3 階 観覧席：480 席（大体育室・収納式） 屋外 テニスコート（クレイ系コート） 2 面
駐車場	109 台
開設日	昭和 59 年 5 月 19 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

Ⅲ 資料編

施設名	佐伯区スポーツセンター
所在地	広島市佐伯区楽々園六丁目 1 番 27 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）地下 1 階地上 2 階建
面 積	敷地面積：9,826 平方メートル、延床面積：8,910 平方メートル
施設概要	1 階 プール：25m プール（25m×6 コース、水深 1.2m～1.4m）、小プール（30 平方メートル、水深 0.6m） 体育室：大体育室 46m×34m、小体育室 32m×20m 観覧室：686 席（大体育室） その他：事務室・保健室・更衣室・シャワー室・売店等 2 階 観覧席：342 席（大体育室・固定式）、46 席（プール） その他：トレーニング室・体力測定室・ランニングコース（1 周 162m）・会議室・来賓控室・更衣室・シャワー室等
駐車場	86 台
開設日	平成 3 年 5 月 19 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時（10～6 月）、午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分（7～9 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	（分室）佐伯区スポーツセンター湯来体育館
所在地	広島市佐伯区湯来町大字白砂 1215 番地の 1
構 造	鉄筋コンクリート造、平屋（一部 2 階）建
面 積	敷地面積：17,087 平方メートル、延床面積：3,880 平方メートル
施設概要	1 階 体育室：中体育室 986 平方メートル 剣道場：剣道場 453 平方メートル その他：トレーニング室 2 階 観覧席：306 席 その他：会議室・ランニングコース（1 周 150m）
駐車場	110 台
開設日	平成 10 年 11 月 11 日
利用時間	午前 10 時～午後 10 時
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日
備 考	湯来体育館は、平成 17 年 4 月に本市と合併した旧湯来町が建設したものであり、合併により本市施設となった。

②「総合屋内プール条例」を設置根拠とする施設

施設名	総合屋内プール【ひろしんビッグウェーブ】
所在地	広島市東区牛田新町一丁目 8 番 3 号
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造一部鉄骨造）、地下 1 階地上 2 階建
面 積	敷地面積：13,961 平方メートル、延床面積：15,458 平方メートル
施設概要	観覧席 3,078 席（背付固定） 【プール（6～9 月）】 プール：50m プール（50m×10 コース、25m×16 コース、水深 2.0m～2.2 m）、飛込プール（25m×20m、水深 5.0m） その他：役員控室・会議室・保健室・放送室・更衣シャワー室・選手控室・貴賓室等

Ⅲ 資料編

施設概要	【アイススケート（11～4月）】 リンク：メインリンク（60m×30m）、サブリンク（18m×30m） その他：役員控室・会議室・保健室・放送室・更衣シャワー室・選手控室・貴賓室・貸靴コーナー
駐車場	129台（東区スポーツセンターと兼用）
開設日	平成3年8月1日（プール）、平成3年12月1日（スケート）
利用時間	午前9時～午後9時（10～6月）、午前8時30分～午後9時30分（7～9月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8月6日、12月29日～1月3日
備考	総合屋内プールは、平成6年10月に広島で開催された第12回アジア競技大会に向けて整備されたものであり、水泳競技の会場となった。

③「広島市体育館条例」を設置根拠とする施設

施設名	吉島体育館
所在地	広島市中区吉島西三丁目2番11号
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建
面積	敷地面積：1,703平方メートル、延床面積：870平方メートル
施設概要	体育室／32m×20m、会議室／10m×4m
駐車場	4台
開設日	平成23年9月1日（建替前の旧吉島体育館昭和51年5月1日）
利用時間	午前9時～午後10時
定休日	水曜日、祝休日の翌々日、8月6日、12月29日～1月3日

施設名	高陽体育館
所在地	広島市安佐北区深川六丁目19番15号
構造	鉄骨造・柱及び壁下部鉄骨鉄筋コンクリート造、平屋建
面積	敷地面積：2,222平方メートル、延床面積：1,064平方メートル
施設概要	体育室／997平方メートル
駐車場	5台
開設日	昭和39年7月23日
利用時間	午前9時～午後10時
定休日	水曜日、祝休日の翌々日、8月6日、12月29日～1月3日

施設名	河内体育館
所在地	広島市佐伯区五日市町大字上河内537番地
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
面積	敷地面積：1,538平方メートル
施設概要	1階 柔道場／168平方メートル（84畳） 2階 剣道場／206平方メートル
駐車場	5台
開設日	昭和59年3月1日
利用時間	午前9時～午後10時
定休日	火曜日、祝休日の翌々日、8月6日、12月29日～1月3日

Ⅲ 資料編

④「広島市クアハウス湯の山条例」を設置根拠とする施設

施設名	クアハウス湯の山
所在地	広島市佐伯区湯来町大字和田 443 番地
施設概要	1 階 プール：採暖浴、温泉プール（ウォータースライダーあり） 2 階 温泉：全身部分浴、中温浴、渦流浴、圧注浴、気泡浴、箱蒸し、寝湯、かぶり湯、歩行浴、ミストサウナ、うたせ湯、露天風呂 その他：トレーニングルーム、休憩室 3 階 休憩室、テラス
駐車場	200 台
開設日	平成 6 年 7 月 8 日
利用時間	午前 10 時～午後 9 時
定休日	火曜日（祝休日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日
備 考	クアハウス湯の山は、平成 17 年 4 月に本市と合併した旧湯来町が建設したものであり、合併により本市施設となった。

⑤「広島市運動場条例」を設置根拠とする施設

施設名	戸坂庭球場・戸坂運動広場
所在地	広島市東区戸坂新町三丁目 1916 番地
面 積	敷地面積：12,000 平方メートル
施設概要	庭球場 クレー系コート 2 面 運動広場 多目的広場（約 9,000 m ² ） 夜間照明設備 10 基
駐車場	46 台
開設日	昭和 54 年 10 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	南観音庭球場・南観音運動広場
所在地	広島市西区観音新町二丁目 90 番地
面 積	敷地面積：10,245 平方メートル
施設概要	庭球場／クレー系コート 4 面 運動広場／多目的広場（約 6,000 平方メートル）
駐車場	10 台
開設日	昭和 55 年 11 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	沼田庭球場・沼田運動広場
所在地	広島市安佐南区伴北四丁目 3987 番地 1
面 積	敷地面積：25,180 平方メートル
施設概要	庭球場／クレー系コート 2 面 運動広場／多目的広場（約 14,000 m ² ）

Ⅲ 資料編

駐車場	50 台
開設日	昭和 63 年 4 月 10 日
利用時間	午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	祇園運動広場
所在地	広島市安佐南区祇園一丁目 85 番地
面 積	敷地面積：25,180 平方メートル
施設概要	運動広場／多目的広場 ※夜間照明設備あり。
駐車場	なし
開設日	昭和 53 年 4 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	大町東庭球場
所在地	広島市安佐南区大町東三丁目 993 番地の 7
面 積	敷地面積：4,079 平方メートル
施設概要	庭球場 ハードコート 1 面、クレー系コート 1 面、多目的コート（クレー系）1 面 ※夜間照明設備あり。
駐車場	19 台
開設日	令和 5 年 4 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	筒瀬運動広場
所在地	広島市安佐北区安佐町大字筒瀬字岡田 10823 番地の 4
面 積	敷地面積：47,000 平方メートル
施設概要	多目的広場／両翼 70m、中堅 70m／多目的広場面積：8,900 平方メートル
駐車場	90 台程度
開設日	令和 4 年 4 月 1 日
利用時間	午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月）
定休日	水曜日（祝休日は除く。）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	上河内庭球場・上河内運動広場
所在地	広島市佐伯区五日市町大字上河内字中山 693 番地の 1
面 積	敷地面積：38,223 平方メートル
施設概要	庭球場／クレー系コート 1 面 運動広場／多目的広場（両翼 87m、中翼 110m）

Ⅲ 資料編

駐車場	30 台
開設日	平成元年 4 月 23 日
利用時間	午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	下河内庭球場・下河内運動広場
所在地	広島市佐伯区五日市町大字下河内字峠平 561 番地
面 積	敷地面積：80,000 平方メートル
施設概要	庭球場／クレ－系コート 5 面、アンツーカーコート 3 面 運動広場／多目的広場 ※運動広場のみ夜間照明設備あり。
駐車場	50 台
開設日	昭和 57 年 4 月 1 日
利用時間	庭球場／午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月） 運動広場／午前 9 時～午後 9 時（夜間照明あり）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	新宮苑庭球場
所在地	広島市佐伯区新宮苑 9 番地の 1
面 積	敷地面積：3,453.16 平方メートル
施設概要	クレ－系コート 3 面 ハードコート 1 面 ※ハードコートのみ夜間照明設備あり。
駐車場	なし
開設日	昭和 53 年 4 月 1 日
利用時間	クレ－系コート／午前 9 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 9 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 9 時～午後 5 時（1、2、11、12 月） ハードコート／午前 9 時～午後 9 時（夜間照明あり）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	湯来庭球場・湯来運動広場
所在地	広島市佐伯区湯来町大字和田 94 番地の 20
面 積	敷地面積 庭球場／1,880 平方メートル、運動広場／12,880 平方メートル
施設概要	庭球場／ハードコート 2 面 ※庭球場及び運動広場に夜間照明設備あり。 運動広場／多目的広場（約 10,000 m ² ）
駐車場	約 50 台
開設日	昭和 56 年 12 月 7 日
利用時間	午前 10 時～午後 10
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

Ⅲ 資料編

施設名	湯来南庭球場・湯来南運動広場
所在地	広島市佐伯区湯来町大字白砂 1215 番地の 1（湯来体育館に隣接）
面積	敷地面積 庭球場／1,947 平方メートル、運動広場／14,122 平方メートル
施設概要	庭球場／クレートコート 2 面 運動広場／多目的広場（約 12,000 m ² ）※運動広場のみ夜間照明設備あり。
駐車場	100 台
開設日	平成 8 年 4 月 1 日
利用時間	庭球場／午前 10 時～午後 7 時（5、6、7、8 月） 午前 10 時～午後 6 時（3、4、9、10 月） 午前 10 時～午後 5 時（1、2、11、12 月） 運動広場／午前 10 時～午後 10 時（夜間照明あり）
定休日	火曜日（祝休日は除く）、8 月 6 日、12 月 29 日～1 月 3 日

⑥「広島市公園条例」を設置根拠とする施設

施設名	広島広域公園
所在地	広島市安佐南区大塚西五丁目 1 番 1 号・2 番 1 号
施設概要	＜陸上競技場【ホットスタジアム広島】＞ ・構造／鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造地上 5 階建 ・面積／建築面積：約 17,710 平方メートル、延床面積：約 14,921 平方メートル、グラウンド：約 20,613 平方メートル ・日本陸上競技連盟第 1 種公認陸上競技場 ・スタンド収容人員／45,000 人 ・全天候塗装トラック 400m×8 レーン（夜間照明設備あり） ・フィールド／天然芝（107m×73.3m）陸上競技の跳躍及び投てき種目、サッカーコート、ラグビーコート ＜補助競技場＞ ・面積 グラウンド：約 18,000 平方メートル ・日本陸上競技連盟第 3 種公認陸上競技場 ・全天候舗装トラック 400m×6 レーン、天然芝フィールド 108m×73.8m ＜第一球技場【サンフレッチェ広島第一球技場】＞ ・構造／鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上 6 階建、バック及びサイドスタンドは芝生 ・面積／建築面積：約 17,710 平方メートル、延床面積：約 14,921 平方メートル、グラウンド：約 20,613 平方メートル ・スタンド収容人員／10,000 人 ・グラウンド／天然芝フィールド 157m×80.8m（夜間照明設備あり） ＜第二球技場＞ ・構造／鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上 4 階建、バック及びスタンドは土間コンクリート造 ・面積／建築面積：約 1,778 平方メートル、延床面積：約 2,690 平方メートル、グラウンド：約 11,149 平方メートル ・スタンド収容人員／3,000 人 ・グラウンド／人工芝フィールド 140m×69m（夜間照明設備あり） ＜テニスコート＞ ・構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上 3 階建（センターコート）、土間コンクリート造（サブコート）、鉄骨造一部コンクリート造平屋建（屋内コート） ・面積／建築面積：約 3,595 平方メートル、延床面積：約 4,822 平方メートル コート：約 914 平方メートル（センターコート）、約 851 平方メートル（サブコート） 屋内コート：建築面積約 4,270 平方メートル、延床面積約 4,258 平方メートル

Ⅲ 資料編

施設概要	・スタンド収容人員／3,000人（センターコート）、1,000人（サブコート） ・コート／センターコート1面（ハードコート） サブコート1面（ハードコート） 一般コート14面（デコターフコート8面、パーフェクトコート6面） 屋外コート4面（ハードコート）
駐車場	720台（うちテニスコート用80台）
開設日	平成5年4月29日。テニスコートのみ平成6年8月1日
利用時間	9時～21時（ただし、補助競技場は午後5時まで。季節により異なる）
定休日	木曜日（祝休日と重なるときは前日）、8月6日、12月29日～1月3日 ※テニスコートは8月6日、12月29日～1月3日のみ休場
備考	陸上競技場は、平成6年10月に広島で開催された第12回アジア競技大会のメイン会場として整備されたもの。

施設名	瀬野川公園
所在地	広島市安芸区上瀬野町
施設概要	<野球場（軟式用）> ・両翼91m、中堅118m、外野天然芝 ※スタンド、夜間照明あり。 <ソフトボール場> ・2面、両翼68m <屋内運動場> ・アリーナ375平方メートル。バレーボール、ソフトバレーボール、バトミントン、卓球などの利用が可能 <アーチェリー場> ・最長90m（10コース） <テニスコート> ・砂入り人工芝12面 ※夜間照明あり。その他壁打ちテニス（無料）2面あり ※その他、卓球場、クロッケー場（2面）、ホースシューズ場（2面）、パークゴルフ場（18ホール）あり。
駐車場	あり
開設日	平成6年3月
利用時間	9時～21時 ※一部施設により異なる。
定休日	12月29日～1月3日
備考	・利用受付は、使用日1か月前から。

施設名	竜王公園
所在地	広島市西区竜王町
施設概要	・野球場（軟式用）：両翼87m、中堅98m ※夜間照明あり。 ・テニスコート：ハードコート7面 ※夜間照明あり ・エスキーテニス場：2面 ・卓球場 卓球台3台 ・ソフトボール場（無料）：60m×60m
駐車場	あり
開設日	昭和55年3月31日
利用時間	9時～21時 ※一部施設により異なる。
定休日	12月29日～1月3日

Ⅲ 資料編

施設名	草津公園
所在地	広島市西区庚午南2-38
施設概要	・野球場：両翼82m センター112m ※軟式野球やソフトボールの利用が可能 ・テニスコート（無料）砂入り人工芝1面
駐車場	あり
利用時間	7時～19時（3月～11月） 8時～17時（12月～2月）
備考	<野球場の予約方法> ①公式大会申請 「公」の大会などの実施については、年間を通過しての事前申請（予約）が可能。 ②一般利用申請 ア 土曜、日曜、祝日利用申請（抽選会） 土曜、日曜、祝日は利用希望が多いため、2か月ごとに抽選会を実施。 ・抽選会開催日 偶数月 第4水曜日（ただし、祝日の場合は前日へ前倒し） ・開催場所 草津公園管理棟 ・時間 14:00～ イ 平日利用申請（予約） 利用日の2か月前の月から申請を随時受け付け。 土曜、日曜、祝日も抽選会後で空のある場合は随時申請受付を行う。 <テニスコート（無料）の予約方法> 利用日の2週間前から予約を受け付け。1日の利用は2時間まで。ただし、平日等で空がある場合は1週間前からは追加受付も可能。

施設名	寺迫公園
所在地	広島市安佐北区真亀一丁目9番
施設概要	・野球場（軟式・ソフト用）：両翼85m、中堅108m ・テニスコート：ハードコート（全天候型）6面 ・エスキーテニス場：4面
駐車場	75台
利用時間	9時～17時（10月～4月） 9時～18時（9月） 9時～19時（5月～8月）
定休日	12月29日～1月3日

施設名	可部運動公園
所在地	広島市安佐北区可部町大字勝木1410番地
施設概要	・野球場（軟式・ソフト用）：両翼74m、中堅94m ・テニスコート：ウレタンコート4面、ハードコート2面 ・卓球場：卓球台6台 ・多目的スポーツ広場（無料）
駐車場	92台
利用時間	9時～18時（4月） 9時～19時（5月～8月） 9時～18時（9月） 9時～17時（10月～3月）
定休日	12月29日～1月3日

Ⅲ 資料編

備 考	<野球場の予約方法> 1 か月前から受付。受付開始時間は①窓口受付 8 時 30 分～②電話受付 8 時 40 分～。窓口受付が優先。
-----	---

施設名	佐伯運動公園
所在地	広島市佐伯区五日市町大字保井田 350-3
施設概要	・テニスコート 全天候型砂入り人工芝 7 面 ※夜間照明あり ・卓球室 卓球台 2 台 ・多目的広場（無料）20,000 平方メートル ※夜間照明あり（有料） ⇒野球、ソフトボール、サッカー、グラウンド・ゴルフなどの利用が可能 ・自由広場（無料）2,000 平方メートル ※バスケットゴール（1 基）あり ⇒バスケットボール、エスキーテニス、フットサルなどの利用が可能 ・壁打ちテニス（無料）
駐車場	179 台
開設日	平成 8 年 4 月 1 日
利用時間	9 時～21 時
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日

⑦「広島市市民球場条例」を設置根拠とする施設

施設名	広島市市民球場【MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島（略称：マツダスタジアム）】
所在地	広島市南区南蟹屋二丁目 3 番 1 号
構 造	鉄筋コンクリート造／プレストレスト・コンクリート造 プレキャスト・プレストレスト・コンクリート造／鉄骨造
面 積	敷地面積：50,472 平方メートル
施設概要	・グラウンド規模：右翼 100m、左翼 101m、中堅 122m ・グラウンド面積：12,710 平方メートル ・舗装等：内外野天然芝（一部、土舗装）、自動散水設備 57 基 ・照明塔：6 基（高演色・高効率メタルハライドランプの混合） ・照明：バッテリー間 2,500lx、内野 2,000lx、外野 1,500lx ・観客席：最大観客定員 33,000 人
完成日	平成 21 年（2009 年）3 月 28 日

⑧「広島サッカースタジアム条例」を設置根拠とする施設

施設名	広島サッカースタジアム【EDION PEACE WING HIROSHIMA】
所在地	広島県広島市中区基町 15 番 2-1
面 積	敷地面積：約 49,900 平方メートル
施設概要	・グラウンド：天然芝 ・ピッチサイズ：105m×68m ・収容人数：約 28,500 人
駐車場	225 台
開設日	令和 6 年（2024 年）2 月 1 日

⑨「広島県立総合体育館設置及び管理条例」を設置根拠とする施設

施設名	広島県立総合体育館	
所在地	広島市中区基町 4-1	
施設概要	<大アリーナ（広島グリーンアリーナ）> ・1階・2階：大アリーナ観客席、地下1階：大アリーナ競技場、管理室 ・フロア面積：約 3,500 平方メートル（48m×80m） ・固定席：約 4,750 席（最大収容人数約 10,000 人） ・コート例：バレーボール 4 面、バスケットボール 4 面、テニス 4 面、ハンドボール 2 面、バドミントン 16 面、卓球 28 台 ・用途例：スポーツ大会・コンサート・展示会・各種ショー など <小アリーナ> ・3階：小アリーナ観客席、2階：小アリーナ競技場 ・フロア面積：約 1,700 平方メートル（35m×49m） ・固定席：約 500 席 ・コート例：バレーボールコート 2 面、バスケットボール 2 面、テニス 2 面、ハンドボール 1 面、バドミントン 10 面、卓球 16 台 ・用途例：スポーツ大会、競技会のウォーミングアップ会場、プロレス、ボクシングなど <武道場> ・地下1・2階：玄関ホール・管理室・観覧席、地下2階：競技場 ・フロア面積：約 2,200 平方メートル（31m×72m） ・固定席：約 600 席 ・コート例：柔道 8 面・剣道 8 面（最大 12 面） ・用途例：各種武道大会・レスリング・ウェイトリフティング・卓球・ジャズダンス・エアロビクス・舞踊 など <弓道場> ・地下1階：玄関ホール・管理室、地下1・2階：観客席、地下2階：競技場 ・フロア：弓道：12 人立（近的）、アーチェリー：4 人立（30m） ・固定席：約 150 席 ・用途例：弓道とアーチェリーの同時練習可 <屋内プール> ・25m×7 コース水深 2.0～2.3m。水泳のほか水球、アーティスティックスイミングなどの練習に利用可。 ※その他トレーニングルームあり。	
駐車場	200 台	
開設日	平成 5 年（1993 年）	
利用時間	9 時～21 時	
定休日	年末年始（12/29～1/3）	
備 考	・平成 6 年（1994 年）の第 12 回アジア競技大会（バレーボール、体操）、平成 8 年（1996 年）の第 51 回ひろしま国体（バレーボール、弓道）の会場。 <施設の予約方法>	
	専用利用（貸切での専用利用。主に大規模なスポーツ大会・イベントなどで利用される主催者向けのお申し込み）	（第 1 次調査）※翌年度の利用の調整 ・受付期間：11/1～12/10 ・利用調整期間：12/10～翌年 1/中旬 ・調整結果（文書で回答）：1/中旬
	区分利用（フロアを区分して利用。主にクラブ練習、サークル活動などで利用）	・受付期間：利用日の属する月の前月の 1 日～10 日までの 9 時～20 時 ・利用調整期間：前月の 11 日～15 日 ・調整結果の回答：前月の 15 日

⑩「広島県総合グラウンド設置及び管理条例」を設置根拠とする施設

施設名	広島県総合グラウンド【Balcom BMW 広島総合グラウンド】
所在地	広島市西区観音新町 2-11-124
施設概要	<メインスタジアム【Balcom BMW Stadium】> ・陸上競技場（400mトラック8レーン全天候舗装） ・日本陸上競技連盟第2種公認 ・国際サッカー大会対応天然芝フィールド ・収容人数：15,409人 <野球場【Balcom BMW Baseball Stadium】> ・両翼92m、中堅113m ・収容人数：13,250人 <ラグビー場【Balcom BMW Rugby Stadium】> ・フィールド：天然芝、142.8m×77m ※その他、補助競技場、運動場、トレーニング室あり。
駐車場	96台（うち多目的スペース4台）
開設日	昭和16年（1941年）
利用時間	7時～21時（3月～10月） 7時～18時（11月～2月）
定休日	〈2024年度〉 6月3日（月）、7月1日（月）、10月7日（月）、12月2日（月） 12月30日（月）～1月2日（木）、2月3日（月）、3月3日（月）

Ⅲ 資料編

(2) 広島広域都市圏内の施設 ※本市内の施設を除く。

① 呉市

施設名	呉市総合体育館【シンヨーオークアリーナ】
設置根拠	呉市スポーツ施設条例
所在地	呉市広大新開1丁目7-1
施設概要	<メインアリーナ> ・面積 2,451 平方メートル（57m×43m） ・観客席 1,922 席 ・種目 バスケットボール3面、バレーボール4面、ハンドボール2面、バドミントン12面、卓球32台（公式27台） <サブアリーナ> ・面積 640 平方メートル（32m×20m） ・種目 バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン4面、卓球10台（公式7台） <武道場> ・面積 720 平方メートル（36m×20m） ・観客席 150 席 ・種目 柔道2面、剣道2面 <トレーニングルーム> ・面積 1室 241 平方メートル ・定休日 毎週水曜日、年末年始（12月29日～1月3日） ・利用時間 平日 9時30分～20時30分（受付20時まで） 日祝日 9時30分～17時30分（受付17時まで）
利用時間	午前9時～午後9時
定休日	第3水曜日

施設名	呉市総合スポーツセンター
設置根拠	呉市総合スポーツセンター条例
所在地	呉市郷原町字ワラヒノ山地内
施設概要	<陸上競技場> ・トラック：400m×8レーン 全天候舗装（日本陸上競技連盟第3種公認） ・面積（フィールド：天然芝） 105m×68m ・利用可能種目 陸上競技、サッカー ※夜間照明あり ・観客席 固定席 1,023 席、芝スタンド約 1,000 人収容・ <多目的グラウンド> ・面積 166m×136m ・利用可能種目 サッカー、グラウンド・ゴルフなど ※夜間照明あり <野球場> ・面積 両翼 98m、中堅 122m ・利用可能種目 硬式野球、軟式野球 ※夜間照明あり <テニスコート> ・全天候10面、壁打ちコート ※夜間照明あり <弓道場> ・近的：6 射場（28m） 遠的：3 射場（60m）
駐車場	500 台
開設日	平成元年3月1日 マツダ健保スポーツセンターとして開所 平成17年4月1日 呉市総合スポーツセンターとして開所
利用時間	9時～21時
定休日	月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

Ⅲ 資料編

備 考	<施設の予約方法> ①大会目的 呉市内の団体が主催する大会は利用希望日6か前の1日（ただし、4～8月分は2月1日）から、呉市外の団体が主催する大会は利用希望日4か月前の1日（ただし、4～6月分は2月1日）から受け付け ②練習目的 （1）利用希望日前月の1日～10日までに窓口又はインターネットで予約申請（受け付けた申請は調整） （2）利用希望日前月の16日以降は随時ご予約が可能 （3）利用日の7日前から電話での予約が可能 ③個人使用 個人使用は予約不可。専用使用がない時間は利用可能
-----	---

施設名	呉市体育館【IHIアリーナ呉】
設置根拠	呉市スポーツ施設条例
所在地	呉市中央4丁目1-1
施設概要	<メインコート> ・面積 1,681 平方メートル（41m×41m） ・観客席 2,700 席 ・利用可能種目 バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトバレー、ハンドボール、太極拳、剣道など <サブコート> ・面積 225 平方メートル（25m×9m） ・利用可能種目 卓球（6台）、少林寺拳法、ダンス、展示会など
駐車場	94 台、思いやり駐車場3台
開設日	昭和 39 年施工、平成 30 年 10 月リニューアルオープン
利用時間	午前 9 時～午後 9 時

施設名	呉市二河野球場（鶴岡一人記念球場）
設置根拠	呉市スポーツ施設条例
所在地	呉市二河町地内
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造） 地上 4 階（一部 5 階）建
面 積	13,165 平方メートル
施設概要	本塁～センター間 122 メートル 本塁～両翼間 97.5 メートル 本塁～バックネット間 20 メートル 座席数 内野 9,900 席（うち身体障害者席 8 席） 外野 5,100 席 ・磁気反転式表示スコアボード、夜間照明設備 ・グラウンド、会議室、ブルペン、更衣室、シャワー室、給湯器室、記者室、本部室、放送席、貴賓室
駐車場	約 70 台
開設日	昭和 26 年 10 月竣工（平成 4 年 12 月改修）
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
定休日	年末年始（12/29～1/3）

Ⅲ 資料編

備 考	※予約はスポーツ会館窓口で受付 ▼大会目的での使用 呉市内の団体が主催する大会は利用希望日6か月前の1日（ただし、4月～8月分は2月1日）から、呉市外の団体が主催する大会は利用希望日4か月前の1日（ただし、4～6月分は2月1日）から受け付け。 ▼練習目的（練習試合含む）での使用 利用希望日前月の1日から10日の間に申請を受け付け、11日から15日の間に調整を行う。調整結果は、16日以降に確認できる。 それ以降の申請は、先着順で受け付け。
-----	---

② 竹原市

施設名	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド【ピースリーホーム バンブー総合公園】
設置根拠	竹原市都市公園設置及び管理条例
所在地	竹原市高崎町
面 積	約 36.6 ヘクタール
施設概要	＜体育館＞ ・メインアリーナ、トレーニングルーム、会議室（2 室）、更衣室、管理事務室 ・利用時間 8 時 30 分～21 時 30 分 ＜多目的グラウンド＞ ・面積 18,000 平方メートルの土のグラウンドで、サッカーやラグビー、ソフトボール（2 面）などに利用可能 ・利用時間 8 時 30 分～18 時（1 月～3 月、10 月～12 月） 8 時 30 分～19 時 30 分（4 月～9 月） ＜テニスコート＞ ・人工芝コート 4 面、クレーコート 4 面、練習コート 1 面 ・利用時間 8 時 30 分～21 時 30 分 ※その他、施設内にはドッグラン（面積約 750 平方メートル）、野外劇場（屋外ステージ及び芝生スタンド）、竹野の館（展示室、和室）がある。
駐車場	355 台（身体障害者用 8 台、バス 7 台）
開設日	1994 年 3 月（体育館は同年 10 月に開館）
定休日	月曜日（月曜日が祝祭日の場合は水曜日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）
備 考	【年間予約利用】 前年度 12 月期日までに使用希望日を提出後、利用者調整会議を開催し、使用日を決定する。予約は大会・イベントのみ可能とし、1 団体につき年間 24 回まで。 【年間定期予約利用】 前年度 12 月期日までに使用希望日を提出後、年間予約利用の日程確定後に決定。 【一般利用】 使用日の 3 か月前から予約可能。

③ 三原市

施設名	三原運動公園【やまみ三原運動公園】
設置根拠	三原市都市公園条例
所在地	三原市沼田東町釜山 10253 番地 1
施設概要	＜陸上競技場＞ ・グラウンド：トラック 1 周 400m8 コース ・収容人数：メインスタンド 1,447 人、芝生スタンド 6,480 人 ＜市民球場＞ ・グラウンド：両翼 93m、中央 120m ※ナイター設備あり（照明灯 6 基） ・収容人数：バックネット裏 1,980 人、内野スタンド 1,350 人、外野スタンド 2,560 人

Ⅲ 資料編

施設概要	＜テニスコート＞ ・コート：全天候型人工芝 10 面、練習コート 1 面（軟・硬式両用）※ナイター設備あり（14 基 80 灯） ・観客席：1,438 人 ＜多目的広場＞ ・面積：9,500 平方メートル ※ジョギングコース 550m、遊具、相撲場、四阿 ＜スポーツ広場＞ ・グラウンド 6,210 平方メートル ＜スケートパーク三原（無料）＞ ・スケートボード・BMX・インラインスケート等ストリートスポーツのための広場。これら以外の使用は禁止。ナイター設備あり。
駐車場	434 台
開設日	昭和 62 年
利用時間	8 時～21 時

施設名	三原リージョンプラザ
設置根拠	三原リージョンプラザ設置及び管理条例
所在地	三原市円一町二丁目 1 番 1 号
施設概要	・体育館 2,096 平方メートル、観覧席：固定 306 席、移動 1,150 席 ・副体育館 467 平方メートル ・弓道場 72 平方メートル（5 人立） ・温水プール 25m×6 コース（観覧席 35 席） ※その他、トレーニング室あり。
駐車場	なし。ただし、市営駐車場が隣接している。
開設日	昭和 59 年 7 月 16 日
利用時間	9 時～21 時 30 分 ※プールなど一部は利用時間が異なる。
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日 ※温水プールは毎月最後の火曜日は休館

④ 三次市

施設名	三次市みよし運動公園
設置根拠	三次市都市公園設置及び管理条例
所在地	三次市東酒屋町 10493 番地
施設概要	＜陸上競技場＞ ・トラック：全天候型 400m トラック 8 レーン ※夜間照明あり（4 基） ・日本陸上競技連盟第 2 種公認陸上競技場 ・インフィールド：天然芝 約 106m×71m ・収容人数：約 10,000 人 ＜野球場【電光石火きんさいスタジアム三次】＞ ・グラウンド面積：約 12,800 平方メートル 両翼 100m、中堅 122m ・内外野人工芝（ロングパイル人工芝）及びアンツーカー ・照明灯 4 基（最大 2,000Lx） ・収容人数：約 16,000 人 ＜テニスコート＞ ・コート：全面砂入り人工芝 12 面（屋内 4 面、屋外 8 面） ・夜間照明（屋外 8 面） 屋内 4 面は公式競技可能 ＜運動広場＞ ・グラウンド：約 170m×約 120m、マサ土舗装、照明 6 基 ・少年サッカーコート 4 面、一般サッカーコート 2 面、ソフトボール 4 面

Ⅲ 資料編

施設概要	<スケートパーク> ・面積：約 2,000 平方メートル、照明灯 6 基 ・セクション A：6 基（クォーターランプやヒップクォーター等と呼ばれる鉄骨造りの構造物） ・セクション B：7 種類（バンク等と呼ばれるコンクリート構造物） <酒屋体育館> ・アリーナ面積 896 平方メートル（32m×28m） ・バスケットコート 1 面、バレーコート 2 面、テニスコート 1 面、バドミントンコート 3 面 <東酒屋水泳プール> ・25m×10m 5 コース、水深 90 センチメートル ・定休日：9 月 1 日～翌年 7 月 20 日 ・営業時間 13 時～17 時
利用時間	8 時 30 分～22 時
定休日	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

施設名	広島県立みよし公園【電光石火みよしパーク】
設置根拠	広島県都市公園条例
所在地	三次市四拾貫町神田谷
施設概要	<カルチャーセンター（アリーナ）> ・フロア面積：約 1,900 平方メートル、観覧固定席約 1,000 席 ・利用方法：各種スポーツ（練習・大会）、講演会、展示会など <パークゴルフ場> ・全長 714m、Aコース（9 コース）・Bコース（9 コース）全 18 ホール <テニスコート> ・砂入り人工芝コート 2 面。夜間照明設備あり。 <温水プール> ・一般プール：【8 コース】25m×17m。水深 115～135cm（入出水用スロープ、ステップ有り）日本水泳連盟 2 種公認。観客席あり。 ・幼児プール：12m×3.5m、水深 55～65cm <自由広場（無料）> ・専用広場面積：1,100 平方メートル ・スケートボード、ローラースケート、BMX、ラジコンなどの利用可 ※その他、トレーニング室あり。
駐車場	475 台
開設日	平成 13 年（2001 年）
利用時間	9 時～21 時
定休日	水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

⑤ 大竹市

施設名	大竹市総合体育館
設置根拠	大竹市総合市民会館条例
所在地	大竹市立戸 1 丁目 6-1
構造	2 階建
面積	延床面積 4,619 平方メートル

Ⅲ 資料編

施設概要	・競技場 1,428 平方メートル ・武道場 386 平方メートル ・卓球室 128 平方メートル ・トレーニング室 130 平方メートル ※その他、研修室（86 平方メートル）あり。
駐車場	あり
開設日	昭和 55 年 3 月（1980 年）
利用時間	月～土曜：8 時 40 分～22 時（使用時間は 9 時～21 時 30 分） 日曜日：8 時 40 分～17 時（使用時間は 9 時～16 時 30 分）
定休日	祝日、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

⑥ 東広島市

施設名	東広島運動公園
設置根拠	東広島市都市公園条例
所在地	東広島市西条町田口 6 7-1
施設概要	＜体育館（メインアリーナ）＞ ・オープン／平成 4 年 7 月 19 日 ・面積：2,240 平方メートル（40m×56m） ・ソフトテニス 3 面、バスケットボール 2 面、バレーボール 3 面、バドミントン 12 面、ハンドボール 2 面、卓球 39 台 ・観客席 固定：1,384 席／移動：1,296 席 ＜体育館（サブアリーナ）＞ ・面積：761 平方メートル（20.7m×36.8m） ・バレーボール 1 面、バスケットボール 1 面 ＜体育館（武道館）＞ ・面積：608 平方メートル（19m×32m） ・剣道、柔道 ※体育館には、その他トレーニングルーム、ランニングロード、会議室あり。 ＜陸上競技場＞ ・オープン／平成 7 年 6 月 4 日 ・グラウンド面積／22,700 平方メートル ・日本陸上競技連盟第 2 種公認競技場 ・施設／トラック、フィールド、更衣室、運営本部室、雨天練習場 ・収容人員 メインスタンド約 2,200 人、芝生スタンド約 5,200 人 ・トラック 全天候塗装（青）100m 直線 10 レーン、400m トラック 9 レーン ・フィールド 芝（107.0m×72.8m）陸上競技の跳躍及び投てき種目、サッカーコート、ラグビーコート ＜野球場＞ ・オープン／平成 9 年 5 月 ・収容人員 内野席約 2,150 人、外野席約 1,650 人 ・グラウンド面積：13,148 平方メートル、両翼 100m、中堅 122m ・内野：クレー舗装、外野：天然芝 ＜多目的第 1・第 2 グラウンド＞ 【第 1】面積／10,500 平方メートル、利用時間 9 時～21 時 【第 2】面積／14,780 平方メートル、利用時間 9 時～日没（照明灯なし） ＜グラウンド・ゴルフ場＞ ・オープン／令和 5 年 7 月 24 日 ・面積：全面天然芝 7,300 平方メートル ・8 ホール×2 面（標準コース：15m×2、25m×2、30m×2、50m×2） ＜フットサルコート＞ ・オープン／令和 6 年 10 月 21 日 ・面積：5,050 平方メートル、全面人工芝 3 面（20m×38m）

Ⅲ 資料編

施設概要	<フットサルコート> ・オープン/令和6年10月21日 ・面積:5,050平方メートル、全面人工芝3面(20m×38m) <テニスコート> ・屋内コート(屋根付き、照明あり) ・屋外コート(照明なし) <スケートボード場(無料)> ・オープン/平成16年3月27日 ・敷地面積/600㎡ ・施設/クォーターパイプ、バンク、ピラミッド、レッジ ・料金無料 ・使用可能時間 9時~21時
駐車場	あり
利用時間	9時~21時 ※屋外テニスコート、フットサルコートは照明なしのため、時期によって終了時間が17時~19時の間で変わる。
定休日	なし(年中無休)

⑦ 廿日市市

施設名	廿日市市スポーツセンター(サンチェリー)【グローバルリゾート総合スポーツセンター】
設置根拠	廿日市市公園条例
所在地	廿日市市串戸6丁目1番1号
構造	地上5階、地下1階、PH1階
面積	建築面積4,198平方メートル、延床面積12,220平方メートル
施設概要	<メインアリーナ> ・面積 2,158平方メートル ・設備 バスケットボール3面/バレーボール3面/バドミントン12面/ハンドボール1面/柔道4面/卓球16台/放送室/控室/固定席768席/可動席752席/ランニングコース1周約200m ・通常個人利用種目 バドミントン/卓球/ミニテニス/インディアカ/ソフトバレーボール/エスキーテニス <サブアリーナ> ・面積 573平方メートル ・設備 バスケットボール1面/バレーボール1面/バドミントン3面 ・通常個人利用種目 バスケットボール <武道場> ・面積 556平方メートル ・設備 柔道1/剣道1面/放送室/控室/会議室 <トレーニング室> ・面積 338平方メートル ・設備 体力測定室/トレーニング機器39種類/45人程度 <温水プール> ・面積 791平方メートル ・設備 25m×6コース/小プール/歩行用プール/採暖室/観覧席44席(1階)/車椅子用/歩行用プール <多目的広場(峰高公園多目的広場)> ・面積 約7,000平方メートル ・設備 クレー舗装/施設照明(12灯×6基) ・主な利用用途 サッカー/レクリエーション等
駐車場	あり
開設日	1994年(平成6年)6月
利用時間	8時30分~21時30分
定休日	毎月第1水曜日

Ⅲ 資料編

施設名	佐伯総合スポーツ公園
設置根拠	廿日市市公園条例
所在地	廿日市市津田 545 番地
施設概要	＜体育館＞ ・面積 3,085 平方メートル ・アリーナ（43x34m）／トレーニングルーム／ミーティングルーム／シャワールーム／更衣室 ＜陸上競技場（サッカー場）＞ ・面積 22,242 平方メートル ・設備 1 周 400m・8 コース／クレー舗装／サッカーコート 1 面（芝生 96x68m）／ナイター設備有り／収容人員 椅子席 360 人 ＜野球場＞ ・面積：16,175 平方メートル ・センター120m／両翼 92m／照明設備（6 基 70 灯（LED））／電光掲示板（LED 表示部 縦 4.8m×横 12.8m、映像表示可能）／客席 バックネット裏観客席（520 席（屋根付き））、スタンド席（300 席（一塁側・三塁側））、芝生エリア（一塁側・三塁側）／諸室（更衣室、選手ロッカー、監督室、シャワー室、本部室、トレーナー室） ＜テニスコート＞ ・面積 6,719 平方メートル ・砂入り人工芝コート 4 面（硬式、軟式）／ナイター設備有り（A・B コート）
駐車場	あり
利用時間	9 時～21 時 30 分
定休日	年中無休

施設名	廿日市市サッカー場【三共ディスプレイグリーンフィールド】
設置根拠	廿日市市公園条例
所在地	廿日市市地御前北一丁目 2 番 1 号
面 積	9,461 平方メートル
施設概要	・フィールド：人工芝サッカー場／メイングラウンド 1 面（小人用サッカーコート 2 面またはフットサルコート 4 面） ・メイングラウンド面積 8,812 平方メートル ・サブグラウンド面積 649 平方メートル ・メイングラウンド照明 6 基（1 基／1kW 10 灯） ・サブグラウンド照明 2 基（1 基／1kW 3 灯）
駐車場	あり
開設日	平成 19 年 6 月
利用時間	9 時～21 時 30 分
定休日	年中無休

⑧ 安芸高田市

施設名	吉田運動公園
設置根拠	安芸高田市吉田運動公園設置及び管理条例
所在地	広島県安芸高田市吉田町相合 555-1
施設概要	・体育館（アリーナ） 1,306 平方メートル ・エアロビクスルーム 167 平方メートル ・多目的スポーツ広場（グラウンド・テニスコート） 14,515 平方メートル

Ⅲ 資料編

駐車場	132 台
利用時間	9 時～21 時 30 分（火曜～土曜） 9 時～17 時 30 分（日曜・祝日）
定休日	月曜日（祝日の場合は翌日）、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	安芸高田市サッカー公園
設置根拠	安芸高田市吉田運動公園設置及び管理条例
所在地	広島県安芸高田市吉田町西浦 10187-1
施設概要	①サッカーコート 3 面（天然芝 2 面、人工芝 1 面） ・天然芝 2 面⇒サンフレッチェ広島専有（サンフレッチェ広島の練習を見学可） ・人工芝 1 面（照明設備完備）⇒一般利用可能 ②管理棟 ・クラブハウス ・トレーニングルーム⇒サンフレッチェ広島専有
駐車場	160 台 ※その他臨時駐車場 80 台あり
開設日	1998 年 11 月
利用時間	8 時 30 分～21 時 30 分（月曜～土曜・祝日、水曜日を除く。） 8 時 30 分～17 時 30 分（日曜・祝日の水曜）
定休日	水曜日（祝日の場合は翌日）、12 月 29 日～1 月 3 日
備 考	＜人工芝グラウンドの予約方法＞ ・利用希望日の 3 か月前の月（市民以外の一般利用は前の月）から、直接窓口またはお電話で問合せが可能。 ・ただし、利用の可否はサンフレッチェ広島ユース及びジュニアユースの利用予定調整後（前月中旬頃）の回答となる。 ・土・日・祝日を一月にまとめて予約することは不可。

⑨ 江田島市

施設名	江田島市スポーツセンター
設置根拠	江田島市スポーツセンター設置及び管理条例
所在地	江田島市能美町中町 3699 番地 2
構 造	R C 造 2 階建
面 積	敷地面積 5,045 平方メートル、延床面積 3,944 平方メートル
施設概要	・体育館（アリーナ、柔道場、トレーニングルーム）
駐車場	あり
開設日	平成 6 年 9 月
利用時間	10 時～22 時（平日）、10 時～17 時（日・祝日）
定休日	水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

⑩ 府中町

施設名	揚倉山健康運動公園【WACTORYパーク揚倉山】
設置根拠	府中町都市公園条例
所在地	広島県安芸郡府中町山田五丁目 5 番 1 号
施設概要	・南エリア（上段）：多目的スポーツ広場（人工芝、照明あり）、テニスコート 3 面 ・北エリア（下段）：多目的スポーツ広場（土、照明なし）
駐車場	あり

Ⅲ 資料編

開園時間	7時～21時 ※北エリア（下段）は、7時～18時（4月～9月）、7時～17時（10月～3月）
備 考	<多目的スポーツ広場の予約受付> ・使用日の1か月前から当日の午後5時15分まで予約受付 ・窓口受付⇒予約開始日の午前8時30分から ・電話受付（仮予約）⇒予約開始日の午前9時30分から ・インターネット予約（仮予約）⇒予約開始日の午前9時30分から

⑪ 海田町

施設名	海田総合公園
設置根拠	海田町公園条例
所在地	広島県安芸郡海田町東海田字蟻ヶ原
施設概要	<テニスコート> ・コート：砂入り人工芝6面 ※夜間照明あり ・利用時間：8時～21時 <野球場> ・両翼約90m、センター約100m ・硬式、軟式、ソフトボールの利用可 ・利用時間：8時～17時（9月～4月）、8時～18時（5月～8月） <サブグラウンド> ・グラウンドゴルフ、フットサルなどに利用可 ・利用時間：8時～17時（9月～4月）、8時～18時（5月～8月） <多目的広場> ・広さ：約100m×約120m ・サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、陸上競技、イベントなどに利用可 ・利用時間：8時～17時（9月～4月）、8時～18時（5月～8月）
駐車場	あり
利用時間	8時～21時
定休日	年末年始（12月28日～1月4日）

⑫ 熊野町

施設名	熊野町民体育館
設置根拠	熊野町社会体育施設等設置及び管理に関する条例
所在地	広島県安芸郡熊野町川角五丁目10番1号
施設概要	・利用は1/6はバドミントン・卓球、1/3はバレーボール、2/3はバスケットボールが目安
駐車場	あり
利用時間	8時30分～21時30分 ただし、日曜日（あるいは、日曜日に続く連休最終日）は、8時30分～17時15分
定休日	年末年始（12月29日～1月3日）
備 考	利用予約の開始は、使用日の1か月前から。

⑬ 坂町

施設名	坂町B & G海洋センター
設置根拠	坂町B & G海洋センター条例
所在地	広島県安芸郡坂町北新地一丁目2番75号

Ⅲ 資料編

施設概要	・体育館・第2体育館：9時～21時30分 ・グラウンド：8時30分～21時30分 ・プール：5月1日～10月31日までの9時～21時30分
駐車場	あり
定休日	月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）
備 考	・予約は施設窓口、インターネットで申し込みが可 ・町内は、毎月10日から19日の間、3か月先の利用分をまとめて申込み可。ただし、申込みが被った場合は抽選。利用日の2か月前の1日に結果発表。 ・町外は、使用日の1か月前に当たる日から使用日まで利用申請可。

⑭ 安芸太田町

施設名	安芸太田町加計体育館
設置根拠	安芸太田町加計体育館条例
所在地	広島県山県郡安芸太田町加計 3838-1
施設概要	・バレーボールコート全3面、バドミントンコート全6面、卓球台の利用が可
駐車場	20台
利用時間	9時～22時（平日）、9時～17時（土日祝）
定休日	月曜日、12月29日～1月3日

⑮ 北広島町

施設名	北広島町豊平総合運動公園（どんぐり村）
設置根拠	北広島町豊平総合運動公園設置及び管理条例
所在地	広島県山県郡北広島町都志見 12609
施設概要	<総合体育館（とよひらウイング）> ・1階 トレーニングルーム、ミーティングルーム、更衣室、シャワー室 ・2階 アリーナ（バレー、フットサル、卓球、バドミントン）、ビリヤード（1台）、本庫 ・3階 観覧席 <野球場（どんぐりスタジアム）> ・利用時間：9時～17時 ※冬期間（12月～2月）は閉場 <多目的広場> ・平日はグラウンド・ゴルフコースを2コース設置 ・土日祝はソフトボールやサッカーなどに利用可 ・利用時間：9時～17時 ※冬期間（12月～2月）は閉場 <プール（どんぐりプール）> ・25m プール（5レーン）・幼児プール ・オープン期間 7月～8月末 ※水温によって営業できない日あり。 <テニスコート> ・砂入り人工芝 6面 ※夜間照明あり ・利用時間：9時～21時30分（日・祝日 17時まで）※冬期間（12月～2月）は閉場 <ゲートボール場> ・ゲートボール場（屋根あり）でもある施設で、バーベキューをはじめ、球技やしクリエーション、イベントなど多目的に利用可 ・利用時間：9時～21時30分（日・祝日 17時まで）
駐車場	普通車 400台、大型車 20台
利用時間	9時～22時まで（日・祝日 17時まで）
定休日	木曜日

Ⅲ 資料編

施設名	千代田運動公園
設置根拠	北広島町千代田運動公園設置及び管理条例
所在地	広島県山県郡北広島町壬生字西谷 500
施設概要	＜総合体育館＞ ・構造：鉄筋コンクリート造 地上 2 階建 ・面積：延床面積 4,090 平方メートル（アリーナ 57m×32m） ・観覧席：固定 772 席（2 階席） ・バレーボール 4 面、バスケットボール 3 面、バドミントン 6 面、ランニングコース（2 階）、卓球、体操、ソフトバレー など
施設概要	＜野球場＞ ・外野芝生、両翼 96m、センター120m ※夜間照明あり。 ・冬期間（12 月～2 月）は閉場 ＜多目的広場＞ ・面積：18,208 平方メートル（サッカー105m×68m、ホッケー91.4m×55m） ・400mトラック 7 コース、槍投げ、砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げ、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、走り幅跳び その他 ・冬期間（12 月～2 月）は閉場 ＜少年サッカー場＞ ・面積：70m×75m、少年サッカー、各種競技、サブグラウンド ・冬期間（12 月～2 月）は閉場 ＜テニスコート＞ ・砂入り人工芝コート 4 面 ※2 面に夜間照明あり ＜温水プール＞ ・25 メートルプール（6 コース）／幼児用プール／ジャグジー／トレーニング室 ＜弓道場＞ ・遠的 6 人立ち、近的 6 人立ち、剣道、居合道など
駐車場	208 台
利用時間	9 時～22 時（日曜・祝日は 17 時まで）
定休日	木曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

施設名	北広島町大朝グラウンド
設置根拠	北広島町大朝グラウンド設置及び管理条例
所在地	広島県山県郡北広島町新庄 804 番地 1
面積	20,243 平方メートル
施設概要	・ロングパイル人工芝 ・一般サッカーコート（105m×68m）2 面 ※JFA 公認 ・8 人制サッカーコート（68m×50m）4 面
駐車場	35 台 ※その他臨時駐車場あり
利用時間	8 時～18 時
定休日	月曜日（祝日の場合は翌日）、8 月 13～15 日、12 月 30 日～1 月 3 日

⑩ 大崎上島町

施設名	西野屋内運動場
設置根拠	大崎上島町社会体育施設設置条例
所在地	広島県豊田郡大崎上島町原田 1128-4
施設概要	・体育館
定休日	年末年始

Ⅲ 資料編

⑪ 世羅町

施設名	世羅町中央スポーツ広場
設置根拠	世羅町スポーツ施設設置条例
所在地	広島県世羅郡世羅町大字川尻 1816-1
面積	19,086 平方メートル
施設概要	・グラウンド ※夜間照明（6 基 56 灯）あり。 ・ゲートボール場 1 面
開設日	平成元年

⑫ 岩国市

施設名	岩国運動公園
設置根拠	岩国市都市公園条例、岩国市運動施設条例
所在地	山口県岩国市平田 1-40-1
施設概要	<総合体育館（アリーナ）> ・フロア面積：2,304 平方メートル（36m×64m） ・観覧席：1 階収納席 1,872 席、2 階固定席 970 席 ・コート：バレーボール 4 面、バスケットボール 3 面、バドミントン 12 面、ハンドボール 3 面、卓球 36 台、テニス 3 面 <総合体育館（武道館）> ・フロア面積：1,260 平方メートル（35m×36m） ・観覧席：固定席 116 席 ・コート：柔道 4 面、剣道 4 面、空手道 4 面、柔剣道 4 面、フェンシング 4 面、少林寺拳法 4 面 <テニスコート> ・全天候型砂入り人工芝コート 16 面、練習コート 2 面 ※夜間照明あり。 ※その他トレーニングルーム、アーチェリー場、相撲場、屋内ゲートボール場あり。
駐車場	130 台 ※その他臨時駐車場 100 台あり。
利用時間	9 時～22 時
定休日	年末年始（12/29～1/3 年 4 回メンテナンス休園あり）

施設名	玖珂総合公園
設置根拠	岩国市都市公園条例、岩国市運動施設条例
所在地	山口県岩国市玖珂町 3800-1
施設概要	<人工芝グラウンド> ・敷地面積／人工芝 10,400 平方メートル ・全天候型人工芝グラウンド ・夜間照明 4 基 ・主な利用可能競技：サッカー 1 面、ホッケー 1 面、フットサル 4 面 <多目的グラウンド> ・敷地面積／10,600 平方メートル ・夜間照明 6 基 ・主な利用可能競技：サッカー 1 面、ホッケー 1 面、軟式野球 1 面、ソフトボール 1 面 <グラウンド・ゴルフ場> ・敷地面積／14,000 平方メートル ・コース／4 コース、32 ホール（日本グラウンド・ゴルフ協会認定）
駐車場	あり
利用時間	9 時～21 時
定休日	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

Ⅲ 資料編

施設名	愛宕スポーツコンプレックス
設置根拠	岩国市都市公園条例、岩国市運動施設条例
所在地	山口県岩国市愛宕町二丁目地内
施設概要	・野球場 ・ソフトボール場 2 面 ・陸上競技場 ・屋外テニスコート 4 面 ・屋外サンドバレーコート 2 面 ・屋外バスケットボールコート 2 面
駐車場	乗用車 625 台、バス 4 台
利用時間	9 時～21 時 ※施設全体の開園時間は 6 時 30 分～22 時 15 分
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日
備 考	・予約は利用日の 1 か月前から。ただし、スポーツの大会やイベント等の開催にあたり、事前に周知（募集）期間を要する場合など、施設の仮予約可 ・市外の人が利用する場合は、2 倍の料金 ・利用者の半数以上が市内の 18 歳以下の団体が使用する場合は、2 分の 1 の料金

⑪ 柳井市

施設名	柳井市体育館
設置根拠	柳井市体育館条例【バタフライアリーナ】
所在地	山口県柳井市柳井 3714 番地の 3
施設概要	<メインアリーナ> ・面積：1,477 平方メートル ・観覧席：901 席 ・用途：バスケットボール 2 面、バレーボール 2 面、ノハンドボール…1 面ノバドミントン(ソフトバレーボール)…10 面ノ卓球…20～30 面ノソフトテニス…2 面ノその他…体操・空手・剣道・フェンシング・レスリング・ボクシング等 <サブアリーナ> ・面積：327 平方メートル ・用途：卓球 10 面(ラージ兼用)、フェンシング等
駐車場	あり
開設日	昭和 51 年 11 月
利用時間	9 時～22 時
定休日	12 月 30 日～1 月 3 日

⑫ 周防大島町

施設名	周防大島町総合体育館
設置根拠	周防大島町総合体育館設置条例
所在地	山口県大島郡周防大島町大字西方 1958-77
施設概要	・アリーナ：バレーコート 3 面、バドミントンコート 6 面、ソフトテニスコート 1 面、柔剣道場 4 面 ・観覧席：482 席（1 階稼動席 308 席、2 階固定席 174 席）
駐車場	60 台
利用時間	9 時～21 時（月～木）、9 時～17 時（金土日祝）
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日

Ⅲ 資料編

㉑ 和木町

施設名	和木町体育センター
設置根拠	和木町運動施設条例
所在地	山口県玖珂郡和木町和木 1-3-13
施設概要	・アリーナ、庭球場
利用時間	9 時～21 時（平日・土曜日・祝日）、9 時～17 時（日曜日）
定休日	12 月 28 日～1 月 4 日

㉒ 上関町

施設名	町民体育館
設置根拠	—
所在地	上関町大字室津 342-1
施設概要	・体育室面積：1,080.00 平方メートル（36m×30m） ・バレーボール 2 面、バドミントン 2 面、インドアテニス 1 面、卓球 5 台
駐車場	約 40 台
開設日	昭和 57 年 12 月 20 日
利用時間	9 時～22 時（日曜日は 9 時～16 時）
定休日	月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

㉓ 田布施町

施設名	田布施町スポーツセンター【T A I K O スポーツセンター田布施】
設置根拠	田布施町スポーツセンター条例
所在地	山口県熊毛郡田布施町大字麻郷 1293-11
施設概要	・第一体育館（田布施町 B & G 海洋センター）（バレーボール 2 面、バドミントン 3 面） ・第二体育館（バスケット 2 面、バレーボール 3 面、バドミントン 6 面） ・グラウンド（軟式野球 1 面、ソフトボール 2 面） ・プール（25m6 コース、幼児プール） ・テニスコート（4 面） ・弓道場（近的 10 人立ち）
駐車場	289 台
利用時間	8 時 30 分～22 時
定休日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

㉔ 平生町

施設名	平生町体育館
設置根拠	平生町体育館の設置及び管理運営に関する条例
所在地	山口県熊毛郡平生町大字平生村 241-2
施設概要	・競技場
駐車場	あり
利用時間	9 時～22 時
定休日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

Ⅲ 資料編

㊼ 浜田市

施設名	浜田市東公園
設置根拠	浜田市都市公園条例、浜田市東公園運動施設条例
所在地	島根県浜田市黒川町 3739-1
施設概要	<陸上競技場> ・総面積：21,800 平方メートル ・メインスタンド：1 階 345 平方メートル、2 階 572 平方メートル ・芝フィールド（ティフトン 419）：10,991 平方メートル ・収容人員：5,000 人（メインスタンド 1,000 人、芝スタンド 4,000 人）
施設概要	<野球場> ・総面積：16,000 平方メートル ・グラウンド：12,000 平方メートル、中堅 120m、両翼 90m ・メインスタンド床面積：710 平方メートル（鉄筋コンクリート）、外野スタンド：620 平方メートル（芝生スタンド）、ナイター照明塔 4 基 ・収容人員：4,000 人（メインスタンド 1,600 人、内野スタンド 1,200 人、外野スタンド 1,200 人） <庭球場> ・総面積：3,232 平方メートル、競技場：2,953 平方メートル ・テニスコート 2 面、ソフトテニスコート 2 面、収容人員 200 人 <室内プール> ・25m×6 コース
駐車場	普通車 182 台、バス 3 台
利用時間	①陸上競技場・野球場・テニス場：8 時 30 分～21 時 ②室内プール：12 時～17 時
定休日	①陸上競技場・野球場・テニス場：火曜日、年末年始 ②室内プール：日曜日、年末年始（12/29～1/3）

施設名	サン・ビレッジ浜田
設置根拠	サン・ビレッジ浜田条例
所在地	島根県浜田市上府町イ 2457 番地
面 積	敷地面積 15,297 平方メートル、延床面積 2,526 平方メートル
施設概要	・スポーツ広場（サッカー場（人工芝）、フットサル場（人工芝）※夜間照明あり。 ・アイススケート場（面積 47m×30m、カーリングコート 4 面）
駐車場	193 台
開設日	平成 8 年 12 月 ※平成 16 年 4 月より浜田市が管理
利用時間	・スポーツ広場：9 時～21 時 ・アイススケート場：10 時～20 時（土・日・祝日は 9 時より、金・土は 20 時まで、日・祝日は 19 時まで）
定休日	水曜日、祝日の翌日（水曜日の場合は木曜日）、12 月 31 日、1 月 1 日
備 考	・スポーツ広場の利用予約は、利用開始の日の属する月の 1 月前 1 日から受け付け。 ・管理方法：市の直営（令和 4 年度から）※令和 3 年度までは指定管理者による管理

施設名	浜田市金城総合運動公園（ふれあいジム・かなぎ）
設置根拠	浜田市金城総合運動公園条例
所在地	島根県浜田市金城町七条イ 982

Ⅲ 資料編

施設概要	<総合体育館> ・延床面積：5,982 平方メートル ・使用時間：9 時～21 時 <多目的コート（テニス）> ・オムニコート（砂入人工芝コート）2,728 平方メートル ※夜間照明あり ・テニス（硬式・軟式）4 面、フットサル 1 面、ゲートボール 2 面 <多目的広場> ・面積 10,700 平方メートル（野球の場合センター120m、両サイド 90m） ・野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなど
駐車場	小型車 174 台、大型車 14 台
利用時間	8 時～21 時
定休日	月曜日（祝日・振替休日は開館）、12 月 29 日～1 月 3 日

施設名	浜田市三隅中央公園
設置根拠	浜田市都市公園条例、浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設条例
所在地	島根県浜田市三隅町古市場 589
施設概要	・陸上競技場：400m×8 コース、天然芝サッカー 1 コート、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤の各スペース 1 か所、観覧席 200 席 ・野球場：中堅 110m、両翼 87m、夜間照明あり 6 基、観覧席 500 席 ・テニス場：オムニコート（砂入り人工芝コート）4 面 ・多目的広場：115m×80m、サッカー、野球、グラウンドゴルフ、ゲートボール、イベント会場、駐車場として利用可 ・屋内プール：一般用：25m×6 コース、幼児用：10m×4m、観覧席 108 席
施設概要	・多目的運動場：アリーナ（30m×18m）、エアロビクス、柔道、剣道、卓球、バドミントン、軽スポーツ等に利用可。可動式観覧席あり。
駐車場	150 台
利用時間	・プール以外：火～土 9 時～21 時、日・月 9 時～17 時 ・プール：火～金 13 時～21 時、土 9 時～21 時、日 9 時～17 時
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日（プールのみ毎週月曜日も休み）

②⑥ 飯南町

施設名	頓原町民野球場
設置根拠	飯南町屋外運動場の設置及び管理に関する条例
所在地	飯南町佐見 1420 番地 3
利用時間	8 時 30 分～21 時 30 分
定休日	※休場 12 月～3 月

②⑦ 川本町

施設名	川本町民体育館
設置根拠	川本町体育施設設置及び管理に関する条例
所在地	島根県邑智郡川本町大字川本川本 2297-19
駐車場	あり

Ⅲ 資料編

⑳ 美郷町

施設名	浜原体育館
設置根拠	美郷町民体育館及び町民広場条例
所在地	島根県邑智郡美郷町浜原
駐車場	あり

㉑ 邑南町

施設名	いわみスタジアム
設置根拠	邑南町グラウンド等施設条例
所在地	邑智郡邑南町大字矢上 7079-1
施設概要	・ 野球場：両翼 98m、中堅 122m、収容人数 7,000 人 ※夜間照明あり。
駐車場	200 台
利用時間	8 時～22 時

Ⅲ 資料編

(3) 広島県内の施設 ※広島広域都市圏内の施設を除く。

① 福山市

施設名	福山市総合体育館【エフピコアリーナ】
設置根拠	福山市総合体育館条例
所在地	福山市千代田町一丁目1番2号
構 造	RC造、SRC造、S造 2F
面 積	延床面積 16,238 平方メートル
施設概要	＜メインアリーナ＞ ・面積：約 2,600 平方メートル（約 65m×約 40m）、天井高 15m ・2階固定席約 2,100 席、1階壁面収納可動席約 900 席 ・ライブや講演会などでは、アリーナ面へ椅子を 2,000 席設置、最大 5,000 人収容可能 ・吊物荷重は条件により最大 20 トンまで ・耐床荷重は 2 トン車乗り入れ可能（総重量 4 トンまで）複数台数乗入れ可能 ・バスケットボール 3 面、バレーボール 3 面、テニス 3 面、バドミントン 16 面 ＜サブアリーナ＞ ・約 1,000 平方メートル（約 40m×約 25m） ・2 階固定席約 300 席 ＜武道場＞ ・柔道場（1 階）約 600 平方メートル、畳常設、約 70 人の観覧スペース ・剣道場（2 階）約 600 平方メートル、約 70 人の観覧スペース ＜クライミングウォール＞ ・ボルダリング壁：高さ 3m×幅 10m ・リード：高さ 15m×幅 5m ・スピード壁：高さ 15m×幅 3m ・使用は、小学生以上、時間は 9 時～19 時（6 月～8 月は、9 時～20 時） ＜スタジオ＞ ・約 220 平方メートル ・可動間仕切りにて 2 分割可 ※その他トレーニング室あり。
駐車場	約 360 台
開設日	令和 2 年 2 月
利用時間	9 時～22 時
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日
備 考	＜施設の予約方法＞ ・全面専用使用：使用予定日の前 6 月に当たる日から先着で受付 ・区分専用使用：バドミントンコートを除く ⇒使用予定日の前 1 月に当たる日から先着で受付 - バドミントンコートに限る ⇒使用予定日の前 3 日に当たる日から先着で受付 ・時間使用：使用予定日の前 5 日に当たる日から先着で受付

施設名	福山市緑町公園屋内競技場【福山通運ローズアリーナ】
設置根拠	福山市緑町公園屋内競技場条例
所在地	福山市緑町 2 番 2 号
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 2 階建、屋根鉄骨トラス造 ステンレス鋼板葺き
面 積	敷地面積：約 23,000 平方メートル、建築面積：5,982 平方メートル

施設概要	■夏季は50メートルプール、夏季以外はアリーナとして使用 <50メートルプール> ・開場期間：6月8日～9月15日 ※令和6年度の場合 ・利用時間（入れ替え制） - 午前の部 午前9時～午後0時20分 - 午後の部 午後1時～午後4時20分 - 夜間の部 午後5時～午後8時50分 ・50m×23.5m、水深0m～3.1m、9コース ・公益財団法人日本水泳連盟公認 <アリーナ> ・開場期間：10月8日～翌年5月19日 ※令和5年度の場合 ・広さ70m×40m、天井高15m～19m ・バレーボール・テニス4面、バスケットボール3面、バドミントン12面 <飛込プール> ・開場期間：通年（4月1日～翌年3月31日） ・22m×20m×水深5m ・飛込台：5m、7.5m、10m、飛び板：1m、3m ・公益財団法人日本水泳連盟公認 <観客席> ・収容人員：スタンド固定席：2,540席 特別席：15席 車椅子席：6席 アリーナ椅子席：2,300席
駐車場	95台
供用開始日	平成7年（1995年）7月1日
開場時間	9時～22時
定休日	12月29日～1月3日
備考	<予約方法> ・専用使用：使用希望日の前6月に当たる日から先着で受付 ・区分使用・コース専用：使用希望日の前1月に当たる日から先着で受付 ・時間使用：アリーナ時 ⇒使用希望日の前5日に当たる日から先着で受付 50メートルプール時 ⇒使用希望日の前1月に当たる日から先着で受付 ・個人使用：アリーナ時 ⇒使用希望日の当日午前8時30分から先着で受付 50メートルプール時 ⇒専用使用のない区分及び時間帯に遊泳可。完全入替制

施設名	竹ヶ端運動公園
設置根拠	福山市都市公園条例
所在地	福山市水呑町4748番地
施設概要	<陸上競技場【福山通運ローズスタジアム】> ・面積：18,800平方メートル ・トラック：400m、8レーン、全天候型ウレタン舗装 ※夜間照明あり ・フィールド：天然芝、107.5m×71m ・公益財団法人日本陸上競技連盟第2種公認 ・収容人員：メインスタンド席3,781席、バック・サイドスタンド芝生席6,300席 <野球場【エブリイ福山市民球場】> ・建築面積2,689平方メートル、延床面積3,052平方メートル ・構造：鉄筋コンクリート造2階建RFスタンド ・グラウンド面積：12,694平方メートル ※夜間照明あり。 ・センター120m、両翼90m ・セントラルリーグ公認 ・収容人員：メインスタンド席2,305席、内野席5,994席、外野芝生7,000席

Ⅲ 資料編

施設概要	<運動広場（補助競技場）> ・面積：4,300 平方メートル ・規模：200 メートルトラック（全面芝生） <弓道場> ・敷地面積：約 1,200 平方メートル、建築面積：289 平方メートル ・射場：211 平方メートル ・矢取通路：78 平方メートル ・構造：鉄骨造平家建 ・規模：近的6人立 <庭球場> ・砂入り人工芝コート20面（うち屋根付コート4面、夜間照明8面）
駐車場	約 500 台
開設日	昭和 49 年 5 月 1 日（野球場）、昭和 53 年 5 月 28 日（陸上競技場）、平成元年 1 月 16 日（庭球場）
利用時間	9 時～21 時
定休日	12 月 29 日～1 月 3 日

② 尾道市

施設名	向島運動公園
設置根拠	尾道市都市公園条例、尾道市向島運動公園条例
所在地	広島県尾道市向島町 11098-289
施設概要	<体育館（向島町 B & G 海洋センター体育館）> ・1 階は、バレーボール（1 面）、バスケットボール（1 面）、バドミントン（3 面）、ビーチボールバレー（3 面）などで使用可 ・2 階は、卓球、武道（柔道、剣道及び合気道など）、ダンスで使用可 <テニスコート> ・砂入り人工芝コート 8 面（うち 4 面は夜間照明あり） <多目的グラウンド> ・土のグラウンド（約 15,000 平方メートル）で、サッカーや軟式野球、ソフトボールなどで使用可。夜間照明あり。 <グラウンド・ゴルフ場> ・常設のグラウンド・ゴルフ場（天然芝）。夜間照明あり。 ※その他、多目的芝広場（天然芝）、プール（夏季のみ開放）、スケートパークあり。
駐車場	約 300 台
利用時間	8 時 30 分～21 時
定休日	月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

施設名	東尾道多目的競技場
設置根拠	尾道市東尾道多目的競技場設置及び管理条例
所在地	尾道市東尾道 19 番地 3
施設概要	・多目的芝広場：8,213 平方メートル（ロングパイル人工芝） ・グラウンド：約 15,000 平方メートル（土）
駐車場	あり
開設日	令和 5 年 4 月 1 日（人工芝を整備し、リニューアルオープン）
利用時間	7 時～17 時（4 月 1 日～9 月 30 日は 18 時まで）
定休日	月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

Ⅲ 資料編

備 考	<予約方法> ・平日を含むすべての日について、抽選により使用者を決定。 ・抽選申込は、「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」（予約システム）からのみ受付（抽選申込には利用者登録が必要）。 ・抽選申込は、使用希望日の2か月前から可能。 ・当選者は、使用日の1か月前までに、予約システムで申込操作。操作を行わない場合はキャンセルとなる。 ・抽選申込が無かった場合は、先着順で予約申込を受付（使用希望日の1か月前（午前9時00分受付開始）から3日前までの間）
-----	---

施設名	広島県立びんご運動公園【こさかなくんスポーツパークびんご】
設置根拠	広島県都市公園条例
所在地	広島県尾道市栗原町 997
面 積	87.6 ヘクタール
施設概要	<陸上競技場【ダッシュこさかなくん陸上競技場】> ・トラック：400m/8レーン（全天候型舗装）、日本陸上連盟第2種公認 ・フィールド：天然芝/107m×68m ・照明設備：4基（15%点灯と残置灯の2パターン可） ・観客席：メインスタンド/4,245人、芝生席/約5,000人 ・競技種目：陸上競技、サッカー、ラグビー等 <野球場【ぶんちゃんしまなみ球場】> ・グラウンド：面積（13,844平方メートル）、中堅120m、両翼96m、黒土（内野）、天然芝（外野）、甲子園球場と同じ形状 ・メインスタンド棟：鉄筋コンクリート造2階建、建築面積4,168平方メートル、延床面積4,480平方メートル ・照明灯：6基（内野4基、外野2基）、灯数：84灯/基 ・収容人員：15,000人～16,000人（ネット裏席2,949席、内野席約5,800席（うち芝席約450席）外野席最大7,000人、野球場会議室60名） <球技場【シュートこさかなくん球技場】> ・人工芝球技場 ・利用可能種目：サッカー・フットサル・ラグビー等（その他類似フィールド球技）のスポーツ ※人工芝を損傷しないもの <健康スポーツセンター【チャレンジこさかなくんアリーナ】> ・メインアリーナ：1,919平方メートル（51.6m×37.2m）、観客席1500席、バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン12面、ソフトテニス3面、卓球など ・サブアリーナ：713平方メートル（36.8m×19.4m）、バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン4面 ・トレーニング室：288平方メートル ・スタジオ：165平方メートル、エアロビクス、ダンス等に利用 <テニスコート【スマッシュこさかなくんテニスコート】> ・センターコート：ハードコート（デコターフ）2面、観客席2,000人 ・屋根付コート：砂入り人工芝コート4面 ・一般コート：砂入り人工芝コート12面（10面オープン、2面はシャドーコート） <プール【スイミーこさかなくんプール】> ・一般プール：25m×13m（6コース）、水深：1.15m～1.35m、1.35m～1.55mの2段階式 ・幼児用プール：20m×幅3～4m、水深：0.55m ・観客席（2階）：固定席44席
駐車場	あり
開設日	昭和58年度（1983年度）
利用時間	9時～21時
定休日	年中無休

Ⅲ 資料編

③ 府中市

施設名	府中市立総合体育館【ＴＴＣアリーナ】
設置根拠	府中市体育施設設置及び管理に関する条例
所在地	府中市土生町 416 番地 4
施設概要	<アリーナ> ・広さ：38.2m×45.2m（1,727 平方メートル） ・アリーナ収容人数：2,000 人、2階観覧席 652 席（その他観覧デッキ 200 人） ・バレーボール 競技用 1 面又は 2 面、バスケットボール競技用 1 面又は 2 面、バドミントン競技用 10 面、卓球競技用 24 面
駐車場	あり
竣工	1994 年 10 月
利用時間	8 時 30 分～21 時 30 分（日曜日は 8 時 30 分～17 時）
定休日	月曜日（祝日の場合のその翌日）、年末年始（12/29～1/3）

施設名	府中市上下人工芝第 1・2グラウンド
設置根拠	府中市体育施設設置及び管理に関する条例
所在地	府中市上下町上下 2400-1
施設概要	<人工芝第 1 グラウンド（大）> ・サッカーコート 1 面 ※夜間照明あり。 ・天然素材を充填剤に使用した JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ <人工芝第 2 グラウンド（小）> ・フットサルコート 3 面又はブラインドサッカーコート 1 面利用可
駐車場	あり
開設日	令和 6 年 4 月 29 日
利用時間	8 時 30 分～21 時 30 分（日曜日は 8 時 30 分～17 時）
定休日	月曜日（祝日の場合のその翌日）、年末年始（12/29～1/3）

④ 庄原市

施設名	庄原市西城総合運動公園
設置根拠	庄原市総合運動公園設置及び管理条例
所在地	庄原市新庄町 394 番地
面積	10 ヘクタール
施設概要	<陸上競技場> ・トラック：1 周 400m、9 コース ※夜間照明（4 基）あり。 ・フィールド：ティフトン芝 7,420 平方メートル ・第 3 種公認陸上競技場 ・観客席：1,001 席
駐車場	
開設日	平成 19 年（2007 年）
利用時間	8 時 30 分～21 時
定休日	水曜日

Ⅲ 資料編

施設名	庄原市総合体育館【さくらアーチ】
設置根拠	庄原市体育館設置及び管理条例
所在地	広島県庄原市西本町四丁目 3 番 2 号
構 造	鉄筋コンクリート 2 階建
面 積	敷地面積：7,936 平方メートル、建築面積：3,811 平方メートル、延床面積：5,176 平方メートル
施設概要	・アリーナ ・武道場
駐車場	59 台
利用時間	9 時～21 時 30 分（土日祝日は 8 時 30 分開館、12/1～2 月末は 21 時閉館）
定休日	12/29～1/4

Ⅲ 資料編

2 各施設の使用状況

■大体育室（中区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 77 日、開館時間 924 時間、使用時間 924 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 30 日、開館時間 360 時間、使用時間 360 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 27 日（開館日数に対する割合 35.1%）、土日祝 21 日（70.0%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	168 時間(18.2%)	19 件(67.9%)	5,567 人(25.8%)
うち土日祝	141 時間(39.2%)	16 件(76.2%)	4,917 人(48.8%)
②一般専用使用	59 時間(6.4%)	9 件(32.1%)	1,915 人(8.9%)
うち土日祝	44 時間(12.2%)	5 件(23.8%)	940 人(9.3%)
③一般開放（個人利用）	697 時間(75.4%)		14,071 人(65.3%)
うち土日祝	175 時間(48.6%)		4,230 人(41.9%)
計	924 時間(100%)	28 件(100%)	21,553 人(100%)
うち土日祝	360 時間(100%)	21 件(100%)	10,087 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※中区スポーツセンターは、耐震改修のため令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 12 月 28 日は休館
 ※各区スポーツセンターにおいては、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13 時）」、「午後（13 時～17 時）」、「夜間（17 時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	56 時間(24.7%)	6 件(21.4%)	1,680 人(22.5%)
②バレーボール	55 時間(24.2%)	6 件(21.4%)	1,365 人(18.2%)
③ハンドボール	30 時間(13.2%)	4 件(14.3%)	450 人(6.0%)
④ソフトバレーボール	20 時間(8.8%)	2 件(7.1%)	840 人(11.2%)
⑤体操	9 時間(4.0%)	1 件(3.6%)	250 人(3.4%)
⑥卓球	8 時間(3.5%)	1 件(3.6%)	300 人(4.0%)
⑦インディアカ	8 時間(3.5%)	1 件(3.6%)	100 人(1.4%)
⑧相撲	4 時間(1.8%)	1 件(3.6%)	900 人(12.0%)
⑨剣道	4 時間(1.8%)	1 件(3.6%)	600 人(8.0%)
⑩その他	33 時間(14.5%)	5 件(17.8%)	997 人(13.3%)
計	227 時間(100%)	28 件(100%)	7,482 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■大体育室（東区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 296 日、開館時間 3,631 時間、使用時間 3,631 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 113 日、開館時間 1,386 時間、使用時間 1,386 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 158 日（開館日数に対する割合 53.4%）、土日祝 97 日（85.8%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	1,185 時間(32.6%)	128 件(77.1%)	48,867 人(44.4%)
うち土日祝	790 時間(57.0%)	89 件(91.8%)	32,825 人(63.7%)
②一般専用使用	268 時間(7.4%)	38 件(22.9%)	13,177 人(12.0%)
うち土日祝	64 時間(4.6%)	8 件(8.2%)	3,613 人(7.0%)
③一般開放（個人利用）	2,178 時間(60.0%)		47,921 人(43.6%)
うち土日祝	532 時間(38.4%)		15,112 人(29.3%)
計	3,631 時間(100%)	166 件(100%)	109,965 人(100%)
うち土日祝	1,386 時間(100%)	97 件(100%)	51,550 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※東区スポーツセンター（大体育室）は、G7広島サミット 2023 の関係者が5月に2週間程度使用していたため、当該期間を開館日数から除いている。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バレーボール	309 時間(21.3%)	33 件(19.9%)	11,597 人(18.7%)
②ハンドボール	283 時間(19.5%)	27 件(16.3%)	6,326 人(10.2%)
③柔道	191 時間(13.1%)	26 件(15.7%)	15,070 人(24.3%)
④卓球	179 時間(12.3%)	21 件(12.7%)	6,555 人(10.6%)
⑤バスケットボール	157 時間(10.8%)	16 件(9.6%)	4,320 人(7.0%)
⑥剣道	71 時間(4.9%)	8 件(4.8%)	3,000 人(4.8%)
⑦相撲	29 時間(2.0%)	2 件(1.2%)	6,000 人(9.7%)
⑧バドミントン	22 時間(1.5%)	2 件(1.2%)	610 人(1.0%)
⑨空手	16 時間(1.1%)	2 件(1.2%)	600 人(1.0%)
⑩ドッジボール	13 時間(0.9%)	2 件(1.2%)	780 人(1.0%)
⑪エスキーテニス	10 時間(0.7%)	2 件(1.2%)	500 人(0.8%)
⑫フットサル	9 時間(0.6%)	1 件(0.6%)	100 人(0.2%)
⑬ソフトバレーボール	7 時間(0.5%)	1 件(0.6%)	150 人(0.2%)
⑭バウンドテニス	2 時間(0.1%)	1 件(0.6%)	9 人(0.1%)
⑮その他	155 時間(10.7%)	22 件(13.2%)	6,427 人(10.4%)
計	1,453 時間(100%)	166 件(100%)	62,044 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■中体育室（南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 309 日、開館時間 3,787 時間、使用時間 3,787 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 309 日（開館日数に対する割合 100%）、土日祝 117 日（100%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	449 時間(11.9%)	54 件(4.6%)	7,390 人(16.4%)
うち土日祝	420 時間(29.3%)	48 件(10.9%)	6,106 人(35.3%)
②一般専用使用	2,566 時間(67.7%)	1,126 件(95.4%)	21,835 人(48.5%)
うち土日祝	645 時間(45.0%)	393 件(89.1%)	8,575 人(49.6%)
③一般開放（個人利用）	772 時間(20.4%)		15,761 人(35.1%)
うち土日祝	369 時間(25.7%)		2,600 人(15.1%)
計	3,787 時間(100%)	1,180 件(100%)	44,986 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	441 件(100%)	17,281 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	1,502 時間(49.8%)	645 件(54.7%)	13,386 人(45.8%)
②バドミントン	321 時間(10.7%)	141 件(11.9%)	2,805 人(9.6%)
③バレーボール	207 時間(6.9%)	79 件(6.7%)	1,752 人(6.0%)
④新体操	196 時間(6.5%)	94 件(8.0%)	1,912 人(6.6%)
⑤バウンドテニス	96 時間(3.2%)	48 件(4.1%)	416 人(1.4%)
⑥なぎなた	73 時間(2.4%)	11 件(0.9%)	435 人(1.5%)
⑦ソフトバレーボール	64 時間(2.1%)	16 件(1.4%)	709 人(2.4%)
⑧卓球	52 時間(1.7%)	6 件(0.5%)	265 人(0.9%)
⑨フットサル	48 時間(1.6%)	24 件(2.0%)	216 人(0.8%)
⑩ミニテニス	40 時間(1.3%)	5 件(0.4%)	347 人(1.2%)
⑪空手	34 時間(1.1%)	5 件(0.4%)	356 人(1.2%)
⑫ミニバスケットボール	28 時間(0.9%)	14 件(1.2%)	326 人(1.2%)
⑬ダンス	26 時間(0.9%)	2 件(0.2%)	240 人(0.8%)
⑭剣道	24 時間(0.8%)	3 件(0.3%)	450 人(1.5%)
⑮エスキーテニス	12 時間(0.4%)	2 件(0.2%)	100 人(0.3%)
⑯ホッケー	5 時間(0.2%)	5 件(0.4%)	100 人(0.3%)
⑰グラウンド・ゴルフ	4 時間(0.1%)	1 件(0.1%)	70 人(0.2%)
⑱ドッジボール	2 時間(0.1%)	1 件(0.1%)	25 人(0.1%)
⑲その他	281 時間(9.3%)	78 件(6.5%)	5,315 人(18.2%)
計	3,015 時間(100%)	1,180 件(100%)	29,225 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■中体育室（西区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 305 日（開館日数に対する割合 98.1%）、土日祝 112 日（95.7%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	378 時間(9.9%)	53 件(5.5%)	8,254 人(17.2%)
うち土日祝	369 時間(25.7%)	52 件(19.1%)	8,174 人(36.3%)
②一般専用使用	2,106 時間(55.3%)	911 件(94.5%)	19,067 人(39.8%)
うち土日祝	324 時間(22.6%)	220 件(80.9%)	6,159 人(27.4%)
③一般開放（個人利用）	1,351 時間(34.8%)	—	20,580 人(43.0%)
うち土日祝	741 時間(51.7%)	—	8,161 人(36.3%)
計	3,811 時間(100%)	964 件(100%)	47,901 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	272 件(100%)	22,494 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	580 時間(23.3%)	285 件(29.6%)	5,136 人(18.8%)
②バドミントン	414 時間(16.7%)	170 件(17.7%)	3,274 人(12.0%)
③ソフトバレーボール	302 時間(12.2%)	112 件(11.6%)	5,541 人(20.3%)
④卓球	225 時間(9.1%)	91 件(9.5%)	2,022 人(7.4%)
⑤新体操	177 時間(7.1%)	59 件(6.1%)	791 人(2.9%)
⑥剣道	176 時間(7.1%)	55 件(5.7%)	2,834 人(10.3%)
⑦バレーボール	143 時間(5.8%)	52 件(5.4%)	1,261 人(4.6%)
⑧ミニテニス	141 時間(5.7%)	45 件(4.7%)	971 人(3.5%)
⑨空手	56 時間(2.2%)	8 件(0.8%)	1,880 人(6.9%)
⑩ダンス	26 時間(1.0%)	4 件(0.4%)	895 人(3.3%)
⑪ミニバスケットボール	20 時間(0.8%)	9 件(0.9%)	243 人(0.9%)
⑫体操	16 時間(0.6%)	8 件(0.8%)	72 人(0.3%)
⑬エスキーテニス	9 時間(0.4%)	1 件(0.1%)	70 人(0.3%)
⑭インディアカ	7 時間(0.3%)	1 件(0.1%)	40 人(0.1%)
⑮エアロビクス	6 時間(0.2%)	4 件(0.4%)	60 人(0.2%)
⑯ドッジボール	4 時間(0.2%)	2 件(0.2%)	51 人(0.2%)
⑰その他	182 時間(7.3%)	58 件(6.0%)	2,180 人(8.0%)
計	2,484 時間(100%)	964 件(100%)	27,321 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■大体育室（安佐南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 149 日、開館時間 1,788 時間、使用時間 1,788 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 57 日、開館時間 684 時間、使用時間 684 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 43 日（開館日数に対する割合 28.9%）、土日祝 36 日（63.2%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	221 時間(12.3%)	26 件(68.4%)	5,974 人(17.1%)
うち土日祝	221 時間(32.3%)	26 件(86.7%)	5,974 人(41.6%)
②一般専用使用	80 時間(4.5%)	12 件(31.6%)	1,263 人(3.6%)
うち土日祝	29 時間(4.2%)	4 件(13.3%)	630 人(4.4%)
③一般開放（個人利用）	1,487 時間(83.2%)		27,750 人(79.3%)
うち土日祝	434 時間(63.5%)		7,743 人(54.0%)
計	1,788 時間(100%)	38 件(100%)	34,987 人(100%)
うち土日祝	684 時間(100%)	30 件(100%)	14,347 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※安佐南区スポーツセンター（大・小体育室）は、耐震改修のため令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 10 月 4 日は休館

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バドミントン	78 時間(25.9%)	9 件(23.6%)	1,153 人(15.9%)
②バレーボール	69 時間(22.9%)	8 件(21.0%)	1,906 人(26.3%)
③卓球	43 時間(14.3%)	5 件(13.2%)	1,120 人(15.5%)
④ソフトバレーボール	37 時間(12.3%)	5 件(13.2%)	1,308 人(18.1%)
⑤ミニテニス	32 時間(10.6%)	5 件(13.2%)	360 人(5.0%)
⑥バスケットボール	15 時間(5.0%)	2 件(5.3%)	600 人(8.3%)
⑦インディアカ	8 時間(2.7%)	1 件(2.6%)	150 人(2.1%)
⑧太極拳	6 時間(2.0%)	1 件(2.6%)	400 人(5.5%)
⑨その他	13 時間(4.3%)	2 件(5.3%)	240 人(3.3%)
計	301 時間(100%)	38 件(100%)	7,237 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■大体育室（安佐北区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,803 時間（稼働率 99.8%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 128 日（開館日数に対する割合 41.2%）、土日祝 107 日（91.5%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	956 時間(25.1%)	106 件(82.8%)	37,306 人(41.0%)
うち土日祝	841 時間(58.6%)	91 件(88.3%)	31,896 人(75.3%)
②一般専用使用	148 時間(3.9%)	22 件(17.2%)	4,245 人(4.7%)
うち土日祝	90 時間(6.3%)	12 件(11.7%)	1,705 人(4.0%)
③一般開放（個人利用）	2,699 時間(70.8%)		49,382 人(54.3%)
うち土日祝	503 時間(35.1%)		8,754 人(20.7%)
計	3,803 時間(99.8%)	128 件(100%)	90,933 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	103 件(100%)	42,355 人(100%)
④利用者なしの時間数	8 時間(0.2%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①卓球	288 時間(26.1%)	31 件(24.2%)	12,120 人(29.2%)
②バレーボール	189 時間(17.1%)	22 件(17.2%)	6,380 人(15.3%)
③バスケットボール	188 時間(17.0%)	21 件(16.4%)	5,956 人(14.3%)
④バドミントン	98 時間(8.9%)	10 件(7.8%)	2,680 人(6.4%)
⑤剣道	62 時間(5.6%)	6 件(4.7%)	2,980 人(7.2%)
⑥体操	44 時間(4.0%)	4 件(3.1%)	750 人(1.8%)
⑦新体操	38 時間(3.5%)	4 件(3.1%)	1,360 人(3.3%)
⑧空手	34 時間(3.1%)	5 件(3.9%)	2,770 人(6.7%)
⑨フットサル	29 時間(2.6%)	7 件(5.5%)	310 人(0.7%)
⑩吹矢	18 時間(1.6%)	2 件(1.6%)	231 人(0.6%)
⑪ハンドボール	10 時間(0.9%)	1 件(0.8%)	550 人(1.3%)
⑫ダンス	9 時間(0.8%)	1 件(0.8%)	450 人(1.1%)
⑬ソフトバレーボール	8 時間(0.7%)	1 件(0.8%)	120 人(0.3%)
⑭その他	89 時間(8.1%)	13 件(10.1%)	4,894 人(11.8%)
計	1,104 時間(100%)	128 件(100%)	41,551 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■大体育室（安芸区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 147 日（開館日数に対する割合 47.3%）、土日祝 88 日（75.2%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	655 時間(17.2%)	73 件(50.7%)	17,357 人(27.3%)
うち土日祝	569 時間(39.7%)	63 件(76.8%)	15,172 人(53.8%)
②一般専用使用	267 時間(7.0%)	71 件(49.3%)	3,705 人(5.8%)
うち土日祝	118 時間(8.2%)	19 件(23.2%)	2,039 人(7.2%)
③一般開放（個人利用）	2,889 時間(75.8%)		42,440 人(66.9%)
うち土日祝	747 時間(52.1%)		11,013 人(39.0%)
計	3,811 時間(100%)	144 件(100%)	63,502 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	82 件(100%)	28,224 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①卓球	228 時間(24.7%)	25 件(17.4%)	4,785 人(22.7%)
②バスケットボール	215 時間(23.3%)	24 件(16.7%)	5,265 人(25.0%)
③バドミントン	161 時間(17.5%)	17 件(11.8%)	2,532 人(12.0%)
④ソフトバレーボール	116 時間(12.6%)	48 件(33.3%)	1,327 人(6.3%)
⑤バレーボール	101 時間(11.0%)	12 件(8.3%)	4,535 人(21.5%)
⑥ビーチバレーボール	16 時間(1.7%)	2 件(1.4%)	550 人(2.6%)
⑦なぎなた	13 時間(1.4%)	2 件(1.4%)	600 人(2.9%)
⑧エスキーテニス	11 時間(1.2%)	2 件(1.4%)	432 人(2.1%)
⑨その他	61 時間(6.6%)	12 件(8.3%)	1,036 人(4.9%)
計	922 時間(100%)	144 件(100%)	21,062 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■大体育室（佐伯区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 158 日、開館時間 1,975 時間、使用時間 1,975 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 60 日、開館時間 750 時間、使用時間 750 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 44 日（開館日数に対する割合 27.8%）、土日祝 43 日（71.7%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	370 時間(18.7%)	40 件(83.3%)	7,584 人(22.4%)
うち土日祝	346 時間(46.1%)	39 件(84.8%)	7,384 人(48.8%)
②一般専用使用	64 時間(3.3%)	8 件(16.7%)	760 人(2.2%)
うち土日祝	49 時間(6.5%)	7 件(15.2%)	740 人(4.9%)
③一般開放（個人利用）	1,541 時間(78.0%)		25,576 人(75.4%)
うち土日祝	355 時間(47.4%)		7,016 人(46.3%)
計	1,975 時間(100%)	48 件(100%)	33,920 人(100%)
うち土日祝	750 時間(100%)	46 件(100%)	15,140 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※佐伯区スポーツセンターは、耐震改修のため令和 5 年 10 月 2 日～令和 6 年 3 月 31 日は休館

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バレーボール	94 時間(21.7%)	10 件(20.8%)	1,800 人(21.6%)
②新体操	58 時間(13.4%)	6 件(12.5%)	280 人(3.4%)
③卓球	57 時間(13.1%)	6 件(12.5%)	1,940 人(23.2%)
④バドミントン	57 時間(13.1%)	6 件(12.5%)	880 人(10.5%)
⑤バスケットボール	56 時間(12.9%)	5 件(10.4%)	1,010 人(12.1%)
⑥パウンドテニス	54 時間(12.5%)	7 件(14.6%)	684 人(8.2%)
⑦ソフトバレーボール	9 時間(2.1%)	1 件(2.1%)	400 人(4.8%)
⑧インディアカ	8 時間(1.8%)	1 件(2.1%)	90 人(1.1%)
⑨ミニテニス	8 時間(1.8%)	1 件(2.1%)	80 人(1.0%)
⑩その他	33 時間(7.6%)	5 件(10.4%)	1,180 人(14.1%)
計	434 時間(100%)	48 件(100%)	8,344 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■小体育室（中区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 77 日、開館時間 924 時間、使用時間 924 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 30 日、開館時間 360 時間、使用時間 360 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 77 日（開館日数に対する割合 100%）、土日祝 30 日（100%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	87 時間(9.4%)	12 件(4.9%)	3,369 人(33.5%)
うち土日祝	83 時間(23.1%)	11 件(12.4%)	3,219 人(52.6%)
②一般専用使用	473 時間(51.2%)	231 件(95.1%)	4,618 人(45.9%)
うち土日祝	148 時間(41.1%)	78 件(87.6%)	2,090 人(34.2%)
③一般開放（個人利用）	364 時間(39.4%)		2,077 人(20.6%)
うち土日祝	129 時間(35.8%)		806 人(13.2%)
計	924 時間(100%)	243 件(100%)	10,064 人(100%)
うち土日祝	360 時間(100%)	89 件(100%)	6,115 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※中区スポーツセンターは、耐震改修のため令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 12 月 28 日は休館

※中区は小体育室の「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	181 時間(32.3%)	76 件(31.3%)	1,248 人(15.6%)
②バドミントン	59 時間(10.5%)	32 件(13.2%)	796 人(10.0%)
③ソフトバレーボール	59 時間(9.3%)	34 件(14.0%)	1,215 人(15.2%)
④体操	46 時間(8.2%)	20 件(8.2%)	536 人(6.7%)
⑤バレーボール	44 時間(7.9%)	12 件(5.0%)	1,147 人(14.4%)
⑥ビーチバレーボール	30 時間(5.4%)	18 件(7.4%)	330 人(4.1%)
⑦卓球	22 時間(3.9%)	3 件(1.2%)	192 人(2.4%)
⑧太極拳	20 時間(3.6%)	10 件(4.1%)	164 人(2.1%)
⑨ダンス	10 時間(1.8%)	2 件(0.8%)	173 人(2.2%)
⑩剣道	7 時間(1.3%)	2 件(0.8%)	640 人(8.0%)
⑪ハンドボール	5 時間(0.9%)	1 件(0.4%)	200 人(2.5%)
⑫ミニテニス	4 時間(0.7%)	1 件(0.4%)	80 人(1.0%)
⑬新体操	3 時間(0.5%)	2 件(0.8%)	24 人(0.3%)
⑭その他	77 時間(13.7%)	30 件(12.4%)	1,242 人(15.5%)
計	560 時間(100%)	243 件(100%)	7,987 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

※専用使用時間数については、「半面」利用は 1/2 を乗じて計上している。

Ⅲ 資料編

■小体育室（東区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 296 日、開館時間 3,631 時間、使用時間 3,631 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 113 日、開館時間 1,386 時間、使用時間 1,386 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 282 日（開館日数に対する割合 95.3%）、土日祝 102 日（90.3%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	548 時間(15.1%)	54 件(7.4%)	24,197 人(44.7%)
うち土日祝	343 時間(24.7%)	38 件(19.8%)	16,587 人(56.3%)
②一般専用使用	1,693 時間(46.6%)	678 件(92.6%)	18,905 人(35.0%)
うち土日祝	449 時間(32.4%)	154 件(80.2%)	5,860 人(19.9%)
③一般開放（個人利用）	1,390 時間(38.3%)		10,975 人(20.3%)
うち土日祝	594 時間(42.9%)		6,994 人(23.8%)
計	3,631 時間(100%)	732 件(100%)	54,077 人(100%)
うち土日祝	1,386 時間(100%)	192 件(100%)	29,441 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※東区スポーツセンター（小体育室）は、G7広島サミット 2023 の関係者が5月に2週間程度使用していたため、当該期間を開館日数から除いている。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	657 時間(29.3%)	281 件(38.4%)	5,561 人(12.9%)
②バレーボール	329 時間(14.7%)	82 件(11.2%)	8,274 人(19.2%)
③ハンドボール	177 時間(7.9%)	15 件(2.1%)	3,920 人(9.1%)
④卓球	171 時間(7.6%)	61 件(8.3%)	3,617 人(8.4%)
⑤バウンドテニス	156 時間(7.0%)	78 件(10.7%)	561 人(1.3%)
⑥新体操	138 時間(6.2%)	45 件(6.2%)	455 人(1.1%)
⑦ダンス	120 時間(5.3%)	40 件(5.5%)	1,841 人(4.3%)
⑧柔道	42 時間(1.9%)	4 件(0.5%)	4,750 人(11.0%)
⑨バドミントン	37 時間(1.6%)	13 件(1.8%)	808 人(1.9%)
⑩太極拳	31 時間(1.4%)	12 件(1.6%)	213 人(0.5%)
⑪相撲	29 時間(1.3%)	2 件(0.3%)	6,000 人(13.9%)
⑫剣道	22 時間(1.0%)	3 件(0.4%)	440 人(1.0%)
⑬空手	17 時間(0.8%)	2 件(0.3%)	355 人(0.8%)
⑭ドッジボール	17 時間(0.8%)	3 件(0.4%)	427 人(1.0%)
⑮アームレスリング	11 時間(0.5%)	1 件(0.1%)	70 人(0.2%)
⑯ミニテニス	10 時間(0.4%)	1 件(0.1%)	200 人(0.5%)
⑰その他	277 時間(12.3%)	89 件(12.1%)	5,610 人(12.9%)
計	2,241 時間(100%)	732 件(100%)	43,102 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■小体育室（西区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,795 時間（稼働率 99.6%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,426 時間（稼働率 99.4%）
- ・専用使用がある日数：全体 276 日（開館日数に対する割合 88.7%）、土日祝 84 日（71.8%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	37 時間(1.0%)	4 件(0.7%)	1,080 人(4.4%)
うち土日祝	37 時間(2.6%)	4 件(2.9%)	1,080 人(9.4%)
②一般専用使用	591 時間(15.5%)	536 件(99.3%)	7,364 人(30.2%)
うち土日祝	227 時間(15.8%)	135 件(97.1%)	1,619 人(14.0%)
③一般開放（個人利用）	3,167 時間(83.1%)		15,983 人(65.4%)
うち土日祝	1,162 時間(81.0%)		8,823 人(76.6%)
計	3,795 時間(99.6%)	540 件(100%)	24,427 人(100%)
うち土日祝	1,426 時間(99.4%)	139 件(100%)	11,522 人(100%)
④利用者なしの時間数	16 時間(0.4%)		
うち土日祝	8 時間(0.6%)		

※西区は小体育室の「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①卓球	171 時間(27.2%)	138 件(25.5%)	1,406 人(16.6%)
②剣道	142 時間(22.6%)	72 件(13.3%)	764 人(9.0%)
③ダンス	101 時間(16.1%)	119 件(22.0%)	2,097 人(24.8%)
④エアロビクス	82 時間(13.0%)	114 件(21.1%)	1,348 人(16.0%)
⑤空手	72 時間(11.5%)	40 件(7.4%)	1,848 人(21.9%)
⑥ヨガ	41 時間(6.5%)	41 件(7.6%)	679 人(8.0%)
⑦新体操	6 時間(1.0%)	4 件(0.7%)	56 人(0.7%)
⑧ミニテニス	1 時間(0.2%)	1 件(0.2%)	22 人(0.3%)
⑨その他	12 時間(1.9%)	11 件(2.0%)	226 人(2.7%)
計	628 時間(100%)	540 件(100%)	8,444 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

※専用使用時間数については、「半面」利用は 1/2 を乗じて計上している。

Ⅲ 資料編

■小体育室（安佐南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 149 日、開館時間 1,788 時間、使用時間 1,552 時間（稼働率 86.8%）
- ・土日祝：開館日数 57 日、開館時間 684 時間、使用時間 640 時間（稼働率 93.6%）
- ・専用使用がある日数：全体 121 日（開館日数に対する割合 81.2%）、土日祝 35 日（61.4%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	92 時間(5.1%)	10 件(4.2%)	2,566 人(21.6%)
うち土日祝	92 時間(13.5%)	10 件(19.6%)	2,566 人(36.8%)
②一般専用使用	534 時間(29.9%)	229 件(95.8%)	4,421 人(37.1%)
うち土日祝	106 時間(15.5%)	41 件(80.4%)	1,244 人(17.8%)
③一般開放（個人利用）	926 時間(51.8%)		4,917 人(41.3%)
うち土日祝	442 時間(64.6%)		3,168 人(45.4%)
計	1,552 時間(86.8%)	239 件(100%)	11,904 人(100%)
うち土日祝	640 時間(93.6%)	51 件(100%)	6,978 人(100%)
④利用者なしの時間数	236 時間(13.2%)		
うち土日祝	44 時間(6.4%)		

※安佐南区スポーツセンター（大・小体育室）は、耐震改修のため令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 10 月 4 日は休館

※安佐南区は小体育室の「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	220 時間(35.1%)	110 件(46.0%)	1,519 人(21.8%)
②ミニテニス	109 時間(17.4%)	38 件(15.9%)	652 人(9.3%)
③バレーボール	70 時間(11.2%)	11 件(4.6%)	1,784 人(25.5%)
④バドミントン	44 時間(7.0%)	8 件(3.4%)	682 人(9.8%)
⑤剣道	20 時間(3.2%)	12 件(5.0%)	268 人(3.8%)
⑥卓球	15 時間(2.4%)	3 件(1.3%)	153 人(2.2%)
⑦バウンドテニス	13 時間(2.1%)	13 件(5.4%)	63 人(0.9%)
⑧空手	12 時間(1.9%)	1 件(0.4%)	120 人(1.7%)
⑨ダンス	9 時間(1.4%)	1 件(0.4%)	150 人(2.2%)
⑩ソフトバレーボール	3 時間(0.5%)	1 件(0.4%)	10 人(0.1%)
⑪柔術	3 時間(0.5%)	3 件(1.3%)	36 人(0.5%)
⑫その他	108 時間(17.3%)	38 件(15.9%)	1,550 人(22.2%)
計	626 時間(100%)	239 件(100%)	6,987 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

※専用使用時間数については、「半面」利用は 1/2 を乗じて計上している。

Ⅲ 資料編

■小体育室（安佐北区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）
- ・専用使用がある日数：全体 292 日（開館日数に対する割合 93.9%）、土日祝 101 日（86.3%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	477 時間(12.5%)	67 件(11.5%)	18,810 人(41.2%)
うち土日祝	449 時間(31.3%)	61 件(46.6%)	17,670 人(65.4%)
②一般専用使用	1,207 時間(31.7%)	515 件(88.5%)	16,213 人(35.6%)
うち土日祝	208 時間(14.5%)	70 件(53.4%)	2,317 人(8.6%)
③一般開放（個人利用）	2,127 時間(55.8%)		10,569 人(23.2%)
うち土日祝	777 時間(54.2%)		7,024 人(26.0%)
計	3,811 時間(100%)	582 件(100%)	45,592 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	131 件(100%)	27,011 人(100%)
④利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①ダンス	280 時間(16.6%)	128 件(22.0%)	7,083 人(20.2%)
②バスケットボール	204 時間(12.1%)	54 件(9.3%)	1,651 人(4.7%)
③バウンドテニス	184 時間(10.9%)	92 件(15.8%)	1,236 人(3.5%)
④バレーボール	121 時間(7.2%)	16 件(2.8%)	4,760 人(13.6%)
⑤卓球	118 時間(7.0%)	16 件(2.8%)	5,459 人(15.6%)
⑥体操	103 時間(6.1%)	41 件(7.0%)	1,013 人(2.9%)
⑦ソフトバレーボール	101 時間(6.0%)	50 件(8.6%)	1,640 人(4.7%)
⑧新体操	78 時間(4.6%)	14 件(2.4%)	1,574 人(4.5%)
⑨空手	61 時間(3.6%)	23 件(3.9%)	220 人(0.6%)
⑩剣道	49 時間(2.9%)	6 件(1.0%)	2,680 人(7.7%)
⑪エアロビクス	44 時間(2.6%)	44 件(7.6%)	1,059 人(3.0%)
⑫バドミントン	42 時間(2.5%)	10 件(1.7%)	847 人(2.4%)
⑬フットサル	25 時間(1.5%)	7 件(1.2%)	242 人(0.7%)
⑭ミニバスケットボール	6 時間(0.4%)	2 件(0.3%)	40 人(0.1%)
⑮ハンドボール	3 時間(0.2%)	1 件(0.2%)	550 人(1.6%)
⑯その他	265 時間(15.8%)	78 件(13.4%)	4,969 人(14.2%)
計	1,684 時間(100%)	582 件(100%)	35,023 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■小体育室（安芸区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 311 日、開館時間 3,811 時間、使用時間 3,775 時間（稼働率 99.1%）
- ・土日祝：開館日数 117 日、開館時間 1,434 時間、使用時間 1,426 時間（稼働率 99.4%）
- ・専用使用がある日数：全体 288 日（開館日数に対する割合 92.6%）、土日祝 95 日（81.2%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	210 時間(5.5%)	34 件(5.4%)	6,527 人(22.5%)
うち土日祝	162 時間(11.3%)	22 件(10.9%)	5,543 人(36.2%)
②一般専用使用	1,451 時間(38.1%)	596 件(94.6%)	14,661 人(50.6%)
うち土日祝	507 時間(35.3%)	180 件(89.1%)	4,199 人(27.5%)
③一般開放（個人利用）	2,114 時間(55.5%)		7,792 人(26.9%)
うち土日祝	757 時間(52.8%)		5,549 人(36.3%)
計	3,775 時間(99.1%)	630 件(100%)	28,980 人(100%)
うち土日祝	1,426 時間(99.4%)	202 件(100%)	15,291 人(100%)
④利用者なしの時間数	36 時間(0.9%)		
うち土日祝	8 時間(0.6%)		

※安芸区は小体育室の「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	654 時間(39.4%)	240 件(38.1%)	6,890 人(32.5%)
②卓球	267 時間(16.1%)	164 件(26.0%)	2,938 人(13.9%)
③ダンス	174 時間(10.5%)	50 件(7.9%)	3,115 人(14.7%)
④体操	142 時間(8.5%)	47 件(7.4%)	1,090 人(5.1%)
⑤バレーボール	72 時間(4.3%)	15 件(2.4%)	3,006 人(14.2%)
⑥バドミントン	57 時間(3.4%)	7 件(1.1%)	973 人(4.6%)
⑦剣道	34 時間(2.0%)	10 件(1.6%)	361 人(1.7%)
⑧ドッジボール	6 時間(0.4%)	1 件(0.2%)	30 人(0.1%)
⑨バトントワリング	4 時間(0.2%)	1 件(0.2%)	40 人(0.2%)
⑩その他	251 時間(15.1%)	95 件(15.1%)	2,745 人(13.0%)
計	1,661 時間(100%)	630 件(100%)	21,188 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

※専用使用時間数については、「半面」利用は 1/2 を乗じて計上している。

Ⅲ 資料編

■小体育室（佐伯区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開館日数 158 日、開館時間 1,975 時間、使用時間 1,955 時間（稼働率 99.0%）
- ・土日祝：開館日数 60 日、開館時間 750 時間、使用時間 746 時間（稼働率 99.5%）
- ・専用使用がある日数：全体 154 日（開館日数に対する割合 97.5%）、土日祝 57 日（95.0%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	167 時間(8.5%)	25 件(4.2%)	4,160 人(25.2%)
うち土日祝	151 時間(20.1%)	22 件(14.7%)	3,900 人(43.8%)
②一般専用使用	870 時間(44.0%)	571 件(95.8%)	9,185 人(55.6%)
うち土日祝	261 時間(34.8%)	128 件(85.3%)	2,916 人(32.8%)
③一般開放（個人利用）	918 時間(46.5%)		3,181 人(19.2%)
うち土日祝	334 時間(44.6%)		2,082 人(23.4%)
計	1,955 時間(99.0%)	596 件(100%)	16,526 人(100%)
うち土日祝	746 時間(99.5%)	150 件(100%)	8,898 人(100%)
④利用者なしの時間数	20 時間(1.0%)		
うち土日祝	4 時間(0.5%)		

※佐伯区スポーツセンターは、耐震改修のため令和 5 年 10 月 2 日～令和 6 年 3 月 31 日は休館

※佐伯区は小体育室の「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①バスケットボール	241 時間(23.2%)	105 件(17.6%)	2,342 人(17.5%)
②卓球	149 時間(14.4%)	110 件(18.5%)	2,596 人(19.4%)
③バウンドテニス	133 時間(12.8%)	83 件(13.9%)	630 人(4.7%)
④バドミントン	115 時間(11.1%)	50 件(8.4%)	1,729 人(13.0%)
⑤エアロビクス	62 時間(6.0%)	62 件(10.4%)	904 人(6.8%)
⑥バレーボール	37 時間(3.6%)	4 件(0.7%)	810 人(6.1%)
⑦ソフトバレーボール	36 時間(3.5%)	27 件(4.5%)	906 人(6.8%)
⑧太極拳	29 時間(2.8%)	29 件(4.9%)	377 人(2.8%)
⑨空手	22 時間(2.1%)	26 件(4.4%)	134 人(1.0%)
⑩バレエ	21 時間(2.0%)	25 件(4.2%)	189 人(1.4%)
⑪体操	17 時間(1.6%)	18 件(3.0%)	209 人(1.6%)
⑫ウエイトリフティング	16 時間(1.5%)	4 件(0.7%)	120 人(0.9%)
⑬ブラインドテニス	15 時間(1.4%)	5 件(0.8%)	48 人(0.4%)
⑭バトントワリング	12 時間(1.2%)	3 件(0.5%)	146 人(1.1%)
⑮ミニテニス	6 時間(0.6%)	3 件(0.5%)	51 人(0.4%)
⑯ミニバスケットボール	4 時間(0.4%)	2 件(0.3%)	70 人(0.5%)
⑰その他	122 時間(11.8%)	40 件(6.7%)	2,084 人(15.6%)
計	1,037 時間(100%)	596 件(100%)	13,345 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

※専用使用時間数については、「半面」利用は 1/2 を乗じて計上している。

Ⅲ 資料編

■運動広場（戸坂運動広場 ※夜間照明あり。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 1,493 時間（稼働率 40.3%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 988 時間（稼働率 70.4%）
- ・使用がある日数：全体 227 日（開場日数に対する割合 73.5%）、土日祝 105 日（89.7%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	1,493 時間(40.3%)	418 件(100%)	13,214 人(100%)
うち土日祝	988 時間(70.4%)	209 件(100%)	9,382 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,215 時間(59.7%)		
うち土日祝	416 時間(29.6%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	967 時間(64.8%)	265 件(63.4%)	8,852 人(67.0%)
②野球	190 時間(12.7%)	42 件(10.1%)	993 人(7.5%)
③グラウンド・ゴルフ	169 時間(11.3%)	81 件(19.4%)	1,660 人(12.6%)
④ソフトボール	125 時間(8.4%)	24 件(5.7%)	1,253 人(9.5%)
⑤その他	42 時間(2.8%)	6 件(1.2%)	456 人(3.4%)
計	1,493 時間(100%)	418 件(100%)	13,214 人(100%)

■運動広場（南観音運動広場 ※夜間照明なし。）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 2,807 時間、使用時間 937 時間（稼働率 33.4%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 515 時間（稼働率 48.8%）
- ・使用がある日数：全体 217 日（開場日数に対する割合 69.8%）、土日祝 86 日（73.5%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	31 時間(1.1%)	4 件(1.3%)	280 人(5.1%)
うち土日祝	31 時間(2.9%)	4 件(3.2%)	280 人(9.7%)
②一般専用使用	906 時間(32.3%)	311 件(98.7%)	5,158 人(94.9%)
うち土日祝	484 時間(45.9%)	120 件(96.8%)	2,605 人(90.3%)
計	937 時間(33.4%)	315 件(100%)	5,438 人(100%)
うち土日祝	515 時間(48.8%)	124 件(100%)	2,885 人(100%)
③利用者なしの時間数	1,870 時間(66.6%)		
うち土日祝	540 時間(51.2%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	429 時間(45.8%)	157 件(49.9%)	2,905 人(53.4%)
②野球	275 時間(29.3%)	65 件(20.7%)	1,508 人(27.7%)

Ⅲ 資料編

③グラウンド・ゴルフ	162 時間(17.3%)	81 件(25.7%)	531 人(9.8%)
④ソフトテニス	16 時間(1.7%)	2 件(0.6%)	145 人(2.7%)
⑤ソフトボール	13 時間(1.4%)	2 件(0.6%)	37 人(0.7%)
⑥アーチェリー	13 時間(1.4%)	2 件(0.6%)	118 人(2.2%)
⑦パタンク	10 時間(1.1%)	1 件(0.3%)	99 人(1.8%)
⑧その他	19 時間(2.0%)	5 件(1.6%)	95 人(1.7%)
計	937 時間(100%)	315 件(100%)	5,438 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（祇園運動広場 ※夜間照明あり。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 1,582 時間（稼働率 42.7%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 632 時間（稼働率 45.0%）
- ・使用がある日数：全体 276 日（開場日数に対する割合 89.3%）、土日祝 102 日（87.2%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	1,582 時間(42.7%)	584 件(100%)	22,023 人(100%)
うち土日祝	632 時間(45.0%)	200 件(100%)	7,488 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,126 時間(57.3%)		
うち土日祝	772 時間(55.0%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	1,277 時間(80.7%)	474 件(81.2%)	20,027 人(90.9%)
②グラウンド・ゴルフ	250 時間(15.8%)	82 件(14.0%)	1,861 人(8.5%)
③ソフトテニス	54 時間(3.4%)	27 件(4.6%)	133 人(0.6%)
④その他	1 時間(0.1%)	1 件(0.2%)	3 人(0.0%)
計	1,582 時間(100%)	584 件(100%)	22,023 人(100%)

■運動広場（沼田運動広場 ※夜間照明なし。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 2,787 時間、使用時間 974 時間（稼働率 34.9%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 782 時間（稼働率 74.1%）
- ・使用がある日数：全体 147 日（開場日数に対する割合 47.6%）、土日祝 99 日（84.6%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	376 時間(13.5%)	46 件(30.3%)	6,620 人(50.7%)
うち土日祝	376 時間(35.6%)	46 件(44.7%)	6,620 人(60.6%)
②一般専用使用	598 時間(21.4%)	106 件(69.7%)	6,450 人(49.3%)
うち土日祝	406 時間(38.5%)	57 件(55.3%)	4,296 人(39.4%)
計	974 時間(34.9%)	152 件(100%)	13,070 人(100%)

Ⅲ 資料編

	うち土日祝	782 時間(74.1%)	103 件(100%)	10,916 人(100%)
③利用者なしの時間数		1,813 時間(65.1%)		
	うち土日祝	273 時間(25.9%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	357 時間(36.6%)	53 件(34.9%)	5,386 人(41.2%)
②野球	247 時間(25.4%)	33 件(21.7%)	1,230 人(9.4%)
③ソフトボール	211 時間(21.7%)	26 件(17.1%)	4,079 人(31.2%)
④グラウンド・ゴルフ	112 時間(11.5%)	33 件(21.7%)	1,406 人(10.8%)
⑤その他	47 時間(4.8%)	7 件(4.6%)	968 人(7.4%)
計	974 時間(100%)	152 件(100%)	13,070 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（筒瀬運動広場 ※夜間照明なし。）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 2,807 時間、使用時間 744 時間（稼働率 26.5%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 683 時間（稼働率 64.7%）
- ・使用がある日数：全体 120 日（開場日数に対する割合 38.6%）、土日祝 90 日（76.9%）

<使用方法別>

区 分		使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整		172 時間(6.1%)	20 件(16.7%)	1,277 人(27.7%)
	うち土日祝	172 時間(16.3%)	20 件(22.2%)	1,277 人(28.6%)
②一般専用使用		572 時間(20.4%)	100 件(83.3%)	3,329 人(72.3%)
	うち土日祝	511 時間(48.4%)	70 件(77.8%)	3,189 人(71.4%)
計		744 時間(26.5%)	120 件(100%)	4,606 人(100%)
	うち土日祝	683 時間(64.7%)	90 件(100%)	4,466 人(100%)
③利用者なしの時間数		2,063 時間(73.5%)		
	うち土日祝	372 時間(35.3%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①野球	730 時間(98.1%)	117 件(97.5%)	4,537 人(98.5%)
②ソフトボール	8 時間(1.1%)	1 件(0.8%)	20 人(0.4%)
③グラウンド・ゴルフ	6 時間(0.8%)	2 件(1.7%)	50 人(1.1%)
計	744 時間(100%)	120 件(100%)	4,606 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（湯来運動広場 ※夜間照明あり。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 740 時間（稼働率 20.0%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 502 時間（稼働率 35.8%）
- ・使用がある日数：全体 184 日（開場日数に対する割合 59.5%）、土日祝 71 日（60.7%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	168 時間(4.6%)	19 件(9.7%)	2,410 人(41.7%)
うち土日祝	168 時間(12.0%)	19 件(23.7%)	2,410 人(54.8%)
②一般専用使用	572 時間(15.4%)	176 件(90.3%)	3,371 人(58.3%)
うち土日祝	334 時間(23.8%)	61 件(76.3%)	1,986 人(45.2%)
計	740 時間(20.0%)	195 件(100%)	5,781 人(100%)
うち土日祝	502 時間(35.8%)	80 件(100%)	4,396 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,968 時間(80.0%)		
うち土日祝	902 時間(64.2%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①野球	447 時間(60.4%)	70 件(35.9%)	3,775 人(65.3%)
②グラウンド・ゴルフ	241 時間(32.6%)	116 件(59.5%)	1,442 人(24.9%)
③サッカー	26 時間(3.5%)	5 件(2.6%)	281 人(4.9%)
④ソフトボール	23 時間(3.1%)	2 件(1.0%)	210 人(3.6%)
⑤モルック	3 時間(0.4%)	2 件(1.0%)	73 人(1.3%)
計	740 時間(100%)	195 件(100%)	5,781 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（湯来南運動広場 ※夜間照明あり。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 527 時間（稼働率 14.2%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 467 時間（稼働率 44.3%）
- ・使用がある日数：全体 86 日（開場日数に対する割合 27.8%）、土日祝 65 日（55.6%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	69 時間(1.9%)	10 件(10.2%)	1,110 人(30.7%)
うち土日祝	69 時間(6.5%)	10 件(13.2%)	1,110 人(32.5%)
②一般専用使用	458 時間(12.3%)	88 件(89.8%)	2,500 人(69.3%)
うち土日祝	398 時間(37.7%)	66 件(86.8%)	2,310 人(67.5%)
計	527 時間(14.2%)	98 件(100%)	3,610 人(100%)
うち土日祝	467 時間(44.2%)	76 件(100%)	3,420 人(100%)
③利用者なしの時間数	3,181 時間(85.8%)		
うち土日祝	588 時間(55.7%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①野球	472 時間(89.6%)	88 件(89.8%)	2,766 人(76.6%)
②サッカー	21 時間(4.0%)	3 件(3.1%)	221 人(6.1%)
③パタンク	18 時間(3.4%)	4 件(4.1%)	342 人(9.5%)
④ソフトボール	8 時間(1.5%)	1 件(1.0%)	127 人(3.5%)
⑤その他	8 時間(1.5%)	2 件(2.0%)	154 人(4.3%)
計	527 時間(100%)	98 件(100%)	3,610 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（上河内運動広場 ※夜間照明なし。）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 2,787 時間、使用時間 716 時間（稼働率 25.7%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 711 時間（稼働率 67.4%）
- ・使用がある日数：全体 100 日（開場日数に対する割合 32.4%）、土日祝 97 日（82.9%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	173 時間(6.2%)	21 件(16.4%)	1,781 人(39.8%)
うち土日祝	173 時間(16.4%)	21 件(16.8%)	1,781 人(40.0%)
②一般専用使用	543 時間(19.5%)	107 件(83.6%)	2,692 人(60.2%)
うち土日祝	538 時間(51.0%)	104 件(83.2%)	2,670 人(60.0%)
計	716 時間(25.7%)	128 件(100%)	4,473 人(100%)
うち土日祝	711 時間(67.4%)	125 件(100%)	4,451 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,071 時間(74.3%)		
うち土日祝	344 時間(32.6%)		

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①野球	712 時間(99.4%)	126 件(98.4%)	4,461 人(99.7%)
②その他	4 時間(0.6%)	2 件(1.6%)	12 人(0.3%)
計	716 時間(100%)	128 件(100%)	4,473 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

Ⅲ 資料編

■運動広場（下河内運動広場 ※夜間照明なし。）の使用状況

- ・全体：開場日数 249 日、開場時間 2,988 時間、使用時間 531 時間（稼働率 17.8%）
- ・土日祝：開場日数 94 日、開場時間 1,128 時間、使用時間 385 時間（稼働率 34.1%）
- ・使用がある日数：全体 112 日（開場日数に対する割合 45.0%）、土日祝 64 日（68.1%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	531 時間(17.8%)	152 件(100%)	2,258 人(100%)
うち土日祝	385 時間(34.1%)	103 件(100%)	1,942 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,457 時間(82.2%)		
うち土日祝	743 時間(65.9%)		

※下河内運動広場は、冬季（12月16日～2月29日）は積雪のため休場

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①野球	531 時間(100%)	152 件(100%)	2,258 人(100%)
計	531 時間(100%)	152 件(100%)	2,258 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■運動広場（西区スポーツセンター ※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 3,811 時間、使用時間 1,279 時間（稼働率 33.6%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 662 時間（稼働率 46.2%）
- ・使用がある日数：全体 261 日（開場日数に対する割合 83.9%）、土日祝 102 日（87.2%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	15 時間(0.4%)	3 件(0.4%)	179 人(1.2%)
うち土日祝	7 時間(0.5%)	1 件(0.3%)	65 人(1.0%)
②一般専用使用	1,264 時間(33.2%)	751 件(99.6%)	15,158 人(98.8%)
うち土日祝	655 時間(45.7%)	320 件(99.7%)	6,760 人(99.0%)
計	1,279 時間(33.6%)	754 件(100%)	15,337 人(100%)
うち土日祝	662 時間(46.2%)	321 件(100%)	6,825 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,532 時間(66.4%)		
うち土日祝	772 時間(53.8%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	557 時間(43.6%)	406 件(53.8%)	8,768 人(57.2%)
②ソフトボール	298 時間(23.3%)	92 件(12.2%)	1,752 人(11.4%)
③グラウンド・ゴルフ	234 時間(18.3%)	115 件(15.3%)	2,126 人(13.9%)
④フットサル	82 時間(6.4%)	82 件(10.9%)	1,194 人(7.8%)
⑤陸上	79 時間(6.2%)	43 件(5.7%)	1,083 人(7.0%)
⑥パタンク	8 時間(0.6%)	3 件(0.4%)	124 人(0.8%)

Ⅲ 資料編

⑦その他	21 時間(1.6%)	13 件(1.7%)	290 人(1.9%)
計	1,279 時間(100%)	754 件(100%)	15,337 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■プール（吉島屋内プール（中区スポーツセンター分室））の使用状況

- ・全体：開場日数 286 日、開場時間 3,486 時間、使用時間 3,486 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 108 日、開場時間 1,317 時間、使用時間 1,317 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	28 時間(0.8%)	7 件(0.0%)	87 人(0.2%)
うち土日祝	0 時間(0.0%)	0 件(0.0%)	0 人(0.0%)
②一般使用（個人使用）	3,458 時間(99.2%)		44,058 人(99.8%)
うち土日祝	1,317 時間(100%)		14,251 人(100%)
計	3,486 時間(100%)	7 件(100%)	44,145 人(100%)
うち土日祝	1,317 時間(100%)	0 件(0.0%)	14,251 人(100%)
③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

※吉島屋内プールは、移転建替えのため、令和 5 年 9 月 1 日～9 月 29 日は休館

※各プール施設においては、一般開放（個人利用）の利用者数を「午前（開館～13 時）」、「午後（13 時～17 時）」、「夜間（17 時～閉館）」の区分ごとに把握しており、この区分において利用者がゼロの場合に「利用者なしの時間数」として計算している。

■プール（東区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 3,787 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般使用（個人使用）	3,787 時間(100%)		55,255 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)		23,325 人(100%)
②利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■プール（東雲屋内プール（南区スポーツセンター分室））の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 3,787 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般使用（個人使用）	3,787 時間(100%)		65,531 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)		23,422 人(100%)
②利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

Ⅲ 資料編

■プール（出島屋内プール（南区スポーツセンター分室））の使用状況

- ・全体：開場日数 301 日、開場時間 3,687 時間、使用時間 3,687 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	16 時間(0.4%)	4 件(100%)	100 人(0.2%)
うち土日祝	2 時間(0.1%)	2 件(100%)	74 人(0.4%)
②一般使用（個人使用）	3,671 時間(99.6%)		60,516 人(99.8%)
うち土日祝	1,432 時間(99.9%)		17,773 人(99.6%)
計	3,687 時間(100%)	4 件(100%)	60,616 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	2 件(100%)	17,847 人(100%)
③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■プール（西区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	14 時間(0.4%)	4 件(100%)	68 人(0.1%)
うち土日祝	0 時間(0.0%)	0 件(100%)	0 人(0.0%)
②一般使用（個人使用）	3,797 時間(99.6%)		48,706 人(99.9%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)		16,766 人(100%)
計	3,811 時間(100%)	4 件(100%)	48,774 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)	0 件(100%)	16,766 人(100%)
③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■プール（安佐南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 289 日、開場時間 3,547 時間、使用時間 3,547 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 109 日、開場時間 1,338 時間、使用時間 1,338 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	9 時間(0.3%)	4 件(100%)	42 人(0.1%)
うち土日祝	0 時間(0.0%)	0 件(0.0%)	0 人(0.0%)
②一般使用（個人使用）	3,538 時間(99.7%)		49,629 人(99.9%)
うち土日祝	1,338 時間(100%)		16,643 人(100%)
計	3,547 時間(100%)	4 件(100%)	49,671 人(100%)
うち土日祝	1,338 時間(100%)	0 件(0.0%)	16,643 人(100%)

Ⅲ 資料編

③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)	
うち土日祝	0 時間(0.0%)	

■プール（安佐北区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般使用（個人使用）	3,811 時間(100%)		64,308 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)		21,366 人(100%)
②利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■プール（安芸区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 3,811 時間、使用時間 3,811 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,434 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般使用（個人使用）	3,811 時間(100%)		38,165 人(100%)
うち土日祝	1,434 時間(100%)		11,963 人(100%)
②利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■プール（佐伯区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 158 日、開場時間 1,975 時間、使用時間 1,975 時間（稼働率 100%）
- ・土日祝：開場日数 60 日、開場時間 750 時間、使用時間 750 時間（稼働率 100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	1 時間(0.1%)	1 件(0.0%)	20 人(0.1%)
うち土日祝	0 時間(0.0%)	0 件(0.0%)	0 人(0.0%)
②一般使用（個人使用）	1,974 時間(99.9%)		28,483 人(99.9%)
うち土日祝	750 時間(100%)		11,036 人(100%)
計	1,975 時間(100%)	1 件(100%)	28,503 人(100%)
うち土日祝	750 時間(100%)	0 件(0.0%)	11,036 人(100%)
③利用者なしの時間数	0 時間(0.0%)		
うち土日祝	0 時間(0.0%)		

■柔道場（南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 3,255 時間（稼働率 86.0%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,394 時間（稼働率 97.2%）
- ・使用がある日数：全体 307 日（開場日数に対する割合 99.4%）、土日祝 117 日（100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	4 時間(0.1%)	1 件(0.5%)	32 人(0.3%)
うち土日祝	4 時間(0.3%)	1 件(0.7%)	32 人(0.6%)
②一般専用使用	442 時間(11.7%)	198 件(99.5%)	3,537 人(29.2%)
うち土日祝	304 時間(21.2%)	136 件(99.3%)	1,847 人(31.6%)
③その他(個人利用等)	2,809 時間(74.2%)		8,530 人(70.5%)
うち土日祝	1,086 時間(75.7%)		3,958 人(67.8%)
計	3,255 時間(86.0%)	199 件(100%)	12,099 人(100%)
うち土日祝	1,394 時間(97.2%)	137 件(100%)	5,837 人(100%)
④利用者なしの時間数	532 時間(14.0%)		
うち土日祝	40 時間(2.8%)		

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①合気道	206 時間(46.2%)	99 件(49.8%)	1,065 人(29.8%)
②空手	123 時間(27.6%)	46 件(23.1%)	1,576 人(44.2%)
③武道	37 時間(8.3%)	17 件(8.5%)	156 人(4.4%)
④テコンドー	34 時間(7.6%)	17 件(8.5%)	207 人(5.8%)
⑤柔道	28 時間(6.3%)	14 件(7.1%)	164 人(4.6%)
⑥その他	18 時間(4.0%)	6 件(3.0%)	401 人(11.2%)
計	446 時間(100%)	199 件(100%)	3,569 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■剣道場(南区スポーツセンター)の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 3,715 時間(稼働率 98.1%)
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,374 時間(稼働率 95.8%)
- ・使用がある日数：全体 307 日(開場日数に対する割合 99.4%)、土日祝 117 日(100%)

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	110 時間(2.9%)	24 件(6.6%)	729 人(5.0%)
うち土日祝	110 時間(7.7%)	24 件(21.2%)	729 人(15.7%)
②一般専用使用	732 時間(19.3%)	338 件(93.4%)	7,359 人(50.9%)
うち土日祝	269 時間(18.7%)	89 件(78.8%)	1,711 人(36.8%)
③その他(個人利用等)	2,873 時間(75.9%)		6,377 人(44.1%)
うち土日祝	995 時間(69.4%)		2,204 人(47.5%)
計	3,715 時間(98.1%)	362 件(100%)	14,465 人(100%)
うち土日祝	1,374 時間(95.8%)	113 件(100%)	4,644 人(100%)

Ⅲ 資料編

④利用者なしの時間数	72 時間(1.9%)	
うち土日祝	60 時間(4.2%)	

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①空手	246 時間(29.2%)	101 件(27.9%)	3,832 人(47.4%)
②剣道	211 時間(25.1%)	124 件(34.3%)	1,350 人(16.7%)
③なぎなた	119 時間(14.1%)	26 件(7.2%)	812 人(10.1%)
④太極拳	88 時間(10.5%)	44 件(12.2%)	866 人(10.7%)
⑤卓球	57 時間(6.8%)	25 件(6.9%)	322 人(4.0%)
⑥テコンドー	40 時間(4.7%)	20 件(5.5%)	229 人(2.8%)
⑦ダンス	28 時間(3.3%)	4 件(1.1%)	90 人(1.1%)
⑧合気道	22 時間(2.6%)	11 件(3.0%)	148 人(1.8%)
⑨新体操	4 時間(0.5%)	2 件(0.5%)	40 人(0.5%)
⑩その他	27 時間(3.2%)	5 件(1.4%)	399 人(4.9%)
計	842 時間(100%)	362 件(100%)	8,088 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■柔剣道場（安佐南区スポーツセンター）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 3,271 時間（稼働率 86.4%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 1,286 時間（稼働率 89.7%）
- ・使用がある日数：全体 278 日（開場日数に対する割合 90.0%）、土日祝 117 日（100%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	49 時間(1.3%)	9 件(1.2%)	1,543 人(7.7%)
うち土日祝	34 時間(2.4%)	6 件(3.6%)	1,143 人(20.0%)
②一般専用使用	759 時間(20.1%)	762 件(98.8%)	15,478 人(76.6%)
うち土日祝	206 時間(14.4%)	159 件(96.4%)	2,848 人(49.8%)
③その他（個人利用等）	2,463 時間(65.0%)	—	3,176 人(15.7%)
うち土日祝	1,046 時間(72.9%)	—	1,731 人(30.2%)
計	3,271 時間(86.4%)	771 件(100%)	20,197 人(100%)
うち土日祝	1,286 時間(89.7%)	165 件(100%)	5,722 人(100%)
④利用者なしの時間数	516 時間(13.6%)		
うち土日祝	148 時間(10.3%)		

※柔剣道場は「半面」使用があり、使用時間数については 1/2 を乗じて計上している。

<競技種目別>

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①空手	211 時間(26.1%)	241 件(31.2%)	7,310 人(43.0%)
②合気道	154 時間(19.1%)	148 件(19.2%)	1,599 人(9.4%)

Ⅲ 資料編

③剣道	131 時間(16.2%)	131 件(17.0%)	2,988 人(17.6%)
④居合道	97 時間(12.0%)	63 件(8.2%)	1,148 人(6.7%)
⑤コアトレーニング	66 時間(8.2%)	44 件(5.7%)	740 人(4.4%)
⑥エアロビクス	49 時間(6.1%)	82 件(10.6%)	1,249 人(7.3%)
⑦柔術	44 時間(5.4%)	44 件(5.7%)	582 人(3.4%)
⑧体操	9 時間(1.1%)	6 件(0.8%)	57 人(0.3%)
⑨武道	9 時間(1.1%)	2 件(0.3%)	240 人(1.4%)
⑩ダンス	3 時間(0.4%)	2 件(0.3%)	13 人(0.1%)
⑪なぎなた	2 時間(0.2%)	1 件(0.1%)	23 人(0.1%)
⑫ピラティス	1 時間(0.1%)	1 件(0.1%)	12 人(0.1%)
⑬その他	32 時間(4.0%)	6 件(0.8%)	1,060 人(6.2%)
計	808 時間(100%)	771 件(100%)	17,021 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■庭球場（戸坂庭球場【2面】※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 820 時間（稼働率 22.1%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 313 時間（稼働率 22.3%）
- ・使用がある日数：全体 226 日（開場日数に対する割合 73.1%）、土日祝 96 日（82.1%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	820 時間(22.1%)	652 件(100%)	3,783 人(100%)
うち土日祝	313 時間(22.3%)	230 件(100%)	1,512 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,888 時間(77.9%)		
うち土日祝	1,091 時間(77.7%)		

※戸坂庭球場はコートが2面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（南観音庭球場【4面】※夜間照明なし）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 2,807 時間、使用時間 684 時間（稼働率 24.4%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 510 時間（稼働率 48.3%）
- ・使用がある日数：全体 195 日（開場日数に対する割合 62.7%）、土日祝 88 日（75.2%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	34 時間(1.2%)	6 件(0.6%)	285 人(5.1%)
うち土日祝	34 時間(3.2%)	6 件(0.8%)	285 人(7.2%)
②一般専用使用	650 時間(23.2%)	963 件(99.4%)	5,314 人(94.9%)
うち土日祝	476 時間(45.1%)	733 件(99.2%)	3,693 人(92.8%)
計	684 時間(24.4%)	969 件(100%)	5,599 人(100%)
うち土日祝	510 時間(48.3%)	739 件(100%)	3,978 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,123 時間(75.6%)		
うち土日祝	545 時間(51.7%)		

Ⅲ 資料編

※南観音庭球場はコートが4面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（沼田庭球場【2面】※夜間照明なし）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 2,787 時間、使用時間 35 時間（稼働率 1.3%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 25 時間（稼働率 2.4%）
- ・使用がある日数：全体 23 日（開場日数に対する割合 7.4%）、土日祝 14 日（12.0%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	35 時間(1.3%)	29 件(100%)	137 人(100%)
うち土日祝	25 時間(2.4%)	19 件(100%)	115 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,752 時間(98.7%)		
うち土日祝	1,030 時間(97.6%)		

※沼田庭球場はコートが2面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（大町東庭球場【3面】※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 897 時間（稼働率 24.2%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 677 時間（稼働率 48.2%）
- ・使用がある日数：全体 268 日（開場日数に対する割合 86.7%）、土日祝 104 日（88.9%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	897 時間(24.2%)	1,345 件(100%)	6,901 人(100%)
うち土日祝	677 時間(48.2%)	673 件(100%)	2,954 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,811 時間(75.8%)		
うち土日祝	727 時間(51.8%)		

※大町東庭球場はコートが3面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（湯来庭球場【2面】※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,708 時間、使用時間 151 時間（稼働率 4.1%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 148 時間（稼働率 10.5%）
- ・使用がある日数：全体 184 日（開場日数に対する割合 59.5%）、土日祝 70 日（59.8%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	151 時間(4.1%)	67 件(100%)	146 人(100%)
うち土日祝	148 時間(10.5%)	64 件(100%)	137 人(100%)
②利用者なしの時間数	3,557 時間(95.9%)		
うち土日祝	1,256 時間(89.5%)		

※湯来庭球場はコートが2面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（湯来南庭球場【2面】※夜間照明なし）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 2,787 時間、使用時間 5 時間（稼働率 0.2%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 5 時間（稼働率 0.5%）
- ・使用がある日数：全体 6 日（開場日数に対する割合 1.9%）、土日祝 5 日（4.3%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	5 時間(0.2%)	6 件(100%)	14 人(100%)
うち土日祝	5 時間(0.5%)	6 件(100%)	14 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,782 時間(99.8%)		
うち土日祝	1,050 時間(99.5%)		

※湯来南庭球場はコートが 2 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（上河内庭球場【1面】※夜間照明なし）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 2,787 時間、使用時間 451 時間（稼働率 16.2%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,055 時間、使用時間 426 時間（稼働率 40.4%）
- ・使用がある日数：全体 102 日（開場日数に対する割合 33.0%）、土日祝 90 日（76.9%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	451 時間(16.2%)	173 件(100%)	684 人(100%)
うち土日祝	426 時間(40.4%)	161 件(100%)	645 人(100%)
②利用者なしの時間数	2,336 時間(83.8%)		
うち土日祝	629 時間(59.6%)		

■庭球場（下河内庭球場【8面】※夜間照明なし）の使用状況

- ・全体：開場日数 249 日、開場時間 2,307 時間、使用時間 175 時間（稼働率 7.6%）
- ・土日祝：開場日数 94 日、開場時間 871 時間、使用時間 160 時間（稼働率 18.4%）
- ・使用がある日数：全体 108 日（開場日数に対する割合 43.4%）、土日祝 76 日（80.9%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	35 時間(1.5%)	4 件(1.3%)	450 人(17.4%)
うち土日祝	35 時間(4.0%)	4 件(1.5%)	450 人(18.2%)
②一般専用使用	140 時間(6.1%)	296 件(98.7%)	2,136 人(82.6%)
うち土日祝	125 時間(14.4%)	262 件(98.5%)	2,022 人(81.8%)
計	175 時間(7.6%)	300 件(100%)	2,586 人(100%)
うち土日祝	160 時間(18.4%)	266 件(100%)	2,472 人(100%)
③利用者なしの時間数	2,132 時間(92.4%)		
うち土日祝	711 時間(81.6%)		

※下河内庭球場は、冬季（12月16日～2月29日）は積雪のため休場

※下河内庭球場はコートが 8 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■庭球場（新宮苑庭球場【4面】※1面のみ夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,017 時間、使用時間 1,596 時間（稼働率 52.9%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,142 時間、使用時間 835 時間（稼働率 73.1%）
- ・使用がある日数：全体 288 日（開場日数に対する割合 93.2%）、土日祝 107 日（91.5%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	1,596 時間(52.9%)	2,144 件(100%)	13,603 人(100%)
うち土日祝	835 時間(73.1%)	944 件(100%)	6,519 人(100%)
②利用者なしの時間数	1,421 時間(47.1%)		
うち土日祝	307 時間(26.9%)		

※新宮苑庭球場はコートが 4 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■テニスコート（安佐南区スポーツセンター【1面】※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 309 日、開場時間 3,787 時間、使用時間 371 時間（稼働率 9.8%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 304 時間（稼働率 21.2%）
- ・使用がある日数：全体 97 日（開場日数に対する割合 31.4%）、土日祝 70 日（59.8%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	371 時間(9.8%)	215 件(100%)	847 人(100%)
うち土日祝	304 時間(21.2%)	161 件(100%)	555 人(100%)
②利用者なしの時間数	3,416 時間(90.2%)		
うち土日祝	1,130 時間(78.8%)		

■テニスコート（安芸区スポーツセンター【2面】※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 311 日、開場時間 3,811 時間、使用時間 733 時間（稼働率 19.2%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,434 時間、使用時間 521 時間（稼働率 36.3%）
- ・使用がある日数：全体 230 日（開場日数に対する割合 74.0%）、土日祝 101 日（86.3%）

<使用方法別>

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①一般専用使用	733 時間(19.2%)	780 件(100%)	2,981 人(100%)
うち土日祝	521 時間(36.3%)	560 件(100%)	2,168 人(100%)
②利用者なしの時間数	3,078 時間(80.8%)		
うち土日祝	913 時間(63.7%)		

※安芸区スポーツセンターはコートが 2 面あり、使用時間数は「全コートの使用時間数の合計」をコートの面数で除して計算している。

■球技場（広域公園第一球技場 ※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 143 日、開場時間 1,716 時間、使用時間 904 時間（稼働率 52.6%）
- ・土日祝：開場日数 81 日、開場時間 972 時間、使用時間 641 時間（稼働率 65.9%）
- ・使用がある日数：全体 120 日（開場日数に対する割合 83.9%）、土日祝 70 日（86.4%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	589 時間(34.3%)	69 件(56.6%)	18,528 人(74.2%)
うち土日祝	444 時間(45.7%)	48 件(60.8%)	15,621 人(80.0%)
②一般専用使用	314 時間(18.3%)	53 件(43.4%)	6,447 人(25.8%)
うち土日祝	197 時間(20.3%)	31 件(39.2%)	3,896 人(20.0%)
計	903 時間(52.6%)	122 件(100%)	24,975 人(100%)
うち土日祝	641 時間(65.9%)	79 件(100%)	19,517 人(100%)
③利用者なしの時間数	813 時間(47.4%)		
うち土日祝	331 時間(34.1%)		

※第一球技場は、天然芝のグラウンド（157m×80.8m ※夜間照明設備あり）

※第二球技場は、ショートパイルの人工芝のグラウンド（140m×69m ※夜間照明設備あり）

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	742 時間(82.2%)	103 件(84.4%)	16,838 人(67.4%)
②グラウンド・ゴルフ	61 時間(6.7%)	8 件(6.6%)	1,465 人(5.9%)
③陸上	25 時間(2.8%)	3 件(2.4%)	1,107 人(4.4%)
④その他	75 時間(8.3%)	8 件(6.6%)	5,565 人(22.3%)
計	903 時間(100%)	122 件(100%)	24,975 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字

■球技場（広域公園第二球技場 ※夜間照明あり）の使用状況

- ・全体：開場日数 310 日、開場時間 3,720 時間、使用時間 1,735 時間（稼働率 46.6%）
- ・土日祝：開場日数 117 日、開場時間 1,404 時間、使用時間 833 時間（稼働率 59.3%）
- ・使用がある日数：全体 296 日（開場日数に対する割合 95.5%）、土日祝 112 日（95.7%）

＜使用方法別＞

区 分	使用時間数	使用件数	使用人数
①専用使用調整	618 時間(16.6%)	70 件(23.3%)	18,040 人(41.5%)
うち土日祝	540 時間(38.5%)	61 件(58.1%)	16,138 人(73.5%)
②一般専用使用	1,117 時間(30.0%)	230 件(76.7%)	25,400 人(58.5%)
うち土日祝	293 時間(20.9%)	44 件(41.9%)	5,812 人(26.5%)
計	1,735 時間(46.6%)	300 件(100%)	43,440 人(100%)
うち土日祝	833 時間(59.3%)	105 件(100%)	21,950 人(100%)
③利用者なしの時間数	1,985 時間(53.4%)		
うち土日祝	571 時間(40.7%)		

※第一球技場は、天然芝のグラウンド（157m×80.8m ※夜間照明設備あり）

※第二球技場は、ショートパイルの人工芝のグラウンド（140m×69m ※夜間照明設備あり）

＜競技種目別＞

区 分	専用使用時間数	専用使用件数	専用使用人数
①サッカー	942 時間(54.3%)	203 件(67.7%)	24,226 人(55.8%)
②ホッケー	485 時間(27.9%)	59 件(19.6%)	6,440 人(14.8%)
③アメリカンフットボール	107 時間(6.2%)	12 件(4.0%)	1,240 人(2.8%)
④フットベースボール	41 時間(2.3%)	4 件(1.3%)	3,000 人(6.9%)
⑤グラウンド・ゴルフ	26 時間(1.5%)	6 件(2.0%)	693 人(1.6%)
⑥陸上	22 時間(1.3%)	2 件(0.7%)	738 人(1.7%)
⑦ラクロス	19 時間(1.1%)	2 件(0.7%)	328 人(0.8%)
⑧フットサル	12 時間(0.7%)	4 件(1.3%)	150 人(0.3%)
⑨その他	81 時間(4.7%)	8 件(2.7%)	6,625 人(15.3%)
計	1,735 時間(100%)	300 件(100%)	43,440 人(100%)

※「専用使用調整」及び「一般専用使用」を合わせた数字